

歯科衛生士国家試験
全国総合模擬試験

292

日本医歯薬研修協会

医歯薬で
確かな
合格力を

歯科衛生士国家試験 全国総合模擬試験

Dental Hygienist

解答・解説・
要点集(臨床系)

日本医歯薬研修協会
<http://www.ishiyaku-k.com>

東京校 TOKYO

〒160-0023
東京都新宿区西新宿 8-1-15
サンライズビル
TEL 03-5358-9211
FAX 03-5358-9212



大阪校 OSAKA

〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田 1-3-1
大阪駅前第1ビル 9F
TEL 06-4797-3516
FAX 06-4797-3517



292

項目	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値
1. 歯槽骨	mm	1.5	2. 歯槽骨	mm	1.5	3. 歯槽骨	mm	1.5
4. 歯槽骨	mm	1.5	5. 歯槽骨	mm	1.5	6. 歯槽骨	mm	1.5
7. 歯槽骨	mm	1.5	8. 歯槽骨	mm	1.5	9. 歯槽骨	mm	1.5
10. 歯槽骨	mm	1.5	11. 歯槽骨	mm	1.5	12. 歯槽骨	mm	1.5

※ 単位はmmとする。

項目	単位	数値	単位	数値	単位	数値		
1. 歯槽骨	mm	1.5	2. 歯槽骨	mm	1.5	3. 歯槽骨	mm	1.5
4. 歯槽骨	mm	1.5	5. 歯槽骨	mm	1.5	6. 歯槽骨	mm	1.5
7. 歯槽骨	mm	1.5	8. 歯槽骨	mm	1.5	9. 歯槽骨	mm	1.5
10. 歯槽骨	mm	1.5	11. 歯槽骨	mm	1.5	12. 歯槽骨	mm	1.5

本書で使用しているアイコンについて

 要点集 291:P〇〇
例) 291号掲載

「巻末資料 要点集」に関連事項が掲載されております。
アイコンに記載された掲載号の該当ページを参照してください。

 DH 20:P〇〇
例) 2020年版掲載

弊社刊行「Complete+DH 歯科衛生士 国家試験完全攻略 2020年版」に掲載された問題です。
アイコンに記載された掲載号の該当ページを参照してください。

- 【問題 3】 骨と存在する部位の組合せで正しいのはどれか。 (1) 選択
- a 上顎骨——上腭窩
 - b 下顎骨——齒槽突起
 - c 蝶形骨——翼突窩
 - d 側頭骨——乳様突起

292

午前問題..... 解答・解説



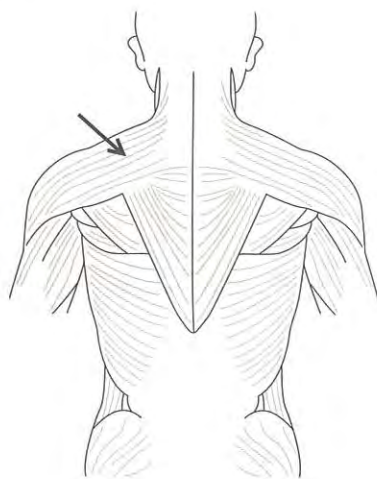
問題 3

正解は d です。

解説

上顎窩は蝶形骨に存在します。
齒槽突起は上顎骨に存在します。
翼突窩は下顎骨に存在します。
乳様突起は側頭骨に存在します。

[問題 1] 背部の筋の図を示す。



矢印の筋はどれか。

- a 広頸筋
- b 僧帽筋
- c 上腕二頭筋
- d 肩甲舌骨筋

▶解剖学

選択肢考察

- × a 広頸筋は前頸部にある薄い膜状の皮筋である。
- b 矢印の筋は僧帽筋である。僧帽筋は後頭骨および頸椎、胸椎の棘突起に起始し、肩甲骨と鎖骨に停止する。
- × c 上腕二頭筋は肩甲骨に起始し、橈骨に停止する。
- × d 肩甲舌骨筋は肩甲骨と舌骨の間にある舌骨下筋の1つである。

正解 b

[問題 2] 外頸動脈の終枝はどれか。

- a 顎動脈
- b 顔面動脈
- c 下歯槽動脈
- d 上行口蓋動脈

▶解剖学

選択肢考察

- a 外頸動脈は顎顔面部に血液を供給するもので、下顎頰の高さで、顎動脈と浅側頭動脈の2終枝に分かれる。
- × b 顔面動脈は外頸動脈の枝であるが終枝ではない。
- × c 下歯槽動脈は顎動脈の枝である。
- × d 上行口蓋動脈は顔面動脈の枝である。

正解 a

要点集 291:P9

[問題 3] 骨と存在する部位の組合せで正しいのはどれか。

- a 上顎骨——上眼窩裂
- b 下顎骨——齒槽突起
- c 蝶形骨——翼突筋窩
- d 側頭骨——乳様突起

▶解剖学

選択肢考察

- × a 上眼窩裂は蝶形骨に存在する。
- × b 齒槽突起は上顎骨に存在する。
- × c 翼突筋窩は下顎骨に存在し、外側翼突筋が付着する。
- d 乳様突起は側頭骨に存在する。

正解 d

[問題 4] 副鼻腔をもつのはどれか。

- a 頬骨
- b 鼻骨
- c 蝶形骨
- d 側頭骨

▶解剖学

選択肢考察

- c 頭蓋には含気骨(骨の内部に空気の入った空洞をもつ骨)が存在し、これらの空洞は鼻腔に通じており、副鼻腔と総称する。副鼻腔には蝶形骨洞、前頭洞、篩骨洞(前部、中部、後部)および上顎洞がある。

正解 c

要点集 291:P10

[問題 5] バソプレッシンの作用はどれか。

- a 抗利尿作用
- b 血糖上昇作用
- c 血中カルシウム濃度上昇作用
- d サーカディアンリズム調整作用

▶生理学

選択肢考察

- a バソプレッシンは抗利尿作用をもつホルモンで、下垂体後葉から分泌される。
- × b 血糖上昇作用をもつホルモンはグルカゴンやアドレナリンである。グルカゴンは膵臓から、アドレナリンは副腎髄質から分泌される。
- × c 血中カルシウム濃度上昇作用をもつのは活性型ビタミンDやパラトルモンである。
- × d サーカディアンリズム(概日リズム)の調整にはメラトニンが関与し、松果体から分泌される。

正解 a

要点集 291:P22

〔問題 6〕 侵害刺激によってみられるのはどれか。

- a 閉口反射
- b 開口反射
- c 下顎張反射
- d 歯根膜閉口筋反射

▶生理学

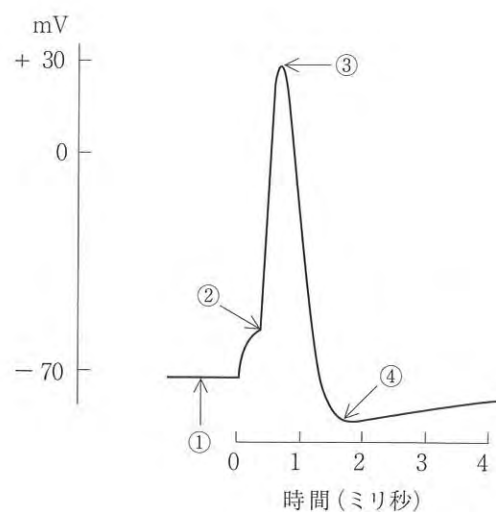
選択肢考察

- × a 閉口反射は嚥下時にみられる反射で、食物が舌根部を刺激すると反射的に閉口する。
- b 開口反射は口腔領域への侵害刺激によって生じるもので、反射によって開口筋が収縮し開口する。
- × c 下顎張反射は筋紡錘が関与する閉口反射の一種で、下顎安静位の保持に関与する。
- × d 歯根膜閉口筋反射は咀嚼力の調節に関与する閉口反射の一種である。

正解 b

要点集 291:P25

〔問題 7〕 神経細胞の活動電位を図に示す。



閾値はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶生理学

選択肢考察

- × a ①は静止膜電位である。
- b ②は閾値である。脱分極がある一定の値(閾値)に達すると、神経細胞は自動的に興奮して活動電位を発生する。
- × c ③はオーバーシュートである。膜電位がプラスになった部分の活動電位をいう。
- × d ④は過分極相である。神経細胞の細胞内の電位が静止電位よりもマイナスになる部分である。

正解 b

〔問題 8〕 発痛作用をもつのはどれか。

- a GABA
- b カルシトニン
- c コルチゾール
- d ブラジキニン

▶生理学

選択肢考察

- × a GABA (γ-アミノ酪酸)は、抑制性シナプス伝達を担うアミノ酸である。
- × b カルシトニンは甲状腺から分泌される血中Ca調節ホルモンである。
- × c コルチゾールは副腎皮質から分泌するホルモンで、抗炎症作用、免疫反応抑制作用、血糖上昇作用、糖新生作用、抗ストレス作用がある。
- d ブラジキニンはカリクレインによりキニノーゲンから生成され、発痛作用をもつ。

正解 d

要点集 291:P44

〔問題 9〕 炎症の第2期でみられるのはどれか。

- a 毛細血管の拡張
- b 肉芽組織の形成
- c 血漿成分の滲出
- d 多形核白血球の遊走

▶病理学

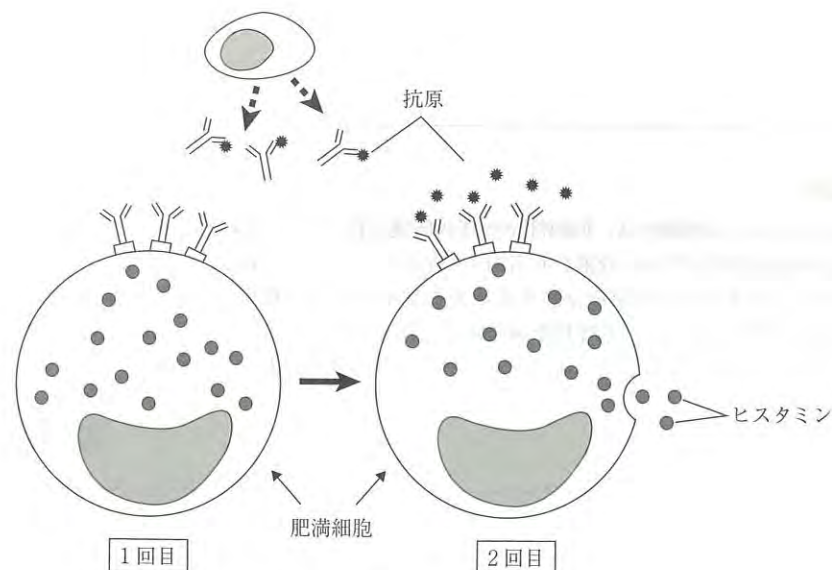
選択肢考察

- × a、× c 毛細血管の拡張、血漿成分の滲出は炎症の第1期に生じる反応である。
- × b 肉芽組織の形成は、炎症の第3期に生じる反応である。
- d 多形核白血球(好中球)の遊走は、炎症の第2期に生じる反応である。

正解 d

要点集 291:P44

[問題 10] 免疫機構の模式図を示す。



図が示すアレルギーはどれか。

- a 遅延型
- b 細胞傷害型
- c 免疫複合型
- d アナフィラキシー型

▶病理学

選択肢考察

- × a 遅延型 (Ⅳ型アレルギー) に抗体は関与せず、T細胞を介した細胞性免疫によって細胞を傷害するアレルギーである。
- × b 細胞傷害型 (Ⅱ型アレルギー) は、赤血球や血小板などの細胞を抗原としてつくられたIgG抗体が、これらの細胞を傷害するアレルギーである。
- × c 免疫複合型 (Ⅲ型アレルギー) は、抗原とIgG抗体が結合した免疫複合体が、さまざまな組織に沈着して組織を傷害するアレルギーである。
- d 模式図から、肥満細胞からヒスタミンが遊離しているのがわかる。肥満細胞が関わるのはⅠ型アレルギー (アナフィラキシー型) である。

正解 d

要点集 291:P31

[問題 11] 不活化ワクチンが用いられるのはどれか。

- a 結核
- b 水痘
- c 麻疹
- d 日本脳炎

▶微生物学

選択肢考察

- × a、× b、× c 結核、水痘、麻疹は生ワクチンである。
- d ワクチン (予防接種) は人工的に作った病原体由来の抗原 (ワクチン) を生体に接種して、獲得免疫を形成させる方法である (能動免疫)。ワクチンによって特異性と免疫記憶が誘導される結果、感染を防止することができる。ワクチンには弱毒生ワクチン、不活化 (死菌) ワクチン、成分ワクチン、トキソイド、多価ワクチン、混合ワクチンなどの種類があり、病原体によって種類が異なる。日本脳炎ワクチンは不活化ワクチンである。

正解 d

要点集 291:P29

要点

● ワクチンの種類

生ワクチン	病原性を弱めた (弱毒化) 病原体を抗原として用いるワクチンである。一般に不活化ワクチンに比べて獲得免疫力が強く免疫持続期間も長い。生きている病原体を用いるため、ワクチン株の感染による副反応を発現する可能性もある。接種後、他のワクチン接種まで4週以上あける必要がある。BCG (結核)、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、黄熱、ロタウイルス感染症の各ワクチンが該当する。
不活化ワクチン	死菌ワクチンともいう。狭義には病原体を熱や化学処理して不活化したもので、感染力はないため、生ワクチンより副作用は少ない。また、病原体の抗原部分のみ (構成の一部分のみ) を培養・遺伝子組み換えにより作成したものを抗原として用いるワクチンを、特に成分ワクチンという場合がある。ポリオ、日本脳炎、インフルエンザ、百日咳、インフルエンザ菌、肺炎球菌、A型・B型肝炎、子宮頸癌、狂犬病などのワクチンが該当する。
トキソイド	病原体が産生する外毒素をホルマリンなどで処理して無毒化し、毒素の抗原性のみを残したもので、毒素に対する抗体 (抗毒素) の産生を目的とする。生ワクチンより副反応が少ないが、効果が持続しない。病原体を攻撃する抗体を作らせるわけではないため、厳密にはワクチンに含まないという考え方もある。破傷風トキソイドやジフテリアトキソイドが該当する。

[問題 12] HIV が感染する細胞はどれか。

- a NK細胞
- b 肥満細胞
- c ヘルパーT細胞
- d 細胞傷害性T細胞

▶微生物学

選択肢考察

- × a NK細胞 (ナチュラルキラー細胞) は自然免疫に関与する細胞である。
- × b 肥満細胞は、IgEを介したⅠ型アレルギー反応の主体をなす細胞である。
- c HIVが血液を介して体内に侵入すると、ヘルパーT細胞やマクロファージなどのCD4分子をもつ細胞に特異的に感染する。感染したウイルスのRNAは、自身のもつ逆転写酵素を用いて2本鎖DNAが合成される。
- × d 細胞傷害性T細胞はCD8分子を発現し、ウイルス感染細胞や腫瘍細胞を破壊する。

正解 c

〔問題 13〕 歯周病と関連する口腔細菌の構成モデル (Socransky らの分類) の図 (別冊午前 No. 1) を別に示す。

① に該当するのはどれか。

- a *Actinomyces viscosus*
- b *Aggregatibacter actinomycetemcomitans*
- c *Fusobacterium nucleatum*
- d *Porphyromonas gingivalis*

▶微生物学

No. 1



選択肢考察

- × a *Actinomyces viscosus* は根面う蝕に関与する菌である。Red Complex の菌ではない。
- × b *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* は侵襲性歯周炎に関与する菌である。Red Complex の菌ではない。
- × c *Fusobacterium nucleatum* は壊死性潰瘍性歯周炎に関与する菌である。Red Complex の菌ではない。
- d ① は Red Complex で、*Porphyromonas gingivalis*、*Tannerella forsythensis* に *Treponema denticola* が分類される。*Porphyromonas gingivalis* は歯周炎の発症や進行に関与する。

正解 d

要点集 291:P40

〔問題 14〕 テトラサイクリン系抗菌薬の作用機序はどれか。

- a 細胞膜傷害
- b 核酸合成阻害
- c 細胞壁合成阻害
- d タンパク質合成阻害

▶薬理学

選択肢考察

- × a 細胞膜傷害はポリペプチド系やポリエン類の作用機序である。
- × b 核酸合成阻害はニューキノロン系の作用機序である。
- × c 細胞壁合成阻害はβラクタム系の作用機序である。
- d タンパク質合成阻害を有する抗菌薬は、テトラサイクリン系、アミノグリコシド系、マクロライド系、クロラムフェニコールである。

正解 d

要点集 291:P65

〔問題 15〕 薬物と副作用の組合せで正しいのはどれか。

- a アトロピン —— 流涎
- b アドレナリン —— 喘息発作
- c ピロカルピン —— 口腔乾燥
- d ニフェジピン —— 歯肉増殖

▶薬理学

選択肢考察

- × a アトロピンは副交感神経遮断薬で、唾液分泌を抑制する作用をもつ。よって口腔乾燥を呈する。
- × b アドレナリンは交感神経作用薬で、血圧上昇作用や気管支拡張作用がある。喘息の治療薬として用いられる。
- × c Sjögren 症候群など口腔乾燥をもつ患者には、副交感神経作用薬としてピロカルピンやセビメリンが用いられる。
- d ニフェジピンはカルシウム拮抗薬で、高血圧症の治療薬として用いられる。歯肉増殖の副作用をもつ。

正解 d

要点集 291:P65

〔問題 16〕 唾液中の抗菌因子はどれか。2つ選べ。

- a ムチン
- b リゾチーム
- c 重炭酸イオン
- d ラクトフェリン

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a ムチンは顎下腺、舌下腺などから分泌される糖タンパク質で、口腔粘膜や歯肉上皮を細菌感染や機械的障害から守る粘膜保護作用をもつ。
- b リゾチームは、細菌細胞壁を分解することで細菌を溶解する抗菌因子である。
- × c 重炭酸イオンは、唾液の pH を中性域に維持する緩衝作用をもつ。
- d ラクトフェリンは、微生物の生育に必要な鉄イオンに結合し、細菌の増殖を阻害する抗菌因子である。

正解 b、d

要点集 291:P24

〔問題 17〕 医薬部外品の薬用歯みがき類の成分と効能又は効果の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a トラネキサム酸 —— 歯がしみるのを防ぐ
- b ピロリン酸ナトリウム —— 歯石の沈着を防ぐ
- c 塩化セチルピリジニウム —— 歯肉炎の予防
- d カルボキシメチルセルロース —— たばこのヤニ除去

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a トラネキサム酸は止血作用をもつ歯磨剤の薬効成分で、歯周病予防を目的として配合されている。
- b ピロリン酸ナトリウムは歯石沈着抑制作用をもつ薬効成分である。
- c 塩化セチルピリジニウムは殺菌作用を有する歯磨剤の薬効成分で、歯肉炎の予防を目的として配合されている。
- × d カルボキシメチルセルロースは歯磨剤の基本成分で、粘結剤として配合されている。たばこのヤニ除去はポリエチレングリコールである。

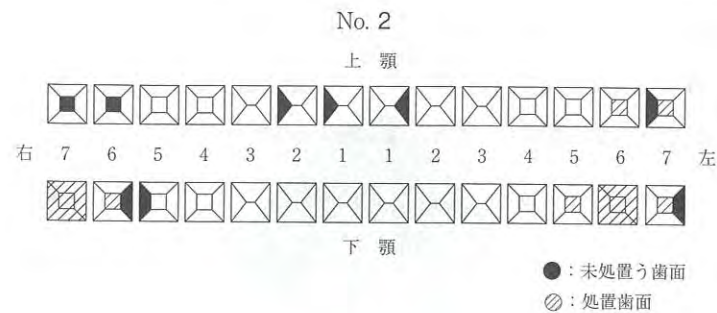
正解 b、c

DH20:P132

【問題 18】 う蝕の歯面別診査結果の図(別冊午前 No. 2)を別に示す。
DMF 歯数はどれか。

- a 7
b 9
c 13
d 23

▶口腔衛生学



選択肢考察

- c DMF 歯数は、未処置う歯面や処置歯面があれば1歯と数える。また、全歯面に未処置う歯面や処置歯面があっても1歯と数える。したがって上顎が7歯、下顎が6歯より13歯となる。

正 解 c

DH 20:P 127

【問題 19】 3歳児の口腔内写真(別冊午前 No. 3)を別に示す。
3歳児歯科健康診査のう蝕罹患型はどれか。

- a A 型
b B 型
c C1 型
d C2 型

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a A 型は上顎前歯部のみまたは臼歯部にのみう蝕のある者である。
× b B 型は上顎前歯部および臼歯部にう蝕のある者である。
× c C1 型は下顎前歯部にのみう蝕のある者である。
○ d 口腔内写真から、上顎前歯部・臼歯部、下顎犬歯(前歯部)・臼歯部にう蝕が認められる。C2 型は下顎前歯を含む他の部位にう蝕がある者である。う蝕の存在部位より、これが該当する。

正 解 d

DH 20:P 152



【問題 20】 口臭官能試験前における検査者の禁止事項はどれか。2つ選べ。

- a 洗 口
b 喫 煙
c 舌苔除去
d コーヒーの飲用

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a 検査者の洗口は、官能試験に影響しない。
○ b 喫煙の呼出煙は鼻腔を通るため、検査に影響を及ぼす。
× c 検査者の舌苔除去は、官能試験に影響しない。
○ d コーヒーの香りがその飲用によって検査に影響を及ぼす。

正 解 b、d

【問題 21】 疫学で正しいのはどれか。

- a 症例対照研究は前向き研究である。
b 記述疫学では仮説の設定が行われる。
c 縦断研究は特定の1時点について行う。
d コホート研究は短期間の調査に用いられる。

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a 症例対照研究は疾病に罹患している患者群と健常な対照群について、過去にさかのぼって発病の原因をさぐるため、後ろ向き研究である。
○ b 仮説の設定は記述疫学、仮説の検証は分析疫学で行われる。
× c 疾病因子が作用する時間と実際に疾病が発生する時期には時間的なずれがあり、時間的経過を考慮する疫学的研究が縦断研究である。
× d コホート研究は信頼性の高い方法であるが、調査が長期にわたり、時間と労力を要する。

正 解 b

【問題 22】 健康日本 21(第2次)における「80歳で20歯以上自分の歯を有する者の割合の増加」の目標値はどれか。

- a 40 %
b 50 %
c 70 %
d 75 %

▶口腔衛生学

選択肢考察

- b 健康日本 21(第2次)では歯の喪失防止の平成 34 年度までの目標値として以下の3つがある。
ア 80 歳で 20 歯以上自分の歯を有する者の割合 50 %
イ 60 歳で 24 歯以上自分の歯を有する者の割合 70 %
ウ 40 歳で喪失歯のない者の割合 75 %

正 解 b

DH 20:P 157

[問題 23] 国勢調査で正しいのはどれか。

- a 標本調査である。
- b 毎年実施される。
- c 一般統計調査である。
- d 人口静態統計である。

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 国勢調査は、10月1日時点でのわが国に居住する全国民が対象となることから、標本調査ではなく全数調査である。
- × b 国勢調査は、5年ごとに実施される。
- × c 基幹統計調査である。
- d 国勢調査は、調査年の10月1日現在の人口調査であるため、人口動態統計ではなく、人口静態統計である。

正解 d

DH 20:P 225

[問題 24] 母子保健法に基づいて市町村が実施するのはどれか。2つ選べ。

- a 3歳児健康診査
- b 児童虐待への対策
- c 母子健康手帳の交付
- d 子ども・子育て支援給付

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 市町村は、1歳6か月児及び3歳児に対して健康診査を行わなければならないと規定されている。
- × b 児童虐待への対策は、「児童福祉法」、「児童虐待の防止等に関する法律」に盛り込まれている。
- c 市町村は、妊娠の届出をした者に対して、母子健康手帳を交付しなければならないと規定されている。
- × d 子ども・子育て支援給付は「子ども・子育て支援法」に基づく制度である。

正解 a, c

DH 20:P 189

[問題 25] A市の平成30年における年齢3区分別人口を表に示す。

総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口
	人数	人数	人数
56,000	8,000	32,000	16,000

老年化指数はどれか。

- a 50
- b 200
- c 250
- d 400

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- b 老年化指数とは、65歳以上人口（老年人口）を0～14歳人口（年少人口）で割り、100を掛けた値である。

正解 b

[問題 26] 地域包括ケアシステムの推進に関する根拠法はどれか。

- a 介護保険法
- b 社会福祉法
- c 生活保護法
- d 地域保健法

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 介護保険法では、地域包括ケアシステムに係る理念規定として「国及び地方公共団体は、被保険者が、可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、保険給付に係る保健医療サービス及び福祉サービスに関する施策、要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止のための施策並びに地域における自立した日常生活の支援のための施策を、医療及び居住に関する施策との有機的な連携を図りつつ包括的に推進するよう努めなければならない」とされている。
- × b 社会福祉法は、福祉サービスの利用者の利益の保護、地域における社会福祉の推進を図るとともに、社会福祉事業の公明適切な実施の確保、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図り、もって社会福祉の増進に資することを目的とした法律である。
- × c 生活保護法は、国が生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする法律である。
- × d 地域保健法は、地域保健対策の推進に関する基本指針、保健所の設置その他地域保健対策の推進に関し基本となる事項を定めることにより、母子保健法その他の地域保健対策に関する法律による対策が地域において総合的に推進されることを確保し、地域住民の健康の保持及び増進に寄与することを目的とする法律である。

正解 a

DH 20:P 200

〔問題 27〕 特定健康診査で詳細な検診はどれか。2つ選べ。

- a 眼底検査
- b 心電図検査
- c 肝機能検査
- d 血中脂質検査

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a、○ b 詳細な検診は、血糖・脂質・血圧および肥満の健診結果、貧血が疑われる者から、医師の判断により実施される検査で、心電図検査や眼底検査、貧血検査がある。
- × c、× d 肝機能検査や血中脂質検査は基本的な検診で、必ず行われるものである。

正解 a、b

DH 20:P 198

〔問題 28〕 歯科医師法に規定されているのはどれか。2つ選べ。

- a 患者の秘密保持
- b 無診察治療の禁止
- c 診断書の交付義務
- d 診療所開設の届出義務

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 患者の秘密保持は、**刑法**の規定である。
- b 無診察治療の禁止は、**歯科医師法**の規定である。
- c 診断書の交付義務は、**歯科医師法**の規定である。
- × d 診療所開設の届出義務は、**医療法**の規定である。

正解 b、c

要点

●「歯科医師法で定められた事項」

1. 療養指導義務
2. 応召義務
3. 診断書の交付義務
4. 無診療治療の禁止
5. 処方せんの交付義務
6. 歯科医師の現状届
7. 診療録の記載及び保存義務
8. 名称独占、業務独占、絶対欠格事項、相対欠格事項
9. 品位を損する行為の禁止
10. 臨床研修
11. 行政処分
12. 歯科医師国家試験

〔問題 29〕 歯科口腔保健の推進に関する法律で定められていないのはどれか。

- a 口腔保健センターの設置
- b 国民の定期的な歯科検診受診の勧奨
- c 歯科口腔保健に関する知識の普及啓発
- d 口腔の健康に関する調査及び研究の推進

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 口腔保健センターは地域の歯科医師会によって設置される。
- b、○ c、○ d 歯科口腔保健の推進に関する法律は、歯科口腔保健の推進に関し、基本理念を定め、国および地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、歯科口腔保健の推進に関する施策の基本となる事項を定めること等により、歯科口腔保健の推進に関する施策を総合的に推進することを目的としている。

正解 a

要点

● 歯科口腔保健の推進に関する法律

歯科口腔保健の推進に関する施策

- ① 歯科口腔保健に関する知識等の普及啓発等
- ② 定期的に歯科検診を受けること等の勧奨等
- ③ 障害者等が定期的に歯科検診を受けること等のための施策等
- ④ 歯科疾患の予防のための措置等
- ⑤ 口腔の健康に関する調査及び研究の推進等

口腔保健支援センター

都道府県、保健所設置市及び特別区が設置〔任意設置〕する。センターは、歯科医療等業務に従事する者等に対する情報の提供、研修の実施等の支援を実施する。

〔問題 30〕 歯科衛生士法に定められた歯科衛生士の業務はどれか。

- a インレーの装着
- b 矯正装置の製作
- c 主訴の聞き取り
- d 歯肉縁下付着物の除去

▶歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a インレーの装着は歯科医師の指示があっても行えない行為である。
- × b 矯正装置の製作は歯科医師、歯科技工士の業務で歯科衛生士の業務ではない。
- × c 主訴の聞き取りは歯科医師の指示があっても行えない行為である。ただし、歯科医師の口述筆記は可能である。
- d 歯肉縁下付着物の除去は歯科衛生士の業務である。

正解 d

DH 20:P 255

[問題 31] 平成 28 年の医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士の就業者数を表に示す。

①	②	③	④
1,149,397 人	317,821 人	123,831 人	103,447 人

歯科衛生士はどれか。

- a ①
b ②
c ③
d ④

選択肢考察

- × a ① は看護師である。
× b ② は医師である。
○ c ③ は歯科衛生士である。平成 30 年では 13 万人を超えている。
× d ④ は歯科医師である。

正解 c

▶ 歯科衛生士概論

[問題 32] 問題解決指向型診療録における SOAP の「A」にあたる事項はどれか。

- a 他覚所見
b 検査所見の分析
c 患者の自覚症状
d 症状に対する検査計画

選択肢考察

- × a 他覚所見は O (Objective) の欄に記載する。
○ b 検査所見の分析は A (Assessment) の欄に記載する。
× c 主訴に対する現病歴や患者の自覚症状は S (Subjective) の欄に記載する。
× d 症状に対する検査計画は P (Plan) の欄に記載する。

正解 b

▶ 歯科衛生士概論

[問題 33] 歯科衛生士法が制定されたのはどれか。

- a 昭和 23 年
b 昭和 25 年
c 昭和 30 年
d 昭和 63 年

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- a 歯科衛生士法は 1948 年 (昭和 23 年) 7 月に制定された。
× b 1950 年 (昭和 25 年) に第一回目の歯科衛生士試験が行われた。
× c 1955 年 (昭和 30 年) の法改正で「者」から「女子」に変更された。
× d 1988 年 (昭和 63 年) に歯科衛生士法に規定される業務の見直しが行われ、歯科保健指導が歯科衛生士業務として加えられた。またこの年に歯科衛生士の免許が都道府県知事から厚生労働大臣に昇格した。

正解 a

[問題 34] 器具の写真 (別冊午前 No. 4) を別に示す。

隣接面接触点における歯間離開度の検査で、ア の器具は挿入できるが
イ の器具は挿入できない状態が望ましい。

アとイに入る器具の組合せで正しいのはどれか。

- | | | |
|---|---|---|
| | ア | イ |
| a | ① | ② |
| b | ① | ③ |
| c | ② | ① |
| d | ② | ③ |

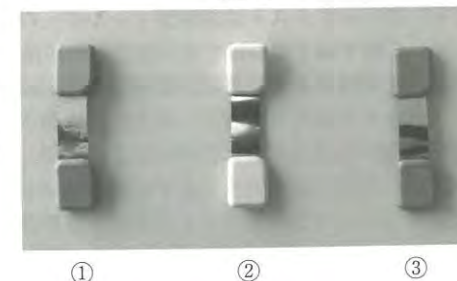
▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- a 写真の器具はコンタクトゲージで、① (緑色) は 50 μm 、② (黄色) は 110 μm 、③ (赤色) は 150 μm である。50 μm のコンタクトゲージは挿入できるが、110 μm のコンタクトゲージは挿入できない状態が望ましいとされている。

正解 a

No. 4



[問題 35] 大臼歯隣接面接触点下に発生したう蝕の検出に有効なのはどれか。

- a 温度診
- b 歯髄電気診
- c 咬合法エックス線検査
- d レーザー蛍光強度測定

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- × a 温度診では歯髄の反応、生死、また疼痛の有無などを検査することができるが、隣接面う蝕の検出には有効でない。
- × b 歯髄電気診は歯髄の生死、反応閾値の上昇・低下から歯髄の状態を検査する。隣接面う蝕の検出には有効でない。
- × c 咬合法エックス線検査は唾石症や顎骨骨折の検出に有効である。
- d 大臼歯の隣接面接触点下に発生したう蝕の検出には様々な方法があり、例えばう蝕が大きく、進行している場合、直視やデンタルミラーで確認することができる。また、デンタルフロスを隣接面に通過させる際の引っかかり具合や透照診、レーザー蛍光法、咬翼法エックス線検査などでも隣接面う蝕を検出することができる。また、レーザー蛍光強度測定によりう蝕を診断し、う蝕への対応の目安を示すことができる。小型のレーザーう蝕診断器には隣接面用プローブがあり、検出に有効である。

正解 d

[問題 36] アレルギー検査はどれか。2つ選べ。

- a パッチテスト
- b 交差適合試験
- c プリックテスト
- d 感受性ディスク法

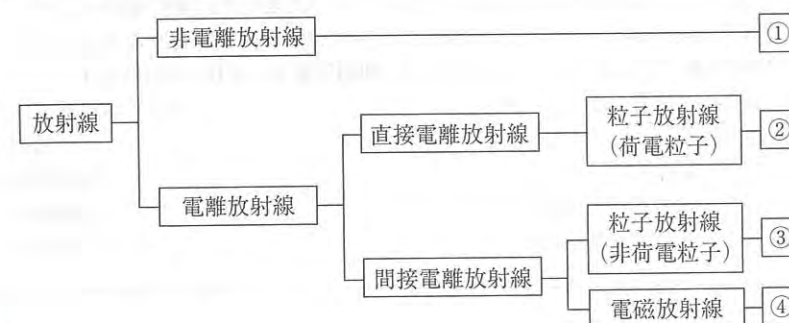
▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- a パッチテストは、アレルギー性接触皮膚炎の確定診断に用いられる検査であり、多数の試料を一度に検索できるというメリットがある。遅延型アレルギーによる薬疹の原因薬剤の特定にも有用である。
- × b 交差適合試験(クロスマッチ)は、実際に輸血する血液を患者に輸血可能かどうかを調べるものである。
- c プリックテストは即時型アレルギーの判定に有用な検査である。皮膚に抗原液をつけて、その部分を針で軽く傷つけてその部分の膨疹径を測定する。
- × d 感受性ディスク法は、薬剤感受性試験である。

正解 a、c

[問題 37] 放射線の種類を図に示す。



エックス線はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- × a ①はマイクロ波、電波、赤外線、紫外線、可視光線が該当する。
- × b ②はα線、β線、電子線、陽子線が該当する。
- × c ③は中性子線が該当する。
- d ④はエックス線、ガンマ線が該当する。

正解 d

DH 20:P 274

[問題 38] グラスアイオノマーセメント修復の適応はどれか。2つ選べ。

- a 根面窩洞
- b 切縁破折
- c 3級窩洞
- d 4級窩洞

▶ 保存修復学

選択肢考察

- a、× b グラスアイオノマーセメントは歯質に接着性があるために窩壁前処理が不要であり、さらにフッ素徐放性を有するためにう蝕抑制効果が期待できる利点を有する。しかしコンポジットレジンに比較して機械的な強度が小さく耐摩耗性が低い¹⁾ため、咬合力などの外力が集中しやすい大臼歯の咬合面や前歯部切縁などには適用できない。根面窩洞は輪状に拡大することが多く、防湿や隔壁の適用が困難となりやすい。このような症例では接着前処理が不完全になりやすいため、コンポジットレジンよりもグラスアイオノマーセメントが適用しやすい。
- c 3級窩洞は外力がかかりにくい²⁾ため適応可能である。
- × d 4級窩洞は切縁隅角部を含むため適用できない。

正解 a、c

要点集 292:P 16

〔問題 39〕 20歳の男性。上顎右側第二小臼歯の一過性の冷水痛を主訴として来院した。6か月前から気付いていたが、強い痛みがないためそのままにしていたという。他に症状はない。プロービングデプスは全周2mmであった。象牙質う蝕と診断され、う蝕除去を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 5 A)とエックス線写真(別冊午前 No. 5 B)を別に示す。

処置に際し必要なのはどれか。2つ選べ。

- a う蝕検知液塗布
- b ウッドウェッジ挿入
- c セクショナルマトリックス装着
- d アイボリーのセパレーター装着

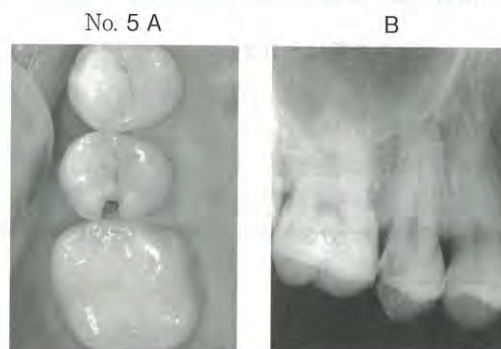
▶保存修復学

選択肢考察

- a、○ b 上顎第二小臼歯遠心隣接面と咬合面にわたる象牙質う蝕を有する歯を修復する際には、まずう蝕に罹患したう蝕感染象牙質を過不足なく除去し、次いでできるだけ健全歯質を残存させたまま、接着性コンポジットレジンで修復する。う蝕感染象牙質を除去する際にはう蝕検知液が必要であり、歯間乳頭歯肉を保護するためにプレウェッジが有効である。
- × c セクショナルマトリックスは、コンポジットレジンペーストを填塞する際に必要である。
- × d アイボリーのセパレーターは前歯の歯間離開に用いるために、本症例では用いられない。

正解 a、b

📖 要点集 292:P14



〔問題 40〕 歯髄保存療法はどれか。2つ選べ。

- a 歯髄鎮痛消炎療法
- b 暫間の間接覆髄法
- c 生活歯髄切断法
- d 麻酔抜髄法

▶歯内療法学

選択肢考察

- a、○ b 歯髄保存療法とは、歯髄の除去を行わない治療法である。歯髄保存療法には、歯髄鎮痛消炎療法や覆髄法がある。
- × c 生活歯髄切断法は歯冠部の歯髄を除去する方法で、**歯髄除去療法**に分類される。
- × d 麻酔抜髄法は歯髄全体を除去する方法で、**歯髄除去療法**に分類される。

正解 a、b

📖 要点集 292:P3

〔問題 41〕 10歳の女児。外傷による上顎右側中切歯の歯冠破折を主訴として受傷直後に来院した。一過性の疼痛がみられるものの自発痛はなかった。わずかな露髄がみられ、露髄面からの出血は軽微であった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 6 A)とエックス線写真(別冊午前 No. 6 B)を別に示す。

考えられる処置はどれか。

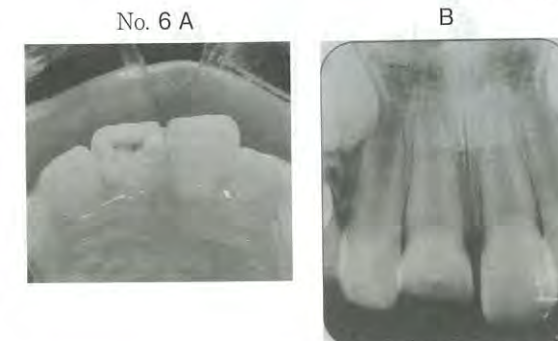
- a IPC 法
- b 歯髄鎮静法
- c 間接覆髄法
- d 生活歯髄切断法

▶歯内療法学

選択肢考察

- × a IPC 法(暫間の間接覆髄法)は露髄を避けるために行う方法であり、すでに露髄がみられるため IPC 法は適応できない。
- × b 露髄がみられるため歯髄鎮静法は適切ではない。
- × c すでに露髄がみられるため間接覆髄法は行えない。
- d 自発痛もなく、受傷直後に来院しているため感染の可能性も低いと考えられる。まずは歯髄の保存的処置を試みる。

正解 d



〔問題 42〕 ウォーキングブリーチに使用する薬剤はどれか。

- a シュウ酸カリウム
- b 過ホウ酸ナトリウム
- c アルギン酸ナトリウム
- d 次亜塩素酸ナトリウム

▶歯内療法学

選択肢考察

- × a シュウ酸カリウムは**象牙質知覚過敏処置**に用いる。
- b 過ホウ酸ナトリウムは**ウォーキングブリーチ**に用いる。
- × c アルギン酸ナトリウムはアルジネート印象材の成分である他、止血薬としても用いられる。
- × d 次亜塩素酸ナトリウムは過酸化水素水と共に**根管洗浄**に用いる。

正解 b

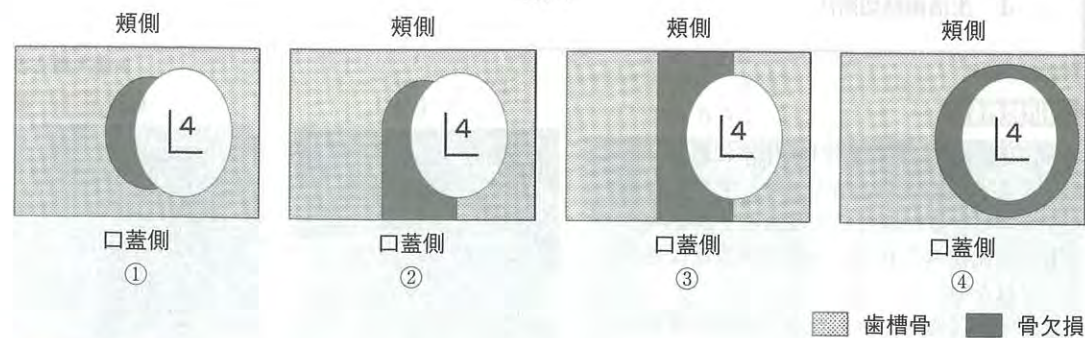
📖 要点集 292:P19

【問題 43】 歯槽骨欠損形態の模式図（別冊午前 No. 7）を別に示す。

3 壁性骨欠損はどれか。

- a ①
b ②
c ③
d ④

No. 7



選択肢考察

- a 骨欠損形態の分類は、残っている骨壁の数を基準とする。①は3壁性骨欠損である。
× b ②は2壁性骨欠損である。
× c ③は1壁性骨欠損である。
× d ④は4壁性骨欠損である。

正解 a

要点集 292:P25

【問題 44】 45 歳の女性。上顎左側臼歯部の咬合痛を主訴として来院した。慢性歯周炎と診断し治療を開始した。

歯周基本治療で行うのはどれか。2つ選べ。

- a 咬合調整
b 永久固定
c 局所薬物配送システム
d エナメルマトリックスタンパク質の応用

歯周治療学

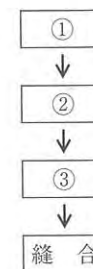
選択肢考察

- a 歯周基本治療とは、歯周疾患の原因を取り除き、可能な限り細菌などの感染源に侵されない口腔内環境を整える処置である。咬合痛があるため、咬合調整が必要になる。
× b 永久固定は機能回復治療である。
○ c 局所薬物配送システム (LDDS) は、ポケット内にテトラサイクリン系抗菌薬を適用する方法で、ポケット内に存在する歯周病原性細菌の除去を目的とする歯周基本治療である。
× d エナメルマトリックスタンパク質 (EMD) の応用は歯周外科治療である。

正解 a、c

DH 20:P325

【問題 45】 50 歳の男性。歯周基本治療後の再評価で上顎前歯部に 4~5 mm のポケットが残存していたため、新付着術を行うことになった。治療の術式を図に示す。



治療の順序で正しいのはどれか。

- | | ① | ② | ③ |
|---|-------------|-------------|-------------|
| a | SRP | ポケット底の位置の印記 | ポケット底への内斜切開 |
| b | ポケット底への内斜切開 | SRP | ポケット底の位置の印記 |
| c | ポケット底の位置の印記 | ポケット底への内斜切開 | SRP |
| d | SRP | ポケット底への内斜切開 | ポケット底の位置の印記 |

歯周治療学

選択肢考察

- c 新付着術 (ENAP) は、歯周ポケット上皮と内部の肉芽組織を除去し、長い上皮性の付着が得られる。比較的浅い歯周ポケットが適応であるが、メスを用いて切開するため、歯周ポケット搔爬術よりもポケット内壁の除去がより確実に行うことができる。
治療の順序は、ポケットマーカを用いてポケット底の位置の印記を行い (①)、歯槽頂からポケット底への内斜切開を加え (②)、SRP (スケーリング・ルートプレーニング) により不良肉芽組織を除去する (③)。

正解 c

要点集 292:P32

【問題 46】 プロビジョナルレストレーションの目的はどれか。2つ選べ。

- a 支台歯の汚染防止
b 外来刺激からの保護
c 壊死セメント質の除去
d 最終補綴装置の色調決定

歯科補綴学

選択肢考察

- a、○ b プロビジョナルレストレーションは、クラウンやブリッジが完成するまでの間、口腔の機能と形態回復をはかりながら、最終補綴装置の形態を模索するために装着する暫間被覆冠である。ブラークや食物残渣による支台歯の汚染防止、外来刺激による歯髄の疼痛や知覚過敏の防止などを目的とする。
× c 壊死セメント質の除去はルートプレーニングの目的である。
× d 色調は補綴装置設計時に決定する。

正解 a、b

〔問題 47〕 55歳の女性。上顎臼歯の欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。インプラント補綴治療を行うことになった。口腔内の装置を外した状態の写真(別冊午前 No. 8 A)と口腔内に装着した状態の写真(別冊午前 No. 8 B)を別に示す。

矢印はどれか。

- a 上部構造
- b ポストコア
- c インプラント体
- d アバットメント

選択肢考察

- × a 上部構造とは、アバットメント上に着着される装置のことである。セメント合着される場合と、アバットメントと同様にスクリューで固定される場合がある。
- × b ポストコアは支台歯の歯根部と歯冠部とにまたがる築造体である。
- × c インプラント体は、顎骨内に埋入されるチタンあるいはチタン合金でできた円柱の構造体である。
- d 矢印の構造体はアバットメントである。インプラント体と上部構造を繋ぐ部分である。通常、インプラント体とはスクリューで固定される。

正解 d

〔問題 48〕 無歯顎様顔貌の特徴はどれか。

- a 厚い赤唇
- b 浅い鼻唇溝
- c 口角の下垂
- d 明瞭な人中

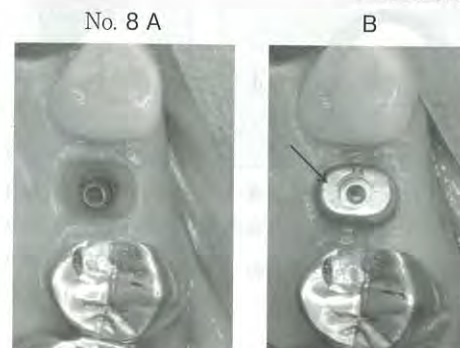
選択肢考察

- × a 口唇の緊張が低下し垂れ下がるため、赤唇は薄く直線的になる。
- × b リップサポートが欠如するため、鼻唇溝は深くなる。
- c 咬合高径の低下に伴い口角が下垂するとともに、放射状の皺が寄る。
- × d リップサポートが欠如するため、人中は不明瞭となる。

正解 c

要点集 292:P36

▶ 歯科補綴学



▶ 口腔外科学

No. 9



〔問題 49〕 50歳の男性。右側舌縁の病変を主訴として来院した。最近になり病変が目立ってきたという。擦過では除去できない。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 9)を別に示す。

最も疑われるのはどれか。

- a 白板症
- b 黒毛舌
- c 口腔カンジダ症
- d メラニン色素沈着

選択肢考察

- a 白板症は、板状ないし斑状の白色病変であり、擦過によって除去できない。
- × b 黒毛舌は、抗菌薬や副腎皮質ステロイドの使用によってみられる。菌交代現象による口腔内細菌叢の変化が原因で、舌背部が黒く変色する。
- × c 口腔カンジダ症は、口腔粘膜に白色の斑点状の苔状物として出現する。擦過で除去できる。
- × d メラニン色素沈着は、メラニン色素の沈着により口腔において黒色または茶褐色の病変として出現する。

正解 a

要点集 292:P67

〔問題 50〕 唾液腺に生じる疾患と好発部位の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 唾石症 ————— 顎下腺
- b ラヌーラ ————— 耳下腺
- c 多形腺腫 ————— 耳下腺
- d ブランダンヌーン嚢胞 — 舌下腺

▶ 口腔外科学

選択肢考察

- a 唾石症は唾液腺導管の中に結石が形成される疾患で、唾液腺疾患の中で最も多い。好発部位は顎下腺である。
- × b ラヌーラ(ガマ腫)、顎下腺および舌下腺からの唾液の流出障害によって引き起こされる疾患である。
- c 多形腺腫は良性の唾液腺腫瘍で、唾液腺腫瘍の中で最も多い。好発部位は耳下腺である。
- × d ブランダンヌーン嚢胞は、前舌腺に生じる粘液嚢胞である。

正解 a, c

要点集 292:P68

[問題 51] 顎関節症の特徴的な症状はどれか。2つ選べ。

- a 閉口障害
- b 顎関節雑音
- c 咀嚼筋疼痛
- d 口唇感覚障害

選択肢考察

- × a 顎関節症では開口障害がみられる。
- b、○ c 顎関節症は、**顎関節や咀嚼筋の疼痛、関節雑音、開口障害ないし顎運動異常**を主徴とする。
- × d 口唇の感覚障害はみられない。

正解 b、c

[問題 52] 貧血の検査項目はどれか。2つ選べ。

- a HbA1c
- b ヘモグロビン
- c ヘマトクリット
- d プロトロンビン時間

選択肢考察

- × a HbA1c は、1～2 か月間の血糖の状態を把握する糖尿病の検査である。
- b ヘモグロビン (Hb) は血液中の酸素運搬機能をもつため、貧血の検査項目である。
- c ヘマトクリット (Ht) は血液全体に占める赤血球の容積割合を把握するため、貧血の検査項目である。
- × d プロトロンビン時間 (PT) は血液凝固因子の活性化機序を反映する血液凝固検査である。

正解 b、c

[問題 53] 下顎第二乳臼歯の早期喪失により生じるのはどれか。

- a 空隙歯列
- b 鞍状歯列弓
- c 前歯部の開咬
- d 下顎切歯の舌側転位

選択肢考察

- × a、○ b 下顎第二乳臼歯が早期に脱落すると第一大臼歯は**近心傾斜**し、これに続いて側方歯の萌出余地不足と小臼歯の舌側転位が生じ**鞍状歯列弓**が発現する。空隙歯列が発現することはない。
- × c 下顎第二乳臼歯の早期喪失により大臼歯が近心傾斜し、前歯被蓋が深くなることは考えられるが、開咬を呈することはない。
- × d 下顎切歯の舌側転位は咬唇癖や母指吸引癖などの習癖、または、乳犬歯の早期喪失により起こりうるが、乳臼歯の喪失により発現することはほとんどない。

正解 b

▶口腔外科学

▶口腔外科学

▶矯正歯科学

[問題 54] 連続抜去法で最後に抜歯するのはどれか。

- a 第一乳臼歯
- b 第二乳臼歯
- c 犬歯
- d 第一小臼歯

選択肢考察

- d 連続抜去法とは、将来不正咬合が起こると予測されるような場合、混合歯列期前期から開始される連続的な乳歯の抜去と、その後の特定の永久歯の抜去による抑制的な矯正手段をいう。連続抜歯の順序は一般に次のとおり行われる。
 - ① **乳犬歯**を抜去して側切歯の正常萌出を誘導する。
 - ② 次に**第一乳臼歯**を抜去して、第一小臼歯の萌出を促進する。
 - ③ **第一小臼歯**が萌出したら、直ちにこれを抜去する。
 - ④ 犬歯はこれによって遠心に誘導され、ほぼ第一小臼歯の位置に萌出する。

正解 d

▶矯正歯科学

[問題 55] 5歳の女兒。咬み合わせが悪いことを主訴として来院した。1年前から気付いていたが特に支障がないので放置していたという。診査の結果、ある矯正装置を装着することになった。装置装着時の口腔内写真(別冊午前 No.10)を別に示す。

この装置の目的はどれか。

- a 保隙
- b 咬合挙上
- c 歯列弓の拡大
- d 舌突出癖の改善

選択肢考察

- × a 保隙を目的とする装置ではない。
- × b 咬合挙上を目的とする装置では、臼歯咬合面にレジンの添加を行う。
- × c 歯列弓の拡大を目的とする装置は急速拡大装置である。
- d 写真の装置は**タンゲクリップ**である。この装置は舌突出癖の改善を目的として装着される。

正解 d

📖 要点集 292:P50

No.10



▶矯正歯科学

【問題 56】 1歳の男児。歯肉からの出血を主訴として来院した。2日前から38.7℃の発熱があり、歯肉が腫れて出血しているという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.11)を別に示す。

- 疑われる疾患はどれか。
- a 手足口病
b 上唇小帯付着異常
c リガ・フェーデ病
d ヘルペス性歯肉口内炎

▶小児歯科学

選択肢考察

- × a 手足口病では口腔粘膜と手足に**水疱性発疹**がみられる。
- × b 上唇小帯はやや高位に付着しているが上唇小帯の付着異常により発熱がみられることはない。
- × c リガ・フェーデ病は、**先天性**歯などの機械的刺激によって生じる**舌下面**の潰瘍である。
- d 歯肉出血や発熱、また口腔内に認められる出血から、ヘルペス性歯肉口内炎が疑われる。ヘルペス性歯肉口内炎は**単純疱疹ウイルス(HSV)**の初感染で起こる。38～40℃の高い発熱、口腔粘膜の**水疱形成**と**潰瘍形成**、歯肉出血、口臭が臨床症状である。



No.11

正解 d

【問題 57】 情動の発達で正しいのはどれか。

- a 新生児から興奮が備わっている。
b 生後6か月から快・不快が分化する。
c 1歳から恐れが出現する。
d 3歳までに情動の主要な形態が出現する。

▶小児歯科学

選択肢考察

- a、× b 出生直後に興奮は備わっており、生後3か月には快・不快が分化し、漠然とした安心感、不安感をもつ。
- × c 1歳になると快から愛情、得意が分化する。恐れが出現するのは生後6か月である。
- × d 5歳までに情動の主要な形態が出現し、想像上のものへの恐れが分化する。

正解 a

要点集 292:P53

【問題 58】 一般的な乳歯の萌出順序の組合せで正しいのはどれか。

(上 顎) (下 顎)

- a A→B→D→C→E ——— A→B→D→C→E
b A→B→D→C→E ——— A→B→C→D→E
c A→B→D→C→E ——— A→B→D→E→C
d A→B→C→D→E ——— A→B→D→C→E

▶小児歯科学

選択肢考察

- a 上下顎とも**A→B→D→C→E**が一般的な萌出順序である。乳歯の萌出は、生後6か月頃の下顎乳前歯萌出に始まり、2歳半頃に上顎第二乳臼歯が萌出完了する、という順序が標準的である。

正解 a

要点集 292:P55

【問題 59】 フレイルで正しいのはどれか。

- a せん妄を伴う。
b 進行は可逆的である。
c 診断基準に腹囲を含む。
d 寝たきりの状態をさす。

▶高齢者歯科学

選択肢考察

- × a せん妄は意識障害の一種で、軽い意識混濁を背景に、注意力、集中力、認知機能、記憶力、見当識などが広く障害される病態で、原則として可逆的である。入院生活や身体拘束などの環境要因により発症することが多く、幻視や運動不穏を伴う。発症すると生命予後や機能予後が著しく不良となるため、予防・早期発見が必要である。高齢者に多い傾向にあるが、入院生活などが発症要因でフレイルとは直接関係しない。
- b フレイル(虚弱)は、高齢期に生理的予備能が低下することでストレスに対する脆弱性が亢進し、生活機能障害、要介護状態、死亡などの転機に陥りやすくなった状態をいう。単に、加齢に伴う健康障害を起こしやすくなった状態だけでなく、衰弱、身体的問題(筋力の低下による易転倒性、活動性の低下など)、精神・心理的問題(認知機能障害、精神活動の低下、うつなど)、社会的問題(独居、経済的困窮)などを含む概念で、早期発見し介入すれば健常な状態に戻る可逆的な状態をいう。近年では口腔機能の低下(オーラルフレイル)がフレイルを悪化・進行させる要因の1つであることが指摘されている。
- × c 診断基準に腹囲を含むのはメタボリックシンドロームである。
- × d フレイルが進行することで寝たきりなど要介護状態に陥るため、これを防ぐため、早期発見し介入する必要がある。

正解 b

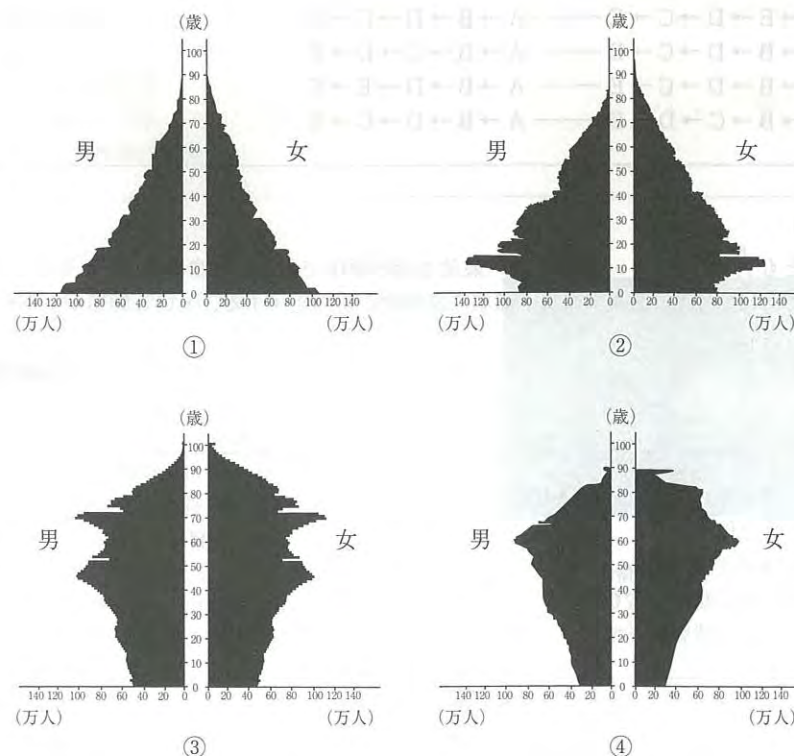
要点

●フレイルの定義(Friedらの評価基準による)

以下が1～2つ当てはまると「前虚弱」、3つ以上を「虚弱」とする。

- ① 体重減少(意図しない年間4.5kgまたは5%以上の体重減少)
- ② 疲れやすい・倦怠感(何をしてもおっくうだと週に3～4日以上感じる)
- ③ 身体活動量の低下
- ④ 歩行機能の低下
- ⑤ 筋力(握力)の低下

[問題 60] 人口ピラミッドの図を示す。



日本における平成 30 年 (2018 年) の人口ピラミッドはどれか。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶高齢者歯科学

選択肢考察

- × a 日本の戦前に該当する人口ピラミッドである。現在では発展途上国においてこの傾向がみられる。
- × b 日本における高度経済成長期の人口ピラミッドである。
- c 平成 30 年 (2018 年) の人口ピラミッドである。第一次ベビーブーム世代と第二次ベビーブーム世代が多い二峰性を示す。
- × d 将来の推計による人口ピラミッドである。

正解 c

DH20:P217

[問題 61] 国際生活機能分類(ICF)で正しいのはどれか。

- a 障害を異常の面で捉えている。
- b 心身の構造の異常を能力低下という。
- c 障害から健康に至る全般の生活状態を対象とする。
- d 障害によって咀嚼できないことを参加制約という。

▶障害者歯科学

選択肢考察

- × a 障害を制限や制約という捉え方をしており、異常として捉えてはいない。
- × b 心身の構造の異常は構造障害という。
- c 障害と健康とを区別して分類していないため、生活全般の状態を対象とする。
- × d 障害によって咀嚼できないのは機能障害である。

正解 c

DH20:P185

[問題 62] 摂食嚥下障害の精密検査はどれか。

- a 頸部聴診法
- b 嚥下造影検査
- c 喉頭挙上検査
- d 反復唾液嚥下テスト

▶障害者歯科学

選択肢考察

- × a 頸部聴診法は摂食嚥下障害のスクリーニングテストであり、空嚥下時の嚥下音と嚥下後呼吸音の判定を行う。
- b 摂食嚥下機能に対する検査では、まずスクリーニングテストを行う。スクリーニングテストで陽性と判定された者に対して精密検査を行い、確定診断となる。嚥下造影は摂食嚥下障害の精密検査に用いられる。
- × c 喉頭挙上検査は摂食嚥下障害のスクリーニングテストであり、唾液嚥下時の喉頭挙上量と挙上力の判定を行う。
- × d 反復唾液嚥下テストは摂食嚥下障害のスクリーニングテストである。

正解 b

DH20:P722

〔問題 63〕 ペリクルの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 歯垢中の細菌が形成する。
- b プラーク形成の足場となる。
- c 除去後まもなく形成される。
- d ブラッシングによって除去できる。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a、○ b ペリクル (獲得被膜) は唾液由来の糖タンパクで、エナメル質表層を覆っている。ペリクルは酸によるエナメル質脱灰を防ぐ作用があるが、細菌が歯面に付着する足場にもなる。
- c、× d ペリクルは通常のブラッシングでは除去できず、PMTC によって除去が可能である。除去後 30 分から 1 時間で再び形成される。

正解 b、c

要点集 292:P22

〔問題 64〕 54 歳の女性。下顎前歯部の歯肉退縮と不快感とを主訴として来院した。 $\overline{2+2}$ の動揺度は 0 度、歯周ポケットの深さは 4~6mm であり、慢性歯周炎と診断された。初診時の口腔内写真 (別冊午前 No.12A、B) を別に示す。

この症例のプラークリテンションファクターはどれか。2つ選べ。

- a 歯石
- b 食片圧入
- c 歯列不正
- d 下唇小帯位置

▶ 歯科予防処置

No.12 A



B



選択肢考察

- a 着色した多量の歯肉縁上歯石が認められる。歯石はプラーク保持因子として働き歯周炎を増悪させる。
- × b 接触は緊密であり歯の動揺がみられないため、食片圧入は起こりにくいと思われる。
- c 叢生は清掃困難・自浄作用の低下によりプラークが停滞しやすく、歯肉の炎症の増悪因子となる。
- × d 小帯の高位付着はプラーク停滞因子となるが、そのような所見は認められない。

正解 a、c

要点集 292:P26

〔問題 65〕 エックス線写真 (別冊午前 No.13) を別に示す。

認められる所見はどれか。

- a 上顎小白歯の隣接面う蝕
- b 下顎大白歯の咬合面う蝕
- c 上顎臼歯部の水平性骨吸収
- d 下顎大白歯の根分岐部病変

▶ 歯科予防処置

No.13



選択肢考察

- a 4] 遠心、5] 近遠心に隣接面う蝕がみられる。う蝕はエックス線透過像となる。
- × b 下顎大白歯に咬合面う蝕はみられない。
- × c 上顎臼歯部に水平性骨吸収はみられない。
- × d 下顎大白歯に根分岐部病変はみられない。

正解 a

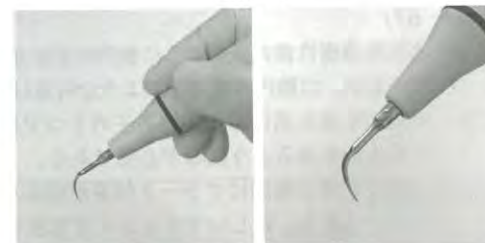
〔問題 66〕 歯科用器具の写真 (別冊午前 No.14) を別に示す。

この器具の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 患者の苦痛が少ない。
- b 歯質切削量が少ない。
- c 圧縮空気を利用している。
- d キャビテーション効果を利用している。

▶ 歯科予防処置

No.14



選択肢考察

- × a 写真の器具は超音波スケーラーである。超音波スケーラーは超音波特有の音や振動により、不快感を訴える場合がある。
- b 手用スケーラーに比べて歯質切削量が少ないので、歯根面や周囲軟組織の損傷が少ない。
- × c 圧縮空気を利用するのはエアスケーラーである。
- d 超音波スケーラーはキャビテーション効果によって歯石や沈着物を洗浄する。

正解 b、d

次の文を読み、[問題 67]、[問題 68] に答えよ。

44歳の女性。ブラッシング時の出血を主訴として来院した。仕事は夜勤が多く、食事が不規則で、食間にお菓子を食することが多いという。歯周組織検査の結果、プロービングデプスは全顎的に3～4 mmであった。上顎左側前歯部を歯周プローブで精査したところ、歯肉縁下に粗造面を触知した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.15 A)と器具の写真(別冊午前 No.15 B)を別に示す。

[問題 67] 当日の対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 含嗽剤の使用
- b 生活習慣指導
- c ブラッシング指導
- d 歯肉縁下歯石の除去

[問題 68] 上顎左側前歯部の治療に用いるのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科予防処置

No.15A



B



選択肢考察

[問題 67]

- × a 壊死性潰瘍性歯肉炎のように歯肉の炎症が強く、ブラッシング困難な場合は、含嗽剤を処方することがあるが、口腔内写真でそのような所見はない。まず正しいブラッシング方法の指導が必要である。
- b 不規則な食生活は環境関連因子の1つであり、夜勤はストレスになりやすい。できるだけ規則正しい食生活を送るよう指導が必要である。
- c 口腔内写真で歯面にプラーク付着が認められ、歯肉縁下歯石も認められる。プラークは歯周炎の初発因子であり、正しいブラッシング方法を習得する必要がある。
- × d プラークコントロールができないうちに歯肉縁下歯石を除去すると、患者は歯石除去で歯肉炎症が改善すると考えがちである。セルフケアで歯肉炎症をコントロールできることを確認してもらうために、正しいブラッシング方法により歯肉の炎症が改善してくることを患者が理解してから歯肉縁下歯石の除去を行う。

[問題 68]

- × a ①はグレイシー型キュレット No.13/14で、**大臼歯部遠心面**用である。
- × b ②はグレイシー型キュレット No.11/12で、**大臼歯部近心面**用である。
- × c ③はグレイシー型キュレット No.9/10で、**大臼歯部頬・舌側面**用である。
- d ④はグレイシー型キュレットの前歯部用スクレーラーである。上顎前歯部の歯肉縁下歯石の除去にはグレイシー型キュレットのNo.1/2、3/4を使用する。

正解 [問題 67] **b、c**
[問題 68] **d**

[問題 69] シックルタイプスクレーラーの形態修正に用いる砥石はどれか。2つ選べ。

- a セラミック
- b インディアナ
- c アーカンソー
- d カーボランダム

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a セラミックは粒子が細かいため、スクレーラーの形態修正後の仕上げに用いる。
- b インディアナは粒子が中程度に粗いため、スクレーラーの形態修正に用いる。
- × c アーカンソーは粒子が細かいため、スクレーラーの形態修正後の仕上げに用いる。
- d カーボランダムは粒子が粗いため、スクレーラーの形態修正に用いる。

◎ 砥石の種類と特徴

	種類	潤滑剤	粒子	用途
カーボランダム砥石	人工石	水	粗い	切れ味の落ちた器具の形態修正
ルビー砥石	人工石	水	粗い	切れ味の落ちた器具の研磨
インディアナ砥石	天然石	鉱物油	中程度	切れ味の落ちた器具の形態修正、研磨
アーカンソー砥石	天然石	鉱物油	細かい	日常のシャープニングと仕上げ
セラミック砥石	人工石	水	細かい	日常のシャープニングと仕上げ

正解 **b、d**

[問題 70] 中等度の歯周ポケットにおける歯肉縁下スクレーリング時の写真(別冊午前 No.16)を別に示す。

使用しているグレイシータイプキュレットはどれか。

- a #11
- b #12
- c #13
- d #14

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a 写真のスクレーリングの部位は下顎左側第一大臼歯舌側近心で、#11を用いる。
- × b #12は下顎左側第一大臼歯頬側近心に用いる。
- × c #13は下顎左側第一大臼歯頬側遠心に用いる。
- × d #14は下顎左側第一大臼歯舌側遠心に用いる。

正解 **a**

No.16



【問題 71】 CPI 変法 (WHO 2013) の歯周ポケットスコアで 6 mm 以上のポケットはどれか。

- a 1
- b 2
- c 9
- d X

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 1 は歯周ポケット 4～5 mm である。
- b 2 は歯周ポケット 6 mm 以上である。
- × c 9 は除外歯 (プロービングができない歯) である。
- × d X は対象歯なしである。

正解 b

【問題 72】 プラークと歯石の付着状況を評価するのはどれか。

- a GI
- b OHI
- c PDI
- d PHP

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a GI (Gingival Index; 歯肉炎指数) は、**歯肉炎の有無と程度**を評価する。
- b OHI (Oral Hygiene Index; 口腔衛生指数) は、**プラークと歯石の付着状況**を評価する。
- × c PDI (Periodontal Disease Index; 歯周病指数) は、**臨床的アタッチメントレベル**の概念を取り入れ、**個人の歯周組織の状態**を評価する。
- × d PHP は歯面を 5 分割し、**プラークの付着範囲**を評価する。**歯石の評価は行わない**。

正解 b

DH 20: P 579

【問題 73】 グラスアイオノマー系と比較したレジン系シーラントで正しいのはどれか。

- a 接着強さが小さい。
- b 完全萌出歯に適用する。
- c エッチングが不要である。
- d 簡易防湿で処置が可能である。

▶ 歯科予防処置

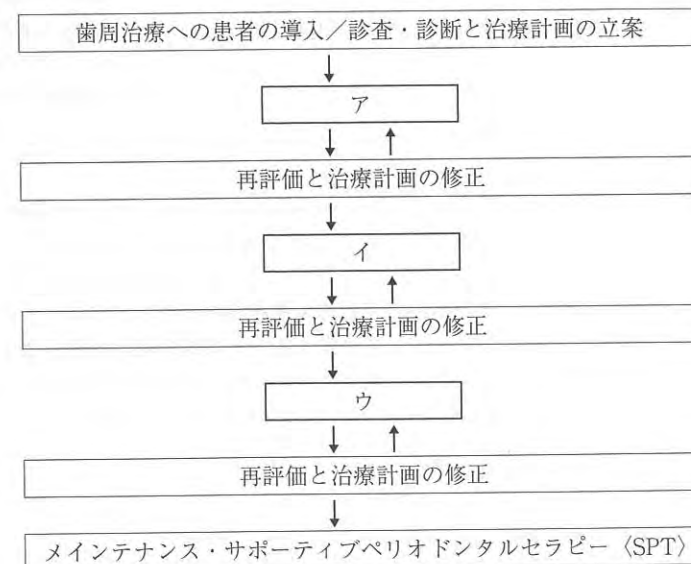
選択肢考察

- × a レジン系シーラントはグラスアイオノマー系よりも大きな接着強さの値を有している。
- b ラバーダム防湿を施してエッチングすることが可能な完全萌出歯に対して適用することができる。
- × c 機械的な嵌合力によってレジンが歯質に強固に接着するためエッチングは必要である。
- × d レジン系シーラントはエッチングを行うことから、ラバーダム防湿を行うことが必要である。

正解 b

DH 20: P 576

【問題 74】 中等度から重度の歯周炎患者に対する治療の一般的な流れを図に示す。



ウで行う治療で正しいのはどれか。

- a 抜歯
- b 永久固定
- c スケーリング
- d フラップ手術

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a、× c 歯周治療の流れの図において、ア：**歯周基本治療**、イ：**歯周外科治療**、ウ：**口腔機能回復治療**となる。歯周基本治療の目的は、**歯周病の最大の原因であるプラークを減少させ、炎症を軽減し、病変の進行を阻止すること**である。歯周基本治療として、**プラークコントロール、スケーリング・ルートプレーニング、暫間固定、咬合調整、抜歯、LDDS など**が行われる。
- b 永久固定は**口腔機能回復治療の一つ**である。
- × d フラップ手術は**歯周外科治療**である。

正解 b

DH 20: P 325

【問題 75】 フッ化物歯面塗布後の口腔内残留量はどれか。

- a 使用量の 10～20%
- b 使用量の 20～30%
- c 使用量の 40～50%
- d 使用量の 80～90%

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a フッ化物歯面塗布法を実施した場合、**一般に使用量の 10～20% が口腔内に残留するとされている**。

正解 a

〔問題 76〕 55歳の女性。歯周治療が終了し、メインテナンスに移行した。現在の口腔清掃状況はよく、喫煙歴はなく、全身状態も良好である。

歯周治療後1年以内のリコール間隔で最も適切なものはどれか。

- a 1か月ごと
- b 3か月ごと
- c 4か月ごと
- d 6か月ごと

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- b メインテナンス、SPTの間隔は、歯周治療終了後の歯周組織の状態や患者のプラークコントロールの程度、歯周病のリスクが高いかなどによって決定する。一般的には治療終了後1年以内では3か月ごとのリコール間隔が望ましいが、プラークコントロールの程度など状況に応じて増減させるとよい。嚴重な管理が必要な場合は、1か月ごとのリコールを行うこともある。

正解 b

〔問題 77〕 5歳の男児。う蝕予防のためにフッ化物歯面塗布法(2% NaF)を実施することになった。体重は18kgであり、全身状態に特筆すべき事項はない。

塗布液を誤飲して急性中毒が生じる可能性のある最小塗布量はどれか。

- a 0.4mL
- b 2.0mL
- c 3.6mL
- d 4.0mL

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- d 急性中毒発現量は2mgF/体重kgであるため、本児の急性中毒発現量は36mgF/18kgである。歯面塗布用のフッ化物ゲル中フッ素濃度は9,000ppmであり、
 $9,000\text{ppm} = 0.9\% \text{ F} = 0.9\text{g}/100\text{mL} = 900\text{mg}/100\text{mL} = 9\text{mg}/1\text{mL}$
 ゲル1mL中に9mgのフッ素が含まれている。
 急性中毒を引き起こす36mgのフッ化物を含有する量は、 $36/9 = 4\text{mL}$ となる。

正解 d

〔問題 78〕 喫煙が歯周組織に及ぼす影響で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉出血の増加
- b 好気性菌の増加
- c 組織酸素分圧の低下
- d メラニン色素の沈着

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a たばこに含まれるニコチンの血管収縮作用により、歯肉出血は減少する。
 × b 喫煙により嫌気性菌の割合が増加する。
 ○ c 喫煙は歯周病の環境因子である。喫煙が関連する歯周病では、歯槽骨吸収やアタッチメントロスの進行、軽度の歯肉の炎症、歯肉のメラニン色素沈着といった臨床的特徴が認められる。組織の血流量が減少することにより、酸素分圧は低下する。
 ○ d 喫煙者では特に前歯部唇側歯肉に高度なメラニン色素沈着が認められる。

正解 c、d

📖 要点集 292:P23

〔問題 79〕 Tell - Show - Do 法で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ビデオ映像を用いる。
- b 発達障害児に有効である。
- c タイムアウト法を併用する。
- d わかりやすい言葉で説明する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 模倣学習をさせたりビデオを見せたりするのは、モデリング法である。
 ○ b 発達障害児には Tell - Show - Do 法を基本にしたトレーニングが有効である。
 × c タイムアウト法とは、治療の場から一度隔絶する方法である。Tell - Show - Do 法と併用するのは10カウント法やオペラント条件付けである。
 ○ d わかりやすい媒体を使い、わかりやすい言葉で説明する。

正解 b、d

📖 DH 20:P805

要点

小児の治療では、治療以前の問題としてラポールの形成と歯科治療に対する恐怖感、不安感、警戒心を取り除くことが重要である。そのため、行動療法(行動変容法)を応用したトレーニングが重要である。小児に対しトレーニングを実施することにより、徐々に治療への適応性が高まり治療を協力的に受け入れることが出来るようになる。行動療法とは心理療法理論で、行動理論を基礎とする数多くの行動変容技法の総称である。近年は、広義の認知療法との交流や統合が進展し、認知行動療法と称されることが多くなっている。目的は客観的に測定可能な「行動」であり、目標は「望ましくない行動の低減」や「望ましい行動の増大」といった「行動の制御(変容)」である。Tell Show Do 法(TSD法)とは、系統的脱感作法のことで歯科治療に際し、器具などを見せ、説明し、やって見せる方法である。弱い刺激から順次強い刺激へと段階的に刺激を与えていくことで、小児患者が感じる不安・恐怖を慣れさせて克服させる。

【問題 80】 Barthel Index (BI) で評価する項目はどれか。2つ選べ。

- a 買い物
- b 金銭管理
- c 階段昇降
- d 排尿コントロール

選択肢考察

- × a、× b 買い物・金銭管理は IADL (手段的日常生活動作) の評価項目である。
- c、○ d Barthel Index (BI) とは、食事や着替えなどの日常生活の能力を評価する検査方法で、病院や介護現場で患者の ADL の評価を目的に用いられている。また、専門的な知識がなくても短時間で簡単に評価できるため、様々な領域で汎用されている。BI の評価項目は、食事・移乗・整容・トイレ動作・入浴・歩行・階段昇降・更衣・排便コントロール・排尿コントロールの全 10 項目で構成され、各項目を自立度に応じて 15 点・10 点・5 点・0 点で採点している。

正解 c、d

▶ 歯科保健指導

DH 20:P679

【問題 81】 1 歳の女兒。上顎乳前歯部の歯肉の腫れを主訴として来院した。保護者から歯磨きの方法について相談を受け、口腔清掃について指導することになった。初診時の口腔内写真 (別冊午前 No. 17) を別に示す。

適切な指導内容はどれか。2つ選べ。

- a 歯磨剤を使用してください。
- b 寝かせて磨くと磨きやすいです。
- c 歯間ブラシを使うとより効果的です。
- d 嫌がる時はガーゼで拭き取るようにしてください。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 歯磨剤の使用はフッ素の効果でう蝕予防に効果があるが、デンタルプラークの除去にはブラッシングなどの物理的なプラークコントロールの方が有効である。
- b、○ d 萌出後間もない上顎乳前歯部歯肉の腫脹を主訴としていることから、萌出性歯肉炎と口腔清掃不良によるデンタルプラークによって生じた歯肉炎の両方が原因であると考えられる。対応としては、適切な口腔清掃法を指導することが重要で、寝かせ磨きでよく歯を見ながら磨くこと、歯ブラシの使用を嫌がる場合はガーゼによる清拭を行うことなどが指導項目である。歯磨剤の使用はう蝕予防の観点からは勧められることではあるが、歯肉の腫脹に対する直接の指導とはならない。
- × c 乳歯列で歯間ブラシの使用を勧めることはない。

正解 b、d

No. 17



【問題 82】 ブラッシングの図 (別冊午前 No. 18) を別に示す。

- この刷掃法はどれか。
- a バス法
 - b ローリング法
 - c フォーンズ法
 - d スクラッピング法

選択肢考察

- a バス法は刷毛を歯軸に対し、45 度の角度で歯肉にあて、横に小さく運動させる。
- × b ローリング法は、脇腹を歯肉に当ててから歯冠に向けて回転させる方法である。
- × c フォーンズ法は歯面に垂直に当てた歯ブラシを円を描くように動かす。操作が簡単で、幼児、児童向けとされる。
- × d スクラッピング法は毛先を歯面に垂直に当て、近遠心的に微振動で行う。

正解 a

▶ 歯科保健指導

No. 18



【問題 83】 メタボリックシンドロームの診断基準項目はどれか。

- a n-3 系脂肪酸
- b n-6 系脂肪酸
- c HDL コレステロール
- d LDL コレステロール

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- c ● メタボリックシンドロームの診断基準

腹腔内脂肪蓄積	ウエスト周囲径	男性 ≥ 85 cm 女性 ≥ 90 cm
		(内臓脂肪面積 男女とも ≥ 100 cm ² に相当)
・上記に加え以下のいずれか 2 項目以上 (男女とも)		
高トリグリセリド血症	かつ/または	≥ 150 mg/dL
低 HDL コレステロール血症	かつ/または	< 40 mg/dL
収縮期血圧	かつ/または	≥ 130 mmHg
拡張期血圧	かつ/または	≥ 85 mmHg
空腹時高血糖		≥ 110 mg/dL

- 注 1) CT スキャンなどで内臓脂肪量測定を行うことが望ましい。
- 2) ウエスト周囲径は立位、軽呼吸時、臍レベルで測定する。脂肪蓄積が著明で臍が下方に偏位している場合は肋骨弓下縁と前腸骨稜上線の中点の高さで測定する。
- 3) 高トリグリセリド血症、低 HDL コレステロール血症、高血圧、糖尿病に対する薬剤治療を受けている場合は、それぞれの項目に含める。

正解 c

【問題 84】 糖尿病患者の歯科治療に際し、特に注意すべきなのはどれか。2つ選べ。

- a 低血糖
- b 血圧低下
- c 出血傾向
- d 術後感染

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 特に血糖コントロールの良い糖尿病患者が朝食を抜いた状態で治療を受けた場合、治療薬や食事療法の影響から低血糖を呈する場合があります、血糖値の低下により低血糖性昏睡となり、最悪の場合、死に至るため注意が必要である。
- × b 糖尿病患者では動脈硬化や高血圧症を合併している場合が多く、血圧上昇に注意を必要とする場合が多い。
- × c 糖尿病では特に出血傾向となりやすいということはない。ただし、コントロールされていない糖尿病では高血糖により血管が傷害を受け、脆弱となっていることが多い。この場合は創傷の治癒遅延の原因となる。
- d 糖尿病では、高血糖の持続により白血球貪食能の低下などのために易感染性であることが知られている。特にコントロールされていない糖尿病患者では術後の治癒遅延や術後感染、重篤な菌性感染症の合併が報告されており、歯科治療時に特に注意が必要である。

正解 a、d

【問題 85】 49歳の男性。下顎左側臼歯部にブリッジを装着し、デンタルフロスを用いたブリッジ部分の清掃について歯科医師から指示があった。

デンタルフロスの使用方法で適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 隣接面の清掃は太いものを使用する。
- b 鋸を引くように横にスライドさせて挿入する。
- c ワックスタイプは歯の面に広がって隣接面に挿入しやすい。
- d 遠心面に沿わせて歯頸部から咬合面方向に動かし遠心面を清掃する。

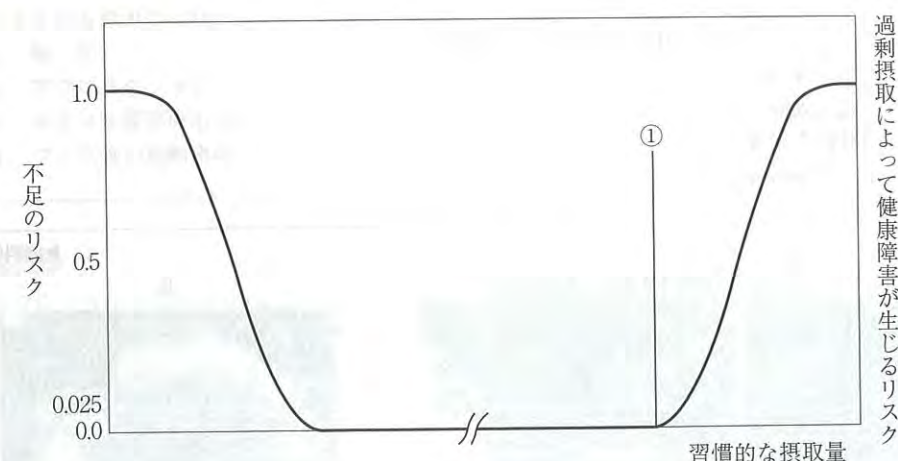
▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 固定性補綴装置のコンタクトはすでに調節してあるため、デンタルフロスは細いものを使用する。
- b デンタルフロスを隣接面に挿入し、のこぎりをひくように横にスライドさせながらコンタクトポイントを通させる。
- × c アンワックスタイプは引っ張ると歯の面に広がって細くなり、隣接面に挿入しやすく取り出しやすい。
- d 挿入後は正中方向に引張り、遠心面に沿わせて歯頸部から咬合面の方向へ2～3回動かし、遠心面を清掃する。

正解 b、d

【問題 86】 日本人の食事摂取基準の各指標の概念図を示す。



①が設定されている栄養素はどれか。2つ選べ。

- a ビタミンA
- b ビタミンB₁
- c ビタミンC
- d ビタミンE

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a、d ①は耐容上限量で、この値を超えて摂取した場合、過剰摂取による健康障害が発生するリスクがゼロではなくを示す値である。ビタミンKを除く脂溶性ビタミン(A、D、E)に設定されている。

正解 a、d

DH 20:P 621

【問題 87】 ライフステージと歯科保健対策との組合せで適切なものはどれか。

- a 乳児期 —— フッ素塗布
- b 幼児期 —— 3歳児健康診査
- c 妊娠期 —— 歯周疾患検診
- d 成人期 —— 訪問口腔衛生指導

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 乳児期の歯科保健対策は、歯科健康診査と歯科保健指導である。乳前歯が萌出し始めたばかりの乳児へのフッ素塗布は行わない。
- b 幼児期の歯科保健対策は、1歳6か月児健康診査や3歳児健康診査における歯科健診を行い、う蝕や不正咬合などの早期発見を行う。
- × c 妊娠期は生理的变化により、う蝕や歯周疾患に罹患しやすい状態にある。歯科健康診査や保健指導などにより予防策を講じる。歯周疾患検診は、40歳以上の成人期を対象に行われる保健対策である。
- × d 訪問口腔衛生指導は、老年期(65歳以上)の寝たきり者を対象とした保健対策である。

正解 b

〔問題 88〕 4歳の男児。定期的な口腔管理を希望して来院した。生後3か月時に口唇閉鎖術、1歳2か月時に口蓋形成術を受けたという。来院時の顔貌写真(別冊午前 No.19A)と口腔内写真(別冊午前 No.19B)を別に示す。

現時点で行うべき適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 食事指導
- b 口蓋形成術
- c 口腔衛生指導
- d ホツツ床の装着



▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a、○ c 唇顎口蓋裂患児では口唇閉鎖術、口蓋形成術を行った後、永久歯の萌出に合わせて矯正治療が行われるが、こうした一連の治療期間中に、主にく齧予防を中心とした口腔管理が必要となる。食事指導並びに口腔衛生指導を継続的に行うく齧予防処置も合わせて行う。
- × b 口蓋形成術は1歳6か月頃に行うのが一般的である。
- × d ホツツ床は、顎発育の促進や吸啜力の改善(哺乳しやすくすること)を目的として、生後まもなく装着する。

正解 a、c



〔問題 89〕 39歳の女性。上顎両側犬歯と第一小臼歯の冷水痛を主訴として来院した。拒食症の治療を受けている。自発痛はない。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.20)を別に示す。

考えられる原因はどれか。

- a 嘔吐
- b アブフラクション
- c エナメル質形成不全
- d フッ化物の過剰摂取

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 拒食症では反復嘔吐が認められ、胃酸の逆流により歯の舌側に酸の脱灰による実質欠損が認められる。細菌によるく齧ではないが歯の実質欠損が認められるものを Tooth wear といひ、咬耗、摩耗、酸蝕症、アブフラクションがある。そして、酸蝕症の原因には職業性のもの、食品によるもの、胃酸によるものがある。また、舌側の滑沢な実質欠損は、拒食症による嘔吐や逆流性食道炎(GERD)に認められることが多く、胃酸によって歯が溶けた結果である。
- × b アブフラクションとは、楔状の欠損であり、小臼歯の頬側歯頸部が好発部位である。
- × c エナメル質形成不全は、全身的要因により生じ、同一成長部位全体あるいは歯列全体に病変が認められるものであり、舌側面のみなどの特定部位にあらわれるものではない。
- × d フッ化物の過剰摂取による歯のフッ素症は、エナメル質の白濁や実質欠損がみられる疾患で、同一成長部位全体あるいは歯列全体に病変が認められる。舌側面のみなどの特定部位にあらわれるものではない。

No. 20



正解 a

〔問題 90〕 経鼻経管栄養法の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 手術を必要とする。
- b 瘻孔のケアが必要である。
- c 誤嚥発生リスクが高い。
- d 鼻咽頭損傷のリスクがある。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 手術を必要とするのは胃瘻(腸瘻)栄養法である。胃瘻栄養法は、胃瘻を造設することで栄養を注入するため、嚥下訓練を妨げないことや、肺炎リスクが少ないなどの利点がある。
- × b 瘻孔のケアが必要なのは胃瘻栄養法である。
- c ○ d 経鼻経管栄養法は、鼻腔から胃などに管を挿入して栄養剤を投与する方法である。手技が広く普及しており、低コストで行うことができるが、鼻咽腔損傷や誤嚥発生リスクが高いなどの欠点がある。

正解 c、d

〔問題 91〕 75歳の男性。高齢者歯科健診を受診した。1日1食しか食べないことが多く、3か月前と比較して体重が3kg減少したという。破損した部分床義歯を使用しており、咀嚼機能の低下が認められた。要介護認定を受けておらず、独居で生活している。

健診後の保健指導において患者に推奨すべきなのはどれか。2つ選べ。

- a 保健所での相談
- b 歯科医療機関への受診
- c 地域活動支援センターでの相談
- d 地域包括支援センターでの相談

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 75歳以上の健康診査については、QOLの確保及び生活習慣病の早期発見による重症化予防等の観点から実施を推進しており、後期高齢者医療広域連合が、市町村との連携のもと実施している。保健所では行われていない。
- b 後期高齢者が生活の質を保ち、健康で豊かな生活を送るためには、食生活は重要な要素である。その食生活に大きく影響を与えるのが口腔の健康であり、日常生活における歯科疾患の予防の取組が、口腔の健康の保持に極めて有効とされている。このため、後期高齢者に対する歯科口腔健診では、「オーラルフレイル」とそれに継発する虚弱状態を予防し、健康寿命の延伸に貢献することを目的とし、具体的には後期高齢者の咀嚼を中心とした口腔機能と栄養状態を健診で評価し、適切な事後措置の構築を目指している。破損した部分床義歯を使用していることから歯科医療機関への受診を勧める。
- × c 地域活動支援センターは、障害者総合支援法を根拠法とする、地域で生活している身体障害者、精神障害者、知的障害者などが利用できる通所施設である。
- d 後期高齢者歯科健診では、後期高齢者医療広域連合が、地域の実情に応じて、地域包括支援センター、保健センター、訪問看護ステーション、薬局等を活用し、課題に応じた専門職（管理栄養士、歯科衛生士、薬剤師、保健師等）が、対応の必要性が高い後期高齢者に対して相談や訪問指導等を実施する。本問の場合、フレイルは認められるが要介護認定を受けていないため地域包括支援センターが相談窓口となる。

正解 b、d

〔問題 92〕 あるスクリーニング検査の写真（別冊午前 No.21）を別に示す。
この検査法の説明を示す。

喉頭隆起および舌骨部にそれぞれ指腹をあて、唾液を連続して嚥下するように指示する。① 間で何回嚥下ができるかを観察する。
② 未満であれば、嚥下障害の可能性が高いと判断する。

に入る語句の組合せで正しいのはどれか。

- | | | |
|---|-----|----|
| | ① | ② |
| a | 30秒 | 2回 |
| b | 30秒 | 3回 |
| c | 1分 | 2回 |
| d | 1分 | 3回 |

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- b 喉頭隆起および舌骨部にそれぞれ指腹をあて、唾液を連続して嚥下するように指示する。30秒間で何回嚥下ができるかを観察する。3回未満であれば、嚥下障害の可能性が高いと判断する。

正解 b

DH 20:P 720

No.21



〔問題 93〕 急性期治療における周術期口腔機能管理の目的はどれか。

- a 咀嚼能力の向上
- b フレイルの予防
- c 術後合併症の予防
- d 認知機能低下の予防

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a、× b 口腔機能管理は咀嚼能力の向上やフレイルの予防に寄与するが、とくに慢性期治療において意義があり、急性期治療においては該当しない。
- c 周術期口腔機能管理とは、がん治療や心臓血管領域、整形外科、脳神経外科などの手術、ICUでの治療などにおいて治療担当医と歯科医師が連携して、患者の口腔ケアを含めた口腔機能を管理することをいう。手術や放射線治療、がん薬物療法（化学療法を含む）に伴う口内炎や口腔内感染症などの口腔内合併症や誤嚥性肺炎の予防を目的とした、がん治療に対する支持療法として位置づけられている。周術期口腔機能管理は急性期治療において、口腔ケア、口腔機能低下の予防、肺炎の予防、手術や臥床に伴い低下した口腔機能の賦活などで術後合併症の予防に寄与している。
- × d 認知機能低下の予防は主として慢性期における口腔機能管理に関係する。

正解 c

【問題 94】 50歳の男性。歯ぐきからの出血を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.22)を別に示す。歯周組織検査の結果、プロービングデプスは前歯部が5~8 mm、臼歯部が5~6 mmで、軽度の動揺がみられた。

まず行うべき対応はどれか。2つ選べ。

- a 口腔清掃指導
- b スケーリング
- c ラミネートベニア装着
- d コンポジットレジン修復

▶ 歯科保健指導

No.22



選択肢考察

- a、○ b 口腔内写真より、歯肉の発赤と腫脹、歯石沈着が認められる。まず行うべき対応として歯周基本治療を行い、口腔清掃を徹底するための口腔清掃指導、歯石除去(スケーリング)を行う。
- × c 上顎前歯部に変色が見られるが、ラミネートベニア修復の前に、まずは歯面清掃を行う。
- × d う蝕は認められないため、コンポジットレジン修復の必要はない。

正解 a、b

【問題 95】 80歳の男性。最近食事のスピードが遅くなり、飲み込みが悪くなったとのこと。有料老人ホームの職員から訪問歯科診療の依頼があった。嚥下内視鏡検査で検査食の梨状窩への残留が認められた。摂食・嚥下機能訓練の一環として頭部挙上訓練を行った。

この訓練で正しいのはどれか。

- a 直接訓練である。
- b 声門閉鎖の強化を目的とする。
- c 食道入口部の開大を目的とする。
- d 3回/日を半年間続ける必要がある。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 頭部挙上訓練は摂食嚥下障害の間接訓練の1つである。
- × b 声門閉鎖の強化には息こらえ嚥下やプッシング・プリング訓練がある。
- c 頭部挙上訓練は喉頭の前上方運動を改善して食道入口部の開大を図るために行う。
- × d 頭部挙上訓練は① 挙上位の保持、② 反復挙上運動があり、①、②を1日3回6週間続けると効果があると報告されているが、負荷が大きいため症例により適宜、強度や頻度を調整する。従って長期間に渡って続ける必要はない。

正解 c

DH20:P708

【問題 96】 27歳の女性。下顎第一大臼歯の疼痛を主訴として来院した。妊娠8か月であるという。スケーリングのため水平位にしたところ、気分不快を訴え、顔面蒼白となり冷汗と血圧低下とがみられた。

適切な対応はどれか。

- a 衣服を緩める。
- b 水を飲ませる。
- c 右側臥位にする。
- d 下肢を挙上する。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a、× c 妊娠後期には、仰臥位になると増大した子宮が母体の下大静脈を圧迫する可能性がある。このため心臓への静脈還流が急激に減少し、その結果血圧は低下し、意識レベルも低下する。下大静脈は正中より右側にあるため、これを防ぐには左側臥位にし、衣服を緩め下大静脈の圧迫を解放する。
- × b 水を飲ませても意味がない。
- × d 下肢を挙上しても下大静脈の圧迫を回復することはできない。

正解 a

【問題 97】 粉末に酸化亜鉛が含まれるのはどれか。2つ選べ。

- a リン酸亜鉛セメント
- b 接着性レジンセメント
- c グラスアイオノマーセメント
- d ポリカルボキシレートセメント

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a リン酸亜鉛セメントは粉末に酸化亜鉛が含まれている。液成分には正リン酸水溶液を使用している。
- × b 接着性レジンセメントはMMA系とコンポジット系があり、接着材の中で最も機械的性質が大きい。
- × c グラスアイオノマーセメントは粉末にアルミノシリケートガラスが、液成分にポリアクリル酸水溶液が含まれたセメントで、フッ素徐放性、歯髄刺激が軽微、歯質接着性などの特徴を有している。
- d ポリカルボキシレートセメントは粉末に酸化亜鉛が含まれている。グラスアイオノマーセメントと液成分が同じであり、歯質に対して接着性を有している。

正解 a、d

【問題 98】 クリニカルパスの利点はどれか。2つ選べ。

- a 医療の質の標準化ができる。
- b 医療従事者の確保が容易となる。
- c 施設間の治療成績を比較できる。
- d 退院時の達成目標を明確化できる。

選択肢考察

- a、d クリニカルパスとは、治療や検査の標準的な経過を説明するため、入院中の予定をスケジュール表のようにまとめた入院診療計画書である。入院時、患者に渡して、入院中に受ける検査・治療・手術等の予定や術後のリハビリなどの治療内容、食事・入浴などの生活の流れを患者が理解し、医療従事者と共に疾病の克服を目指すツールである。また、従来、医師によってばらつきがあった医療の内容を標準化し、医療にかかわるスタッフ全員が患者の治療計画を共有化することにより、チーム医療に役立て、医療の安全や医療の質の向上を目的としたものである。要約すると、クリニカルパスとは一定の疾患をもつ患者に対して特定の結果 (Out Come) をえるため医療チームによって行う、必要不可欠 (Critical) な仕事内容と最も望ましい実施順序、実施時期の一覧表である。

正解 a、d

要点

● クリニカルパスの目的・利点

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| (1) 医療の質の標準化
(クリニカルパスの主目的) | (8) 標準からの変動、異常の発見が容易になる |
| (2) 計画性の向上 | (9) 院内コミュニケーション促進 |
| (3) 医療コスト、資源の節約 | (10) 医療情報の公開・共有 |
| (4) 入院期間短縮 | (11) 教育ツールとして使用 |
| (5) 患者の自己管理向上 | (12) インフォームドコンセントの充実 |
| (6) 信頼関係向上 | (13) チーム医療の展開 |
| (7) 安心感、満足度向上 | (14) 医療の継続性 |
| | (15) ミスの低減 |

【問題 99】 非弾性印象材はどれか。

- a 寒天
- b アルジネート
- c ポリエーテルゴム
- d 酸化亜鉛ユージノール

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 寒天は主成分が寒天で、流動性に優れた弾性印象材である。
- × b アルジネートはアルギン酸を主成分とし概形印象に使用される弾性印象材である。
- × c ポリエーテルゴムは吸水膨張を有するなどの特徴をもつ弾性印象材である。
- d 酸化亜鉛ユージノールは流動性に優れ精密印象も可能な非弾性印象材である。

正解 d

【問題 100】 歯周治療に用いる器具の写真 (別冊午前 No.23) を別に示す。

この器具の目的はどれか。

- a 炎症程度の把握
- b 歯肉の厚みの測定
- c 付着歯肉幅の測定
- d ポケット底部の印記

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 炎症程度の把握は視診、触診、プロービング時の出血の有無で行う。
- × b 歯肉結合組織移植術を行う場合、供給側である口蓋側歯肉の厚みが3mm以上必要であるため歯肉の厚みを測定する必要があるが、浸潤麻酔下で細いリーマーなどを利用することが多い。
- × c 付着歯肉幅は「歯肉辺縁から歯肉歯槽粘膜境までの距離-ポケット深さ」であり、測定にはポケットプローブを用いる。
- d 写真の器具はクレンカプランのポケットマーカである。ポケットマーカでポケット底の印記をし、ポケット底に向けて切開を加える。

正解 d

要点集 292:P32

【問題 101】 切削用器具の写真 (別冊午前 No.24) を別に示す。

バーはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a ①は高速切削用のラウンド型微粒子ダイヤモンドポイントである。コンポジットレジン修復などのエナメル質窩洞の仕上げに用いられる。
- × b ②は高速切削用のベア型ダイヤモンドポイントである。エタービンに装着しコンポジットレジン修復時のエナメル質窩洞形成などに用いられる。
- c ③は高速切削用の円頭裂溝状カーバイドバーである。効率よく切削できるため金属修復物などの除去に用いられる。
- d ④は低速切削用のスチールのラウンドバーである。軟化象牙質の除去などに用いられる。

正解 c、d

No.24



〔問題 102〕 ろう義歯の口蓋形態を確認するのはどれか。

- a 咬合力検査
- b パラトグラム検査
- c ブローイング検査
- d ゴシックアーチ描記法

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a ろう義歯では人工歯の位置関係が狂うことから、咬合力検査は行わない。
- b 義歯の製作過程において、ろう義歯を一度患者の口腔内に試適し以下の事項の点検を行う。「人工歯の排列」、「咬合関係」、「義歯床外形線」、「歯肉部形態」、「発音機能」。発音時に舌が口蓋のどの範囲に接するかを調べる方法としてパラトグラム検査があり、ろう義歯の口蓋形態を確認する。
- × c ブローイング検査は、鼻咽腔閉鎖機能を検査する方法である。
- × d ゴシックアーチ描記法は、下顎の限界運動や上下の水平的顎間関係の記録を目的とした術式であるが、ろう義歯では行わない。

正解 b

DH 20:P 375

〔問題 103〕 側面頭部エックス線規格写真のトレース図(別冊午前 No.25)を別に示す。

- ①の計測平面はどれか。
- a FH 平面
- b SN 平面
- c カンベル平面
- d パラタル平面

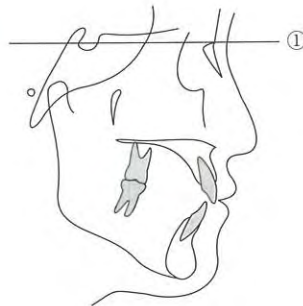
▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a フランクフルト平面 (FH 平面) は、前方基準点である左右の眼窩最下点 (Or) と、後方基準点である両外耳孔の上端 (Po) を結んだ仮想平面である。
- b 図は SN 平面で、トルコ鞍の中心 (S) とナジオン (N) を結んだ直線から得られる平面である。
- × c カンベル平面は、左右の鼻翼下点と外耳道上縁を結んだ線 (鼻聴道線; カンベル線) で決定される平面で、咬合平面とはほぼ平行になる。
- × d パラタル平面 (口蓋平面) は、口蓋骨の最後方位 (後鼻棘; PNS) から最前方位 (前鼻棘; ANS) までを結ぶ直線で示される平面である。

正解 b

No.25



要点集 292:P 48

〔問題 104〕 16 歳の男子。自閉症により治療困難なため、全身麻酔下で多数歯う蝕の処置を行うことになった。器具の写真(別冊午前 No.26)を別に示す。

気管挿管を行うために必要な器具はどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.26



①



②



③



④

選択肢考察

- × a ①はケリー鉗子である。挿管にはマギール鉗子を用いる。
- b ②は気管内チューブで、気道確保に用いる。
- × c ③は開口器で、気管挿管時には使用しない。
- d ④は喉頭鏡で気管挿管の際、喉頭展開に使用する。

正解 b、d

要点

麻酔薬で意識をなくし、筋弛緩薬で骨格筋の弛緩を行い、喉頭鏡で喉頭展開を行い、気管内チューブを声門から気管に挿入して気道を確保する操作を気管挿管という。

気管挿管は全身麻酔だけでなく、救急蘇生の場合に必要な操作の1つでもある。

〔問題 105〕 手術器具の写真(別冊午前 No.27)を別に示す。

この器具の使用目的はどれか。2つ選べ。

- a 止血
- b 穿刺
- c 縫合
- d 把持

選択肢考察

- a、○ d 写真は曲型のペアン鉗子である。ペアン鉗子は、血管や組織の把持または結紮、結紮用糸やマーキング用テープの把持、組織同士の剥離などの目的で使用する。ペアン鉗子を用いた止血は、出血点(切断された血管)を鉗子で把持し血管を圧挫、または把持部の近位を結紮することで行う。
- × b 穿刺は注射針等を用いる。
- × c 縫合は持針器を用いる。

正解 a、d

No.27



▶ 歯科診療補助

〔問題 106〕 歯科医師と4歳児の処置後の会話の一部を示す。

歯科医師：今日で3回目だけど上手にできたね。シールが3枚になるから好きなおもちゃと交換できるよ。

患 児：ありがとう。じゃあ、これにする。

下線部に該当するのはどれか。

- a モデリング法
- b シェイピング法
- c タイムアウト法
- d トークンエコノミー法

選択肢考察

- × a モデリング法は、模倣学習させたりビデオをみせたり、上手に治療されている子を見学させる方法である。
- × b シェイピング法は、目標とされる行動をいきなり獲得させるのではなく、最終的な目標行動に至るまでの行動を、容易にできるものから順にスモール・ステップで段階的に分割し、その行動が生じたら強化を行うことで、徐々に目標行動の獲得へ近づけていく方法である。知的障害児、自閉症児に適応的な社会行動を習得させる方法として多く用いられる。
- × c タイムアウト法は、治療の場から一度隔絶する方法である。
- d トークンエコノミー法は、正の強化因子(シール、玩具、ほめる、微笑む、なでる、など)を与え、負の強化因子(身体の拘束、叱責、無視(反応しない、待つ)、孤立させる、など)を除去する、正の強化法である。

正解 d

▶ 歯科診療補助

〔問題 107〕 乳児の誤嚥に対する処置はどれか。

- a 胸骨圧迫
- b 人工呼吸
- c 背部叩打法
- d 腹部突き上げ法

選択肢考察

- × a、× b 胸骨圧迫や人工呼吸は、まず意識の確認を行い、意識が認められず呼吸がない場合に行う救急処置である。まずは異物の除去を試みる。
- c 乳児の誤嚥の際は、背部叩打法または胸部突き上げ法にて異物を吐き出させる。
- × d 腹部突き上げ法は成人・小児に対して行われる異物を吐き出させる方法である。乳児では胸部突き上げ法を行う。

正解 c

▶ 歯科診療補助

〔問題 108〕 脳性麻痺患児の歯科治療で、不随意運動の抑制に有効なのはどれか。2つ選べ。

- a 膝の屈曲
- b 下肢の挙上
- c 頭部の前屈
- d アイマスクの装着

選択肢考察

- a、○ c 脳性麻痺患者の筋の緊張、異常反射、不随意運動を抑制するためには、可能な限り精神的な緊張を取り除きリラックスさせる工夫を行う必要がある。治療時の体位としてはボバースの反射抑制体位が知られており、肘関節、膝関節、股関節を屈曲させ、頭部は前屈し、膝にクッションなどを挟む。治療時に体位を変える際には患者のペースに合わせてゆっくり姿勢を変化させることが必要である。
- × b 下肢の挙上では体位が不安定になり、緊張を誘発しかねない。
- × d アイマスクで視野を遮断することは、不安感を助長することとなり、不随意運動の抑制にはならない。

正解 a、c

▶ 歯科診療補助

【問題 109】医療従事者に対する放射線防護の三原則でないのはどれか。

- a 時間
- b 遮蔽
- c 距離
- d 波長

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

× d 放射線防護の三原則とは、**時間・遮蔽・距離**という3つである。「時間」の原則は、作業者が放射線に曝されている時間を短縮することにより被ばく線量を低減することである。「遮蔽」の原則は、放射線源と作業者の間に遮へい物を設置することにより被ばく線量を低減することである。「距離」の原則は、放射線源と作業者との距離を離すことにより、作業時における空間線量率を低減することである。

正解 d

📖 要点集 292:P82

【問題 110】一次救命処置で行うのはどれか。2つ選べ。

- a 気管挿管
- b 胸骨圧迫
- c 意識の確認
- d 薬剤の投与

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

○ b、c 救急蘇生法とは、反応障害、呼吸停止、心停止あるいはそれに近い状態に陥った人に、人為的な呼吸や循環の補助または薬物投与などを行って救命する一連の処置をいう。突然の心停止に対して、特殊な器具や医薬品を用いることなく、医療従事者に限らず行える気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、さらに自動体外式除細動器(AED)による除細動等の救急蘇生法を一次救命処置(BLS)という。また、BLSを含めて、医療従事者が器具や医薬品などを用いて行う高度な救急蘇生法を二次救命処置(ALS)という。

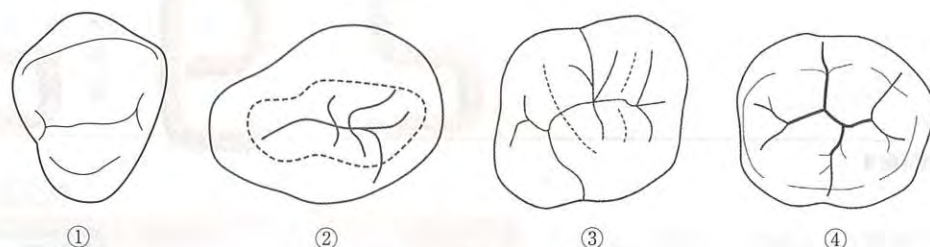
正解 b、c

📖 要点集 292:P73

292

午後問題……… 解答・解説

〔問題 1〕 臼歯咬合面の模式図を示す。



ドリオピテクス型はどれか。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶解剖学

選択肢考察

- × a ①は上顎第一小臼歯の咬合面観である。上顎第一小臼歯にみられる構造の1つに介在結節がある。
× b ②は下顎第一乳臼歯の咬合面観である。下顎第一乳臼歯にみられる構造の1つに遠心トリゴニード隆線がある。
× c ③は上顎第一大臼歯の咬合面観である。上顎第一大臼歯にみられる構造の1つにカラベリー結節がある。
○ d ④は下顎第一大臼歯の咬合面観である。ドリオピテクス型とは、下顎大臼歯咬合面に認められる Y 字型の裂溝をいう。

正解 d

〔問題 2〕 内頭蓋底の一部の写真（別冊午後 No. 1）を別に示す。

矢印が示すのはどれか。

- a 正円孔
b 卵円孔
c 内耳孔
d 茎乳突孔

▶解剖学

選択肢考察

- × a 正円孔は蝶形骨に存在し、上顎神経が通過する。
○ b 写真の矢印は卵円孔を示している。卵円孔には下顎神経が通過する。
× c 内耳孔は側頭骨に存在し、顔面神経と内耳神経が通過する。
× d 茎乳突孔は側頭骨に存在し、顔面神経が通過する。

正解 b

要点集 291:P5

No. 1



〔問題 3〕 咀嚼筋と停止の組合せで正しいのはどれか。

- a 咬筋——— 頬骨弓
b 側頭筋——— 筋突起
c 内側翼突筋——— 翼突窩
d 外側翼突筋——— 翼突筋粗面

▶解剖学

選択肢考察

- b 筋が収縮した際、支点となる側（動かない方）を起始といい、作用点となる（動く方）を停止という。咀嚼筋は下顎運動に関与するため、咀嚼筋の停止はすべて下顎骨となる。

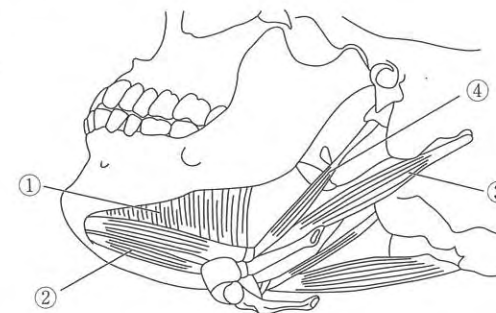
咀嚼筋	起 始	停 止	機 能
咬 筋	頬骨弓	咬筋粗面	閉口運動
側頭筋	側頭窩	筋突起	側方、後方、閉口運動
内側翼突筋	翼突窩	翼突筋粗面	閉口運動
外側翼突筋	上頭：側頭下稜、蝶形骨大翼 下頭：翼状突起外側板	上頭：関節円板、関節包 下頭：翼突筋窩	開口、前方、側方運動

舌骨上筋群	付着部	支配神経
顎二腹筋	前 腹 後 腹	顎舌骨筋神経（下顎神経） 二腹筋枝（顔面神経）
顎舌骨筋	顎舌骨筋線	顎舌骨筋神経
オトガイ舌骨筋	オトガイ棘	舌下神経
茎突舌骨筋	茎状突起	茎突舌骨筋枝（顔面神経）

正解 b

要点集 291:P7

〔問題 4〕 舌骨上筋群の模式図を示す。



顎舌骨筋はどれか。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶解剖学

選択肢考察

- a ①は顎舌骨筋である。下顎骨内面の顎舌骨筋線に付着する。
× b ②は顎二腹筋前腹である。下顎骨内面の二腹筋窩に付着する。
× c ③は顎二腹筋後腹である。側頭骨の乳突切痕に付着する。
× d ④は茎突舌骨筋である。側頭骨の茎状突起に付着する。

正解 a

要点集 291:P7

〔問題 5〕 健康成人において体温が最も高い時刻はどれか。

- a 3時
- b 9時
- c 15時
- d 21時

▶生理学

選択肢考察

- c 体温は早朝4時前～6時頃が一日で最も低く、15時頃～17時前が一日で最も高い。

正解 c

DH 20:P 45

〔問題 6〕 顔面神経の支配を受けるのはどれか。

- a 頬筋の運動
- b 耳下腺の分泌
- c 顎舌骨筋の運動
- d 舌前2/3の痛覚

▶生理学

選択肢考察

- a 頬筋は表情筋の1つで、**顔面神経**の支配を受ける。
- × b 耳下腺の分泌は**舌咽神経**の支配を受ける。
- × c 顎舌骨筋の運動は**下顎神経**の支配を受ける。
- × d 舌前2/3の痛覚は**下顎神経**の支配を受ける。

正解 a

要点集 291:P 3

〔問題 7〕 速くて鋭い痛みを伝える神経線維はどれか。

- a A α
- b A β
- c A δ
- d C

▶生理学

選択肢考察

- × a A α 線維は**運動神経線維**である。
- × b A β 線維は**触覚、圧覚**を伝える求心性線維である。
- c A δ 線維は**痛覚**を伝える神経線維で、髄鞘をもつ**有髄神経線維**である。髄鞘をもつため跳躍伝導がみられる。跳躍伝導は伝導速度が速い特徴をもつ。
- × d C線維は**痛覚**を伝える神経線維で、髄鞘を欠く**無髄神経線維**である。

正解 c

〔問題 8〕 急性う蝕の特徴はどれか。

- a 自発痛がある。
- b 穿下性である。
- c 軟化象牙質の量が多い。
- d 第3象牙質の量が多い。

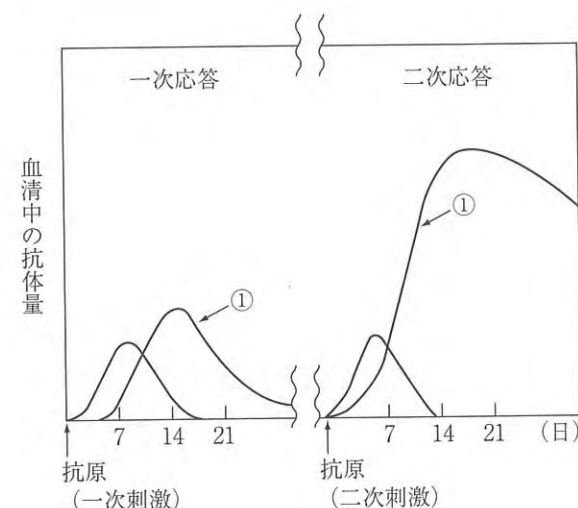
▶病理学

選択肢考察

- × a う蝕は硬組織の脱灰様式なので自発痛の有無は関係ない。
- × b 穿下性に広がるのは慢性う蝕である。
- c 急性う蝕は軟化象牙質の量が多い。
- × d 第3象牙質の形成量は少ない。

正解 c

〔問題 9〕 抗原刺激による抗体産生曲線を図に示す。



①の抗体はどれか。

- a IgA
- b IgE
- c IgG
- d IgM

▶病理学

選択肢考察

- × a IgAは粘膜の感染防御、母乳を介しての子供への移行に必須である。
- × b IgEは肥満細胞に結合し、**I型アレルギー**を引き起こす。
- c ①はIgGである。IgGは**IgM**の次に産生され、産生量が多い。
- × d IgMは抗原が初めて体内に侵入したときに最初に産生される。

正解 c

要点集 291:P 30

[問題 10] 炎症性ケミカルメディエーターはどれか。

- a プラスミン
- b プロスタグランジン
- c シクロオキシゲナーゼ
- d ジクロフェナクナトリウム

▶病理学

選択肢考察

- × a プラスミンはフィブリンを溶解する酵素である。
- b 炎症性ケミカルメディエーター（起炎物質）とは、抗原抗体反応や炎症反応の際に遊離されるヒスタミンやプロスタグランジン、ブラジキニンなどをいう。プロスタグランジンやトロンボキサン A₂、ロイコトリエンは細胞膜由来の炎症性ケミカルメディエーターである。
- × c シクロオキシゲナーゼは、アラキドン酸からプロスタグランジン類を生成する酵素である。
- × d ジクロフェナクナトリウムは、シクロオキシゲナーゼを阻害することで抗炎症作用を示す非ステロイド性抗炎症薬である。

正解 b

要点集 291:P44

[問題 11] 手指の消毒に使用できる逆性石けんはどれか。

- a クレゾール
- b グルタラル
- c 次亜塩素酸ナトリウム
- d ベンザルコニウム塩化物

▶微生物学

選択肢考察

- × a クレゾールは手指、皮膚、器具、室内の消毒に用いられるが、口腔粘膜や創傷の消毒には使用できない。
- × b グルタラルは金属の腐食性がなく歯科医療器具の消毒に用いられるが、生体には用いられない。
- × c 次亜塩素酸ナトリウムは、手指、皮膚の消毒に用いられる。金属を腐食させるため、金属製の器具の消毒には適さない。
- d ベンザルコニウム塩化物は逆性石けんの1つで、手指・皮膚・口腔粘膜・創傷・医療器具の消毒に用いられる。

正解 d

要点集 291:P66

[問題 12] 成熟プラークに比べ初期プラークに多いのはどれか。

- a 桿菌
- b 運動性菌
- c 紡錘状菌
- d グラム陽性菌

▶微生物学

選択肢考察

- × a *Actinomyces* などの桿菌はプラークの成熟化に伴い増加する。
- × b、× c 口腔スピロヘータなどの運動性菌や偏性嫌気性菌、*Fusobacterium* などの紡錘状菌は歯肉縁下プラークに多く、歯肉縁上プラークではプラークの成熟化に伴い増加する。
- d プラーク形成の初期には通性嫌気性グラム陽性球菌である *Streptococcus* が主要な菌として検出される。その他、初期プラークでは *Neisseria*、*Nocardia* などの好気性グラム陰性球菌も検出される。

正解 d

要点集 291:P46

[問題 13] 全身麻酔薬はどれか。

- a リドカイン
- b ワーファリン
- c プロポフォール
- d ε-アミノカプロン酸

▶薬理学

選択肢考察

- × a リドカインは局所麻酔薬である。ナトリウムチャネルを遮断することで、痛覚などの神経伝導を遮断する。
- × b ワーファリンは抗凝固薬である。血栓形成予防に用いられる。
- c プロポフォールは静脈麻酔薬であり、全身麻酔薬として用いられる。
- × d ε-アミノカプロン酸は全身性止血薬である。

正解 c

要点集 291:P63

[問題 14] 施錠せずに保管できるのはどれか。

- a 麻薬
- b 毒薬
- c 劇薬
- d 覚醒剤

▶薬理学

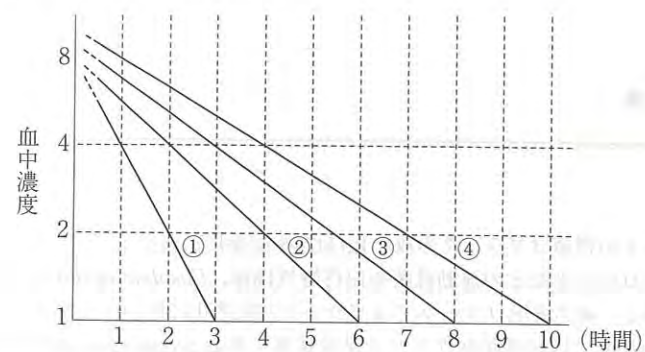
選択肢考察

- × a 麻薬は「麻薬および向精神薬取締法」によって、施錠の義務がある。
- × b 毒薬は「医薬品医療機器等法（旧薬事法）」によって、施錠の義務がある。
- c 劇薬は「医薬品医療機器等法（旧薬事法）」によって規制されているが、施錠の義務はない。
- × d 覚醒剤は「覚せい剤取締法」によって、施錠の義務がある。

正解 c

要点集 291:P59

〔問題 15〕 薬物の血中濃度の時間経過を図に示す。



3時間の生物学的半減期をもつのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

選択肢考察

- × a 生物学的半減期とは、吸収後の薬物の血中濃度が、ある点から50%減少するのに要する時間のことである。時間軸を1時間分進んだところで、血中濃度が1/2になっている薬物を選択すればよい。①の薬物の生物学的半減期は1時間である。
- × b ②の薬物の生物学的半減期は2時間である。
- × c ③の薬物の生物学的半減期は約2時間半である。
- d ④の薬物の生物学的半減期は3時間である。

正解 d

▶薬理学

DH 20:P 97

〔問題 16〕 Leavell と Clark の疾病予防の概念におけるう蝕予防の組合せで正しいのはどれか。

- a 特異的防御 ——— 歯周ポケット測定
- b 機能喪失の防止 ——— 栄養指導
- c 早期発見・早期治療 ——— フッ化ジアンミン銀の塗布
- d リハビリテーション ——— 拔牙

選択肢考察

- × a 歯周ポケット測定は、歯周病予防に対する第二次予防の早期発見・早期治療である。
- × b 栄養指導は第一次予防の健康増進（非特異的防御）である。
- c フッ化ジアンミン銀の塗布は、う蝕の進行を防ぐ第二次予防の早期治療である。
- × d 拔牙は第二次予防の重症化の防止である。

正解 c

▶口腔衛生学

DH 20:P 145

〔問題 17〕 *S. mutans* がスクロースを代謝して産生されるのはどれか。

- a 乳酸
- b 塩酸
- c リン酸
- d アラキドン酸

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a プラーク中のミュータンスレンサ球菌は、食餌などに含まれるスクロースやその他の糖を代謝（発酵）して乳酸を産生する。乳酸によって歯質の脱灰が起こる。
- × b 塩酸は胃酸に含まれる酸である。
- × c リン酸はヒドロキシアパタイトを構成する酸である。
- × d アラキドン酸は細胞膜のリン脂質を構成する必須脂肪酸である。

正解 a

〔問題 18〕 う蝕予防におけるポピュレーションストラテジーに用いられるのはどれか。2つ選べ。

- a フッ化第一スズ
- b フッ化ジアンミン銀
- c フッ素徐放性レジン
- d モノフルオロリン酸ナトリウム

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a ポピュレーションストラテジーはハイリスク者だけでなく、集団全体を対象として健康づくりアプローチを行う戦略をいう。フッ化第一スズはフッ化物歯面塗布や歯磨剤に用いるフッ化物であり、ポピュレーションストラテジーに利用される。
- × b フッ化ジアンミン銀は初期のう蝕の進行抑制に用いるもので、（狭義の）う蝕予防に用いるものではない。
- × c フッ素徐放性レジンの小窩裂溝填塞に用いられ、ハイリスク者に対するアプローチに該当する。
- d モノフルオロリン酸ナトリウムは歯磨剤に用いるフッ化物であり、ポピュレーションストラテジーに利用される。

正解 a, d

〔問題 19〕 エナメル質が溶解する pH はどれか。

- a 3.5 以下
- b 4.5 以下
- c 5.5 以下
- d 6.5 以下

▶口腔衛生学

選択肢考察

- c エナメル質が溶解し始める pH を臨界 pH といい、pH が 5.5 以下になると溶解する。

正解 c

DH 20:P 113

〔問題 20〕平成 28 年歯科疾患実態調査で前回調査（平成 23 年）と比較して減少したのはどれか。

- a 25～34 歳の 1 人平均 DMF 歯数
- b 40～44 歳で喪失歯のない者の割合
- c 55～64 歳で 4mm 以上の歯周ポケットを有する者の割合
- d 60～64 歳で 20 本以上の歯を有する者の割合

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a 25～34 歳は、平成 23 年 9.9% に対し平成 28 年 7.4% で減少している。
- × b 40～44 歳は、喪失歯所有者率を見ると、平成 23 年 34.4% に対し平成 28 年 31.1% で減少している。相対して喪失歯のない者の割合は増加している。
- × c 55～64 歳は、平成 23 年 47.0% に対し平成 28 年 53.7% で増加している。
- × d 60～64 歳は、平成 23 年 78.4% に対し平成 28 年 85.2% で増加している。

正解 a

〔問題 21〕喫煙者 100 名と非喫煙者 100 名を対象として、喫煙と歯周病との関連を調査した。結果を表に示す。

	歯周病	
	患者	対照（健常者）
喫煙者	60	40
非喫煙者	20	80

（単位：人）

喫煙の歯周病に対するオッズ比はどれか。

- a 2
- b 4
- c 6
- d 8

▶口腔衛生学

選択肢考察

- c オッズ比 = 患者群における暴露のオッズ / 対照群における暴露のオッズ
- $$= \frac{60}{20} \div \frac{40}{80} = 6$$

患者対照研究では、罹患率が求められないために相対危険度を算出することができない。そのため、近似値としてオッズ比をその推定値としている。

正解 c

〔問題 22〕10 歳児 9 名の DMF 歯数を示す。

DMF 歯数	3	1	0	1	4	9	1	6	2	計 27
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------

中央値、最頻値、平均値の大小で正しいのはどれか。

- a 平均値 < 最頻値 < 中央値
- b 中央値 < 平均値 < 最頻値
- c 最頻値 < 中央値 < 平均値
- d 最頻値 < 平均値 < 中央値

▶口腔衛生学

選択肢考察

- c この表では最頻値が 1 となる。中央値は、データを小さい方（あるいは大きな方）から順に並べ、ちょうど中央に位置する値のことである。平均値は（データの総和）/（データの個数）で示され、最頻値は最も出現頻度の多い値のことである。
- 値を小さい順に並べると、0, 1, 1, 1, 2, 3, 4, 6, 9 となり、中央値は 2 である。
データの総和が 27、データの個数が 9 であり、平均値が 3 となる。

正解 c

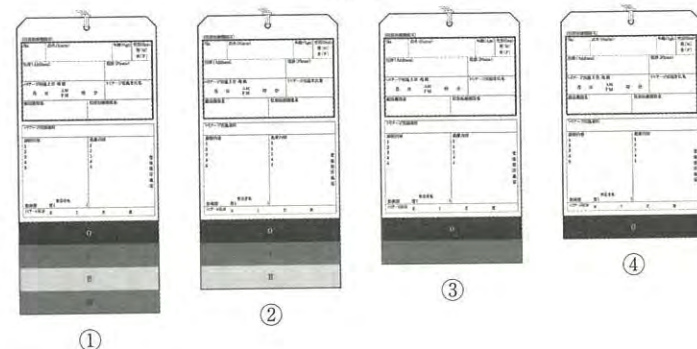
〔問題 23〕ある災害現場でトリアージを実施することになった。トリアージタグの写真（別冊午後 No. 2）を別に示す。

処置治療が多少遅れても生命に危険がない群に適用するタグはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶口腔衛生学

No. 2



選択肢考察

- b トリアージタグは 4 色からなる。
- ・赤色：最優先治療群（重症群）（Ⅰ）、生命に影響する病態で早急な処置・治療を行えば救命可能な傷病者。
- ・黄色：待機の治療群（非緊急中等症）（Ⅱ）、処置治療が多少遅れても生命に危険がない群。
- ・緑色：保留群（軽症群）（Ⅲ）、軽易な傷病で専門治療が不要。
- ・黒色：死亡群（不処置群）（Ⅳ）、生命徴候なしが現状での救命処置で救命が不可能な例。医療は行わない。死亡を示す。

正解 b

〔問題 24〕 人口動態調査から得られるのはどれか。

- a 死亡率
- b 出生率
- c 婚姻率
- d 人口増加率

選択肢考察

- d 人口動態調査(国勢調査)は、総人口や人口割合が算出できる。また、実施年度の異なる人口動態調査を比較することで、老年化指数、人口増加率などを算出することができる。一方、人口動態調査は出生、死亡、婚姻、離婚、死産の役所への届けを集計したもので、出生率、死亡率、平均寿命などが算出できる。

正解 d

▶ 衛生学・公衆衛生学

DH 20:P 226

〔問題 25〕 ヘルス・プロモーションを謳っているのはどれか。

- a オタワ憲章
- b ヘルシンキ宣言
- c ジュネーブ宣言
- d アルマアタ宣言

選択肢考察

- a オタワ憲章はヘルス・プロモーションを定義したものである。
 × b ヘルシンキ宣言は、人間を対象とする医学研究にかかわる医師および研究者に対する指針を示す倫理的原則である。
 × c ジュネーブ宣言は現代版ヒポクラテスの誓いとも言われる、医師の倫理についての宣言である。
 × d プライマリーヘルスケアはアルマアタ宣言によって謳われている。

正解 a

▶ 衛生学・公衆衛生学

〔問題 26〕 国民医療費に含まれる費用はどれか。

- a 歯の漂白
- b 禁煙治療
- c 予防接種
- d 正常分娩

選択肢考察

- × a 歯の漂白は自由診療であり、国民医療費には含まれない。
 ○ b 一定の条件を満たせば、禁煙治療は保険適用となる。保険適用となった診療費は国民医療費に含まれる。一方で、歯科での禁煙治療の保険適用はいまだに認められていない。
 × c 健康の維持・増進を目的とした健康診断・予防接種等に要する費用は含まれない。
 × d 正常分娩は含まれない。

正解 b

▶ 衛生学・公衆衛生学

DH 20:P 216

〔問題 27〕 食品に表示されるマークを示す。



このマークを用いるのはどれか。

- a 特別用途食品
- b 栄養機能食品
- c 健康補助食品
- d 特定保健用食品

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 特別用途食品は、乳児の発育や、妊産婦、病者等の健康の保持・回復などに適するという特別の用途について表示を行うものである。
 × b 栄養機能食品は、健康の維持等に必要な栄養成分(ミネラル、ビタミン)の補給を主な目的として摂取する人に対して、特定の栄養成分を含むものとして、定められた基準に従ってその栄養成分について機能の表示をしている食品である。
 × c 健康補助食品は国が規定したものではなく、健康の保持・増進および健康管理の目的のために摂取される、いわゆる健康食品である。
 × d 特定保健用食品(トクホ)は、特定の保健の目的が期待できることを表示した食品であり、身体の生理学的機能などに影響を与える保健機能成分を含んでいる。

正解 a

DH 20:P 625

〔問題 28〕 介護予防・日常生活支援総合事業で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 対象者は60歳以上の者である。
- b サービスの内容は全国一律である。
- c 民間によるサービス提供が可能である。
- d 地域包括支援センターが介護予防ケアマネジメントを実施する。

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 対象者は要介護認定における要支援1、2の者と65歳以上のすべての高齢者が対象である。
 × b 要介護者や要支援者に対する全国一律の介護保険サービスとは異なり、各市区町村が主体となつて行う事業の1つで、サービスの運営基準や単価、利用料などは各市区町村が独自に設定することができる。
 ○ c 介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)とは、介護保険法で定められた事業で、市町村が中心となつて、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを旨とするものである。高齢者の多様なニーズに対応するため、ボランティア、NPO、民間企業等の多様な主体が支援の担い手になることで、地域の多様な人材の活躍の場を広げることができる。
 ○ d 介護予防・日常生活支援総合事業では、地域包括支援センターによる介護予防ケアマネジメントに基づき、介護予防・生活支援サービス事業のサービスと介護予防給付のサービス(要支援者のみ)を組合せる。

正解 c、d

〔問題 29〕 再興感染症はどれか。2つ選べ。

- a デング熱
b マラリア
c 後天性免疫不全症候群
d 重症急性呼吸器症候群



▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a、○ b デング熱、マラリアは再興感染症である。
× c、× d 後天性免疫不全症候群 (AIDS)、重症急性呼吸器症候群 (SARS) は新興感染症である。

正解 a、b

DH 20:P170

要点

新興感染症は、かつては知られていなかった、この20年間に新しく認識された感染症で、局地的に、あるいは国際的に公衆衛生上の問題となる感染症 (WHO, 1990) のことである。再興感染症はかつて存在した既知の感染症で既に公衆衛生上ほとんど問題となくなっていたが、近年再び流行し始め、患者数が増加してきたもの、あるいは将来的に再び問題となる可能性がある感染症 (WHO, 1990) のことである。

- ・ 代表的な新興感染症：ラッサ熱、エボラ出血熱、ヒト成人T細胞白血病、AIDS、C型肝炎、SARS (重症急性呼吸器症候群)、牛海綿状脳症、新型インフルエンザ
- ・ 代表的な再興感染症：ペスト、結核、サルモネラ、狂犬病、デング熱、マラリア

〔問題 30〕 生活保護法で原則として現物給付とされているのはどれか。2つ選べ。

- a 介護扶助
b 教育扶助
c 医療扶助
d 生活扶助

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a、c 生活保護法は、生活困窮者に対する生存権を保障するとともに、自立を助長し公的扶助を行うことを目的としている。公的扶助 (生活保護) は、一般租税を財源として、都道府県知事、市長及び福祉事務所に管理する町村長が保護を決定し実施する。公的扶助には **要点** に示すように8種類の扶助項目があり、医療扶助と介護扶助の二項目が原則**現物**給付で他は原則**現金**給付である。

正解 a、c

DH 20:P215

要点

●「公的扶助」

生活を営む上で生じる費用	扶 助	給付内容
日常生活に必要な費用 (食費・被服費・光熱費等)	生活扶助	基準額は、 (1) 食費等の個人的費用 (2) 光熱水費等の世帯共通費用を合算して算出。 特定の世帯には加算があります。(母子加算等)
アパート等の家賃	住宅扶助	定められた範囲内で実費を支給
義務教育を受けるために必要な学用品費	教育扶助	定められた基準額を支給
医療サービスの費用	医療扶助	費用は直接医療機関へ支払 (本人負担なし)
介護サービスの費用	介護扶助	費用は直接介護事業者へ支払 (本人負担なし)
出産費用	出産扶助	定められた範囲内で実費を支給
就労に必要な技能の修得等にかかる費用	生業扶助	定められた範囲内で実費を支給
葬祭費用	葬祭扶助	定められた範囲内で実費を支給

〔問題 31〕 インフォームドコンセントで最も重要なのはどれか。

- a 患者の決定権を尊重する。
b 疼痛の少ない治療を推奨する。
c 不安を与える情報は提供しない。
d 患者の感情的な訴えは考慮しない。

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- a 患者の権利を尊重し、患者が選択したものを尊重しなければならない。
× b 疼痛を与えない治療は必要であるが、インフォームドコンセントでの最重要事項ではない。
× c たとえ患者に対して不利益になるような情報でも提供しなければならない場合もある。
× d 患者の感情的な訴えも考慮しなければならない。

正解 a

DH 20:P686

〔問題 32〕 ヒヤリハット事例はどれか。

- a 患者に注射針を刺してしまった。
b スケーリング中に歯が脱臼した。
c 患者の衣服に印象材を付着させた。
d インレーを誤って誤飲させそうになった。

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a、× b、× c すでに事故が起きてしまっており、**アクシデント**である。
○ d ヒヤリハットを**インシデント**という。インシデントは、患者に障害を及ぼすことはなかったが、診療の現場でヒヤリとしたりハットしたりした事例である。“～しそうになった”は結果として事故は起きておらず、ヒヤリハット事例となる。

正解 d

DH 20:P728

〔問題 33〕 3年間の保存が義務づけられているのはどれか。

- a 診療録
- b エックス線写真
- c 歯科技工指示書
- d 歯科衛生士業務記録

選択肢考察

- × a 診療録は、歯科医師法により 5 年間の保存義務が定められている。
- × b エックス線写真は医療法で 2 年間の保存義務がある。
- × c 歯科技工士法により 2 年間の保存義務が定められている。
- d 歯科衛生士業務記録は、歯科衛生士法により 3 年間の保存義務が定められている。

正解 d

DH 20:P 252

要点

● 保存期間

5 年	診療録 (歯科医師法)
3 年	薬局における処方せん (薬剤師法) 歯科衛生士業務記録 (歯科衛生士法)
2 年	歯科技工指示書 (歯科技工士法)、院内における処方せん (医療法施行規則) エックス線照射記録 (医療法施行規則)、エックス線写真 (医療法施行規則)

〔問題 34〕 62 歳の男性。下顎前歯部の見た目が悪いことを主訴として来院した。冷水痛や自発痛は訴えていない。来院時の口腔内写真 (別冊午後 No. 3) を別に示す。

切縁の実質欠損の原因として考えられるのはどれか。

- a 咬 耗
- b 酸性食品
- c アブフラクション
- d 歯ブラシによる摩耗

選択肢考察

- a 前歯部切縁部に実質欠損があり、象牙質が認められる。これは咬耗によるものと考えられる。
- × b 酸性食品による酸蝕症では、エナメル質全体に脱灰がみられる。
- × c 歯頸部の欠損は、過度な咬合圧によるアブフラクションが考えられるが、切縁の欠損に直接関係はない。
- × d 歯ブラシによる摩耗で歯頸部の実質欠損がみられるが、切縁の欠損には関係がない。

正解 a

▶ 歯科臨床の基礎

No. 3



要点集 292:P 12

〔問題 35〕 歯周病の関与が指摘されているのはどれか。

- a AIDS
- b 舌 癌
- c 糖尿病
- d 白血病

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- × a AIDS (後天性免疫不全症候群) は、ヒト免疫不全ウイルスの感染により生じる疾患であり、歯周病の宿主関連因子である。
- × b 舌癌との関連は指摘されていない。
- c 歯周病は微弱な慢性炎症を惹起することで、耐糖能に影響するといわれている。
- × d 白血病は歯周病の宿主関連因子である。

正解 c

要点集 292:P 27

要点

歯周病の関与が指摘されている疾患には、糖尿病、動脈疾患、関節リウマチ、早産・低体重児出産、慢性腎臓病、非アルコール性脂肪性肝炎、肥満 (メタボリックシンドローム)、誤嚥性肺炎などがある。歯周病の宿主関連因子としての全身疾患と区別し理解する必要がある。

〔問題 36〕 ブラックの窩洞分類で 1 級窩洞はどれか。

- a 前歯隣接面窩洞
- b 臼歯隣接面窩洞
- c 前歯舌側小窩窩洞
- d 歯冠部歯頸側 1/3 の窩洞

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- × a 前歯隣接面の窩洞は 3 級、4 級窩洞である。
- × b 臼歯隣接面における窩洞は 2 級窩洞である。
- c 1 級窩洞は小窩裂溝に対する窩洞である。
- × d 歯冠部歯頸側 1/3 の窩洞は 5 級窩洞である。

正解 c

要点集 292:P 13

【問題 37】 検査とその目的の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 頸部聴診法 ————— 肺換気能
b フードテスト ————— 食塊形成能
c 反復唾液嚥下テスト ————— 唾液分泌能
d オーラルディアドコキネシス — 舌と口唇の運動機能

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- × a 摂食嚥下機能のスクリーニング検査にはフードテスト(FT)、改訂水飲みテスト(MWST)、反復唾液嚥下テスト(RSST)、咳テスト(CT)などがある。また、頸部聴診法も摂食嚥下障害が疑われるときに行われるスクリーニング法の1つである。頸部聴診法は、誤嚥の疑いがある患者に用いる方法である。
- b フードテストは、舌の食塊形成能と咽頭への送り込み能を評価する方法である。
- × c 反復唾液嚥下テストは、唾液嚥下や反復嚥下ができるかという嚥下機能のアセスメントとして使用することが多い。唾液分泌能は評価できない。
- d オーラルディアドコキネシスは、口腔機能の衰えである**オーラルフレイル**を評価する方法であり、舌や口唇の運動機能を評価することができる。

正解 b、d

DH 20:P723

【問題 38】 赤血球を抗 A 血清、抗 B 血清に加えるとどちらも凝集した。血液型はどれか。

- a A 型
b B 型
c O 型
d AB 型

▶ 歯科臨床の基礎

選択肢考察

- d ABO 式血液型は、赤血球表面に存在する糖脂質抗原(凝集原)とその抗体から、A 型、B 型、AB 型および O 型に分類される。AB 型は赤血球表面に両方の抗原(A 抗原および B 抗原)が存在するため、この赤血球を抗 A 血清、抗 B 血清に加えると、どちらも凝集する。

正解 d

DH 20:P51

要点

◎ ABO 式血液型

血液型	赤血球抗原	血清抗体
A	A 抗原	抗 B 抗体
B	B 抗原	抗 A 抗体
AB	A 抗原および B 抗原	なし
O	なし	抗 A 抗体および抗 B 抗体

【問題 39】 成形修復中の写真(別冊午後 No. 4)を別に示す。

矢印の器具を用いる目的はどれか。

- a 隔壁固定
b 歯肉圧排
c 唾液排除
d 隣在歯保護

▶ 保存修復学

No. 4



選択肢考察

- a 2 級窩洞の修復ではトッフルマイヤー型リテーナーやアイボリー型リテーナーが用いられるが、より簡易的な方法としてリング状リテーナー(パイタインリング)を用いることがある。いずれも隔壁の保持装置として使用され、2 級窩洞(複雑窩洞)が単純窩洞化することで、コンポジットレジン修復が行いやすくなる。リング状リテーナーとウェッジを用いることで、隔壁保持・固定を期待することができる。
- × b 歯肉圧排に用いられるのは**歯肉圧排糸**である。
- × c 唾液排除に主に用いられるのは**ラバーダム**である。
- × d 隣在歯保護に主に用いられるのは**セパレーター**などである。

正解 a

要点集 292:P14

【問題 40】 上顎左側第一小臼歯のコンポジットレジン修復後の口腔内写真(別冊午後 No. 5)を別に示す。

矢印で示す白線の原因はどれか。

- a 過剰な充填
b レジンの重合収縮
c 光照射時間の不足
d ボンディング剤の未塗布

▶ 保存修復学

No. 5



選択肢考察

- × a 過剰な充填では、辺縁部に着色がみられる。
- b 写真の白線は**コントラクションギャップ**で歯質とレジンの間に生じた間隙である。コンポジットレジン充填直後は、内部応力が増加しているため、即日研磨により**重合収縮**が大きくなり、コントラクションギャップの原因となる。よって、研磨は原則 24 時間以上経過してから行うことが望ましい。
- × c 光照射時間が不足すると、機械的強度の低下や接着不良をきたし、**脱離**の原因となる。
- × d ボンディング剤の未塗布では充填物の**脱離**が生じる。

正解 b

要点集 292:P19

[問題 41] 抜髄法の適応はどれか。

- a 歯髄充血
- b 歯髄壊死
- c 急性化膿性歯髄炎
- d 急性化膿性根尖性歯周炎

選択肢考察

- × a 歯髄充血は可逆性であり、**歯髄鎮痛消炎療法**や**間接覆髄法**が適応となる。
- × b 歯髄が失活し歯髄壊死の状態に陥ると治療法は**感染根管治療**となる。
- c 急性化膿性歯髄炎は**抜髄法**が適応となる。
- × d 急性化膿性根尖性歯周炎は、一般的に**感染根管治療**が適応となる。

正解 c

要点集 292:P3

[問題 42] 67歳の女性。上顎左側臼歯部頬側歯肉の腫脹と咬合痛を主訴として来院した。自発痛はない。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 6A)とある検査時のエックス線画像(別冊午後 No. 6B)を別に示す。

考えられる処置はどれか。

- a ⑤の感染根管治療
- b ⑤の歯根尖切除術
- c ⑥の感染根管治療
- d ⑥の歯根尖切除術

No. 6A



B



選択肢考察

- × a、× b、○ c 瘻管のガッターチャポインツは、エックス線画像により⑥の頬側近心根の根尖部透過像に達しているため、原因歯は⑤ではない。口腔内写真から、⑤の歯肉に腫脹および瘻孔が認められる。瘻孔は原因歯に近接した場所に出現するとは限らず、内歯髄においては瘻管にガッターチャポインツを挿入してエックス線撮影を行い、原因部位を特定する。
本症例では、ガッターチャポインツは⑥の頬側近心根の根尖部透過像に達しており、根管は未処置であるため根尖性歯周炎の処置として感染根管治療を行う。
- × d ⑥の根管は未処置であるため、まず感染根管治療を行う。

正解 c

要点集 292:P4

▶歯内療法学

[問題 43] 歯周組織における現在の炎症程度を評価するのに適しているのはどれか。

- a 歯周ポケット深さ
- b 歯槽骨の吸収程度
- c アタッチメントロス
- d プロービング時の出血

選択肢考察

- × a 歯周ポケットの深さはプロービングから得られる情報で、歯肉辺縁からポケット底部までの距離を示す。深さが深いほど、歯肉腫脹やポケット底部の根尖側方向への移動が大きいことを示しており、炎症の状態は反映されない。
- × b 歯槽骨の吸収程度はエックス線写真で評価するが、現時点の歯槽骨の破壊の程度を評価するものであり、炎症程度は評価できない。
- × c アタッチメントロス(付着の喪失)は、プロービングやエックス線写真で評価し、現時点での歯周組織の破壊の程度を評価するものである。炎症の状態は評価できない。
- d 歯周組織の炎症状態の評価は、歯周病の診査・診断、再評価だけではなく、メンテナンス・SPT時の予後や再発の早期発見をする上でも非常に重要である。視診による歯肉の発赤・腫脹だけでなく、プロービングによる出血(BOP)によりポケット底部の炎症状態を把握する必要がある。BOPはポケット底部の炎症、組織抵抗性や歯周病の活動性を評価するものである。なお、設問では、炎症の“程度”を評価するのに適しているとなっているが、炎症の強さ、広がりを正確に評価することは困難であり、炎症の“有無”を評価するのに適しているといえる。

正解 d

要点集 292:P24

▶歯周治療学

[問題 44] 新付着の獲得に必要なものはどれか。

- a 歯根膜腔の拡大
- b 付着歯肉の増加
- c 支持歯槽骨の新生
- d セメント質の新生

選択肢考察

- × a 歯根膜腔の拡大は、咬合力が強い歯で認められることがある。歯根膜腔が拡大しても、歯根膜の細胞への影響はなく、特に新生セメント質の形成は助長しない。
- × b 付着歯肉幅の増加は、歯周形成手術により生じる。付着歯肉の増加と新付着の獲得には関連はない。
- × c 歯根膜に接している歯槽骨は固有歯槽骨であり、支持歯槽骨は固有歯槽骨の周囲に存在する。新付着の獲得には、支持歯槽骨よりも固有歯槽骨の新生が重要となる。
- d 新付着とは、歯周炎により露出した病的歯根面に、新生セメント質が形成されて新たな**結合組織性付着**が生じることであり、**歯周組織再生療法**の術後に生じる。新付着の獲得のためには、歯根膜由来の細胞が歯根面に新生セメント質を形成し、歯根膜との結合組織性付着が生じるのが最も重要である。

正解 d

要点集 292:P33

▶歯周治療学

〔問題 45〕 部分床義歯を構成する装置の写真(別冊午後 No. 7)を別に示す。

矢印に示す部分の目的はどれか。

- a 食片圧入の防止
- b 義歯の沈下の防止
- c 義歯の脱離の防止
- d 義歯床と支台装置の連結

選択肢考察

- × a、× b レストは、義歯に加わる咬合咀嚼力を支台歯に伝えることであり、義歯の沈下・横揺れ・転覆の防止のほか、鉤を正しい位置に保持し、支台歯と義歯間への食片圧入を防止する作用をもつ。
- c 矢印は鉤腕(アーム)である。義歯の脱離防止はアームの目的である。
- × d 義歯床と支台装置の連結は大連結子の目的である。

正解 c

要点集 292:P41

▶ 歯科補綴学

No. 7



〔問題 46〕 歯科用 CAD/CAM の用途はどれか。2つ選べ。

- a 陶材焼付金属冠の製作
- b フレームワークの製作
- c エーカースクラップの製作
- d オールセラミッククラウンの製作

選択肢考察

- × a、× c 陶材焼付金属冠やエーカースクラップは、鋳造法によって製作する。
- b、○ d 歯科用 CAD/CAM はレーザーや CCD カメラなどで模型を三次元的に計測した後、そのデータをもとにコンピュータでクラウンやブリッジの形態をデザインし作製する方法である。セラミッククラウン(ブリッジ)や、フレームワークの製作に用いられる。

正解 b、d

DH 20:P390

▶ 歯科補綴学

〔問題 47〕 リンガルバーの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 上顎に適用される。
- b 歯頸部に接触させる。
- c 大連結子に分類される。
- d 断面形態は西洋梨状である。

選択肢考察

- × a、○ c リンガルバーは下顎の舌側粘膜面に沿って設計される金属製の連結子である。
- × b 残存歯の歯頸部歯周組織に害が及ばないように、歯頸部から 3~4mm 以上離す。
- d リンガルバーの幅は 3~5mm、厚さは約 2mm で西洋梨状を呈している。

正解 c、d

▶ 歯科補綴学

〔問題 48〕 50 歳の女性。上顎右側中切歯の審美不良を主訴として来院した。1 は 20 年前に硬質レジン前装冠を装着したという。検査の結果、オールセラミッククラウンを製作することになった。治療過程のある操作の写真(別冊午後 No. 8 A)と器具の写真(別冊午後 No. 8 B)を別に示す。

この操作の後に使用する器具はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科補綴学

No. 8 A



B



① ② ③ ④

選択肢考察

- a 治療過程のある操作の写真はテンポラリークラウン内面に常温重合レジンを入れ、支台歯に圧接しマージン部を適合させている状態である。圧接後にマージン部にはみ出た余剰レジンには技工用カーバイドバー(①)で削合する。
- × b ② はカーボランダムポイントであり、金属を削合する器具である。
- × c ③ はシリコンポイントであり、金属をカーボランダムポイントで削合しペーパーコーンで粗研磨した後に表面の凹凸を平滑にするために研磨する器具である。
- × d ④ はラウンドバー(スチールバー)であり、テンポラリークラウンの内面を最初に削合しスペースを作るために使用する。

正解 a

【問題 49】 40歳の男性。咬合不全を主訴として来院した。2日前に酩酊して転倒し、その後咬合が変化したという。仕事が忙しいため、できるだけ早期に復帰したいという。初診時の口腔内写真（別冊午後 No. 9 A）とエックス線写真（別冊午後 No. 9 B）を別に示す。

整復後の固定で適切なものはどれか。

- a オトガイ帽による固定
- b 線副子による顎間固定
- c プレートによる顎内固定
- d 連続歯牙結紮による顎間固定

▶口腔外科学



選択肢考察

- × a オトガイ帽による固定は、咬合不全がない場合あるいは固定を補強する場合に用いられる。写真Bより下顎角部より根尖部に到達する骨折線が認められる。また写真Cより前歯部にも間に骨折線を認める。
- × b、× d 顎間固定では、固定期間が1か月以上になること、食事の摂取に制限があること、話しにくいことなどから適切ではない。
- c プレートによる顎内固定であれば早期に開口が可能で、この症例の場合は適切である。

正解 c

【問題 50】 自己免疫疾患はどれか。2つ選べ。

- a 天疱瘡
- b じん麻疹
- c 気管支喘息
- d シェーグレン症候群

▶口腔外科学

選択肢考察

- a 天疱瘡は口腔粘膜や皮膚に生じる難治性の水疱とびらんを特徴とする自己免疫疾患である。
- × b、× c 花粉症、じん麻疹、気管支喘息は、肥満細胞や好塩基球に結合した IgE と抗原の抗原抗体反応による I 型アレルギーである。
- d シェーグレン症候群は、唾液腺や涙腺などの外分泌腺がリンパ球浸潤を伴って特異的に障害される自己免疫疾患である。

正解 a、d

要点集 291:P29

【問題 51】 75歳の女性。舌のヒリヒリ感と嚥下しにくいことを主訴として来院した。初診時の口腔内写真（別冊午後 No.10 A）と手指の写真（別冊午後 No.10 B）を別に示す。

疑われるのはどれか。

- a シェーグレン症候群
- b ラムゼイハント症候群
- c ピエールロバン症候群
- d プランマーピンソン症候群

▶口腔外科学



選択肢考察

- × a シェーグレン症候群は、口腔乾燥、慢性関節リウマチ、全身性エリテマトーデスを主徴とする。
- × b ラムゼイハント症候群は、帯状疱疹ウイルスによる回帰発症で、顔面神経麻痺などがみられる。
- × c ピエールロバン症候群は、小顎症を呈する先天異常である。
- d プランマーピンソン症候群は、鉄欠乏性貧血、スプーン爪、嚥下障害を主徴とする疾患である。鉄欠乏性貧血により平滑舌がみられるのも特徴の一つである。

正解 d

要点集 292:P65

【問題 52】 Angle II 級 1 類の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 口呼吸
- b 下顎の近心咬合
- c 上顎切歯の唇側傾斜
- d 小さいオーバージェット

▶矯正歯科学

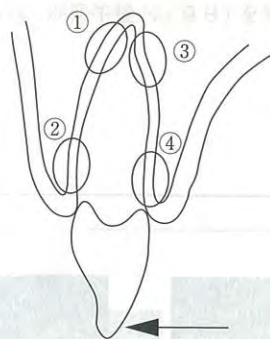
選択肢考察

- a、× b Angle II 級 1 類は、口呼吸を伴う下顎の遠心咬合（いわゆる上顎前突）である。
- c 上下顎前歯の唇側傾斜がみられる。
- × d オーバージェットは大きい。

正解 a、c

要点集 292:P46

〔問題 53〕 矯正力による歯の移動の図を示す。



矢印の方向に矯正力を加えた際、牽引側はどれか。2つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶矯正歯科学

選択肢考察

- a、○ d 歯に矯正力が加わると、歯根膜腔は圧縮される側と反対側の牽引される側が存在する（圧下では圧迫側のみ、挺出では牽引側のみ）。圧縮される側を圧迫側、牽引される側を牽引側という。
①、④は牽引側で、歯槽骨の添加がみられる部位である。
× b、× c ②、③が圧迫側となり、歯槽骨の吸収がみられる。

正解 a、d

📖 要点集 292:P47

〔問題 54〕 保定に用いるのはどれか。

- a 急速拡大装置
b リップバンパー
c トゥースポジショナー
d ナンスのホールディングアーチ

▶矯正歯科学

選択肢考察

- × a 急速拡大装置は保定に使用しない。
× b、× d リップバンパーやナンスのホールディングアーチは、保定ではなく**加强固定**に使用する。
○ c 保定とは、歯の移動後に元の状態に戻らないようにする装置である。トゥースポジショナーは、保定に使用する装置である。

正解 c

〔問題 55〕 矯正装置装着時の写真（別冊午後 No.11）を別に示す。

この装置の目的はどれか。2つ選べ。

- a 上顎骨の成長抑制
b 下顎骨の成長抑制
c 上顎歯列弓の側方拡大
d 上顎大白歯の近心転位の防止

▶矯正歯科学

No.11



選択肢考察

- a、○ d 写真の装置は**ヘッドギア**である。ヘッドギアは上顎骨の前方位、もしくは上顎大白歯の近心転位の防止、上顎骨の発育抑制を目的として装着される。
× b 下顎骨の成長抑制には**オトガイ帽装置**が用いられる。
× c 上顎歯列弓の側方拡大には**急速拡大装置**が用いられる。

正解 a、d

📖 要点集 292:P50

〔問題 56〕 定型発達児において身長が100cmとなるのはどれか。

- a 6か月
b 1歳
c 2歳
d 4歳

▶小児歯科学

選択肢考察

- d ① 正常乳幼児の身長と体重（目安）

	生下時	3月	1歳	3~4歳	6歳	10歳	12歳
体重	3kg	6kg	10kg	15kg	20kg	35kg	45kg
	生下時		1歳		4歳		12歳
身長	50cm		75cm		100cm		150cm

正解 d

【問題 57】 第一大白歯の石灰化開始時期はどれか。

- a 胎生 6～7 月
- b 出生時
- c 生後 4～5 月
- d 生後 1.5～2 年

▶小児歯科学

選択肢考察

○ b ● 永久歯の形成

歯 種	歯胚形成	石灰化開始	歯冠完成	萌 出	歯根完成
6	胎生 3.5～4 月	出生時	2.5～3 年	6～7 年 (上顎) 6～7 年 (下顎)	9～10 年
1	胎生 5～5.5 月	3～4 月	4～5 年	7～8 年 (上顎) 6～7 年 (下顎)	9～10 年
2	胎生 5～5.5 月	10～12 月 (上顎) 3～4 月 (下顎)	4～5 年	8～9 年 (上顎) 7～8 年 (下顎)	10～11 年
3	胎生 5.5～6 月	4～5 月	6～7 年	11～12 年 (上顎) 9～10 年 (下顎)	12～15 年
4	出生時	1.5～2 年	5～6 年	10～11 年 (上顎) 10～12 年 (下顎)	12～13 年
5	7.5～8 月	2～2.5 年	6～7 年	10～12 年 (上顎) 11～12 年 (下顎)	12～14 年
7	8.5～9 月	2.5～3 年	7～8 年	12～13 年 (上顎) 11～13 年 (下顎)	14～16 年
8	3.5～4 年	7～10 年	12～16 年	17～21 年	18～25 年

正 解 b

【問題 58】 脳血管疾患による高次脳機能障害はどれか。2つ選べ。

- a 失 行
- b 失 語
- c 失 声
- d 上下肢麻痺

▶高齢者歯科学

選択肢考察

- a 失行とは、手足の運動は可能であるが、適切な行動ができない状態をいい、高次脳機能障害の1つである。高次脳機能（認知）とは、知覚、記憶、学習、思考、判断などの認知過程と行為の情動を含めた精神機能を総称する。脳血管障害、脳症、脳炎などによる脳障害や、脳外傷による脳損傷により、認知機能に障害が起きた状態を高次脳機能障害という。
- b 失語とは、発声や聴覚は正常であるが、言葉が出てこない、理解できないなど会話が困難な状態をいい、高次脳機能障害の1つである。
- × c 失声とは、声門裂が閉鎖せず声帯が振動できないために音声形成できない（派生できない）状態で、喉頭の病変や支配神経の麻痺など局所的原因とともに、中枢神経系の障害（中枢性運動障害、ヒステリー）でも起こる。
- × d 左右どちらかの上下肢および顔面にみられる麻痺を片麻痺という。大脳皮質・内包・脳幹などの障害によって生じるもので、障害部位の反対側に麻痺がみられる。高次脳機能障害とは関係がない。

正 解 a, b

【問題 59】 フードテスト(FT)で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 10gのプリンを摂食させる。
- b 舌の食塊形成能を評価する。
- c 嚥下後に口腔内残留を確認する。
- d 30秒以内に何回嚥下できるか観察する。

▶高齢者歯科学

選択肢考察

- × a フードテストは茶さじ1杯(約4g)のプリンを摂食させて評価する。10gでは多い。
- b フードテストは舌の食塊形成能と咽頭への送り込み能を評価する方法である。
- c フードテストは嚥下後に口腔内残留を観察し、プリンの有無を確認する。
- × d 30秒以内に何回嚥下できるか観察するのは反復唾液嚥下テスト(RSST)である。

正 解 b, c

【問題 60】 68歳の男性。食事にむせることを主訴として来院した。6か月前から脳梗塞後の後遺症に対するリハビリテーションを受けているという。検査の結果、装置を用いて治療を行うことになった。治療に用いた装置の写真(別冊午後 No.12 A)と装置装着時の口腔内写真(別冊午後 No.12 B)を別に示す。

この装置によって改善するのはどれか。

- a 咬合力
- b 口唇閉鎖力
- c 食塊形成能
- d 鼻咽腔閉鎖機能

▶高齢者歯科学

選択肢考察

- × a 設問の装置は舌接触補助床(PAP)である。PAPの装着により、食塊形成能は改善されるが、咬合力そのものは改善しない。
- × b PAPは口蓋に装着されるため、口唇閉鎖力が改善されることはない。
- c PAPは口腔期に舌の機能が低下し、食塊輸送のために十分な嚥下圧を作れない患者を対象に口蓋部に厚みをもたせ製作される。PAPは口腔疾患による舌の外科的な切除などに伴う運動障害により、摂食嚥下障害や構音障害を生じた患者や、脳血管疾患による機能的障害などが原因で、舌の機能的な障害を有し、摂食嚥下障害や構音障害を生じた患者で適応となっている。PAPを用いることで摂食嚥下障害、構音障害の両機能の改善・代償を行い、嚥下機能の回復や誤嚥予防に効果を発揮する。脳梗塞による舌の運動障害がみられる場合、PAPを用いることで食塊形成能の改善が期待できる。
- × d 鼻咽腔閉鎖機能の改善に主に用いられるのは軟口蓋挙上装置(PLP)やスピーチエイドである。

正 解 c

No.12 A



B



〔問題 61〕 脳性麻痺の病型で最も多いのはどれか。

- a 痙直型
- b 失調型
- c 低緊張型
- d アテトーゼ型

◆選択肢考察

- a 脳性麻痺の定義は「受胎から新生児期までの間に生じた脳の非進行性病変に基づく、永続的なしこし変化しうる運動および姿勢の異常である。その症状は満2歳までに発現する。進行性疾患や一過性運動障害または将来正常化するであろうと思われる運動発達遅延は除外する。」(厚生省脳性麻痺研究班会議 1968 年)である。最も多い病型は痙直型で約 50% を占める。次いでアテトーゼ型(約 15%)、失調型(約 10%)、強剛型(約 10%)、低緊張型(約 5%)となっている。

正解 a

〔問題 62〕 78 歳の男性。食事に時間がかかることを主訴として来院した。小刻みに歩行して入室し、室内では表情に乏しかった。HDS-R は 26 点である。診察室入室時の姿勢の写真(別冊午後 No.13)を別に示す。

最も疑われる疾患はどれか。

- a 認知症
- b 脳性麻痺
- c パーキンソン病
- d 筋ジストロフィー

◆選択肢考察

- × a、○ c 小刻みに歩行し、表情に乏しいことから、パーキンソン病が最も疑われる。パーキンソン病では、中脳の黒質-線条体のドーパミン神経細胞の変性により、安静時振戦、小刻み歩行などの運動機能障害が生じる。合併症の 1 つに認知症があるが、HDS-R に異常はみられないため、認知症は考えにくい。
- × b、× d 脳性麻痺、筋ジストロフィーでは直立歩行が困難である。

正解 c

▶障害者歯科学

No.13



〔問題 63〕 高齢者の歯周組織にみられる特徴はどれか。2 つ選べ。

- a 歯根膜腔の狭窄
- b 歯槽骨密度の増加
- c セメント質の肥厚
- d 線維芽細胞の増加

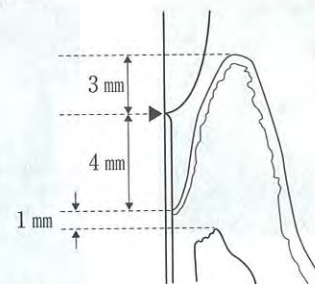
▶歯科予防処置

◆選択肢考察

- a 歯根膜の加齢変化として、歯根膜腔の狭窄、細胞成分の減少、歯根膜線維の硝子化や石灰化がみられる。
- × b 歯槽骨は加齢に伴い多孔性の変化が認められることから、歯槽骨密度は減少する傾向にある。
- c 歯周組織は、歯肉、歯槽骨、歯根膜、セメント質からなり、加齢とともに変化が認められる。主な加齢変化としては、歯肉の生理的な退縮、細胞数の減少、セメント質の増生などがある。細胞性セメント質は一生を通じて添加されるため、加齢とともにセメント質は肥厚する。
- × d 歯肉の結合組織や歯根膜の線維芽細胞は減少する。

正解 a、c

〔問題 64〕 歯周組織の模式図を示す。



▶セメント-エナメル境を示す

ブローピングポケットデプス (P.P.D) はどれか。

- a 1 mm
- b 3 mm
- c 4 mm
- d 7 mm

▶歯科予防処置

◆選択肢考察

- d ポケット深さは歯肉辺縁からポケット底部までの距離で、 $3 + 4 = 7 \text{ mm}$ となる。また、アタッチメントレベルは、セメント-エナメル境 (CEJ) からポケット底までの距離で、4 mm となる。

正解 d

次の文を読み、[問題 65]、[問題 66] に答えよ。

71歳の女性。歯肉の腫脹を主訴として来院した。歯科医師から口腔清掃指導と下顎前歯のスクレーリングを指示された。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.14A)とエックス線写真(別冊午後 No.14B)を別に示す。

[問題 65] エックス線写真で観察できるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉腫脹
- b 歯石沈着
- c 根管充填
- d 水平性骨吸収

[問題 66] スクレーリング後に起こり得るのはどれか。2つ選べ。

- a 歯の変色
- b 歯肉の退縮
- c 象牙質知覚過敏
- d 歯の動揺度の増加

▶ 歯科予防処置

No.14 A



B



選択肢考察

[問題 65]

- × a 歯肉腫脹は口腔内写真では観察されるが、エックス線写真では確認できない。
- b 歯頸部に歯石によるエックス線不透過像が確認できる。
- × c 根管充填材はエックス線不透過像として確認できるが、エックス線写真上に根管充填を思わせる不透過像は確認できない。
- d 歯槽骨の水平性骨吸収が確認できる。

[問題 66]

- × a 歯が失活するわけではないため、歯の変色が起こることはない。
- b 歯肉の炎症が消退するため、歯肉は退縮する。
- c スクレーリングにより根面が露出するため、象牙質知覚過敏を呈することがある。
- × d 歯肉の炎症が消退するため、歯の動揺度は減少する。

正解 [問題 65] b, d

[問題 66] b, c

DH 20: P487

[問題 67] 手用スクレーラーの写真(別冊午後 No.15)を別に示す。

この器具の使用目的はどれか。2つ選べ。

- a 歯肉縁上歯石の除去
- b 深い歯肉縁下歯石の除去
- c 内因性色素沈着物の除去
- d 歯冠表面のプラーク除去

▶ 歯科予防処置

No.15



選択肢考察

- a, d 写真の器具はシッケルタイプスクレーラーである。シッケルタイプスクレーラーは歯肉縁上歯石の除去、浅い歯肉縁下の歯石除去、外來性色素沈着物の除去、歯肉縁上・歯冠表面のプラークの除去に用いられる。

正解 a, d

[問題 68] WHO プロープで測定しているところを図に示す。



ポケット深さはどれか。

- a 4.0 mm
- b 5.0 mm
- c 6.0 mm
- d 7.0 mm

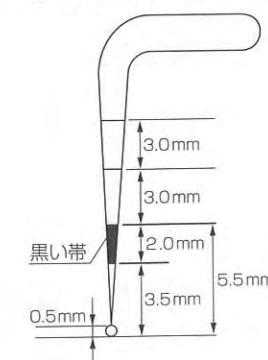
▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- c WHO プロープは先端が直径 0.5mm の球になっており、球上部から 3mm 上方の位置に幅 2mm の黒い帯が付与されている。黒いバンドが隠れていることから 6mm である。

正解 c

● WHO プロープ



〔問題 69〕 一次性咬合性外傷の臨床所見はどれか。2つ選べ。

- a 歯の動揺
- b 水平性骨吸収
- c 歯根膜腔の拡大
- d アタッチメントロス

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a 咬合性外傷には、歯周組織は正常状態にあるが加わる力が生理的範囲を超えている**一**次性咬合性外傷と、歯周組織に炎症が生じ、咬合力が正常範囲内であっても傷害となる**二**次性咬合性外傷がある。歯の動揺は一次性、二次性ともにみられる。
- × b 水平性骨吸収は歯周病に罹患している所見であり、**二**次性咬合性外傷でみられる。
- c 歯根膜腔の拡大は一次性、二次性ともにみられる。
- × d アタッチメントロスは歯周病に罹患している所見であり、**二**次性咬合性外傷でみられる。

正解 a、c

📖 要点集 292:P28

〔問題 70〕 グレーシータイプキュレットのシャープニングで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 砥石を 2cm 程度に上下運動させる。
- b ヒールからトウに砥石を移動させる。
- c 第1シャンクが床面と垂直になるよう把持する。
- d 刃部内面と砥石のなす角度が 70 度になるように砥石をあわせる。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a、b ● キュレットスケーラーのシャープニングの手順
 - 1) キュレットスケーラーを左手に**掌握状把持**で持つ。
 - 2) 先端を自分側に向け、刃部内面を床と**平行**にする。
 - 3) 刃部内面と砥石のなす角度が**90**度になるように砥石をあわせる。
 - 4) 砥石を刃部側面に適合するように**10～20**度傾けて、刃部内面と砥石のなす角度が 100～110 度になるようにする。
 - 5) 砥石を**2**cm 程度に**上下**運動させる。シャープニングは**ヒール**から**先端**に向かってまっすぐに研ぐ。

正解 a、b

〔問題 71〕 外来診療などで短時間にできる禁煙治療の手順 (5A アプローチ) でステップ 3 はどれか。

- a Assist
- b Assess
- c Advice
- d Arrange

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 禁煙治療の方法として「5A アプローチ」(Ask、Advise、Assess、Assist、Arrange) という指導手順が採用されている。まずステップ 1 Ask (尋ねる) では、タバコを吸ったことがあるか、本人や家族に周囲の状況を聞く。Assist (支援する) はステップ 4 で、行動変容ステージモデルの各ステージに沿った支援を行い、禁煙動機を高め信念継続の自信をつけさせる。
- b Assess (推察する) はステップ 3 で、禁煙に対する気持ちを推察し、5 つの行動変容ステージに分類し、禁煙したい気持ちを押し量り、患者のステージを推察する。
- × c Advice (勧める) はステップ 2 で、禁煙を勧めるパンフレットや複数の助言があるとさらに効果的である。
- × d Arrange (フォローする) はステップ 5 で、禁煙維持のための対策として歯磨き、水を飲む、身体を動かすなどを勧めると効果的である。

正解 b

〔問題 72〕 う蝕活動性を反映する基質因子はどれか。2つ選べ。

- a 細菌数
- b 間食頻度
- c 食事内容
- d 唾液緩衝能

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a う蝕の発症には、**宿主要因**、**細菌性要因**、**基質要因**の 3 要因とそれに時間が関与する。細菌数は**細菌性要因**である。
- b 間食頻度は**基質要因**である。
- c 食事内容は**基質要因**である。
- × d 唾液緩衝能とは、口腔内の pH に変化が起きたとき、唾液が正常な範囲に口腔内を保とうとその変化に抵抗する働きのことである。唾液は宿主が産生する**宿主要因**であり、唾液緩衝能の低下により、う蝕誘発性が高くなる。

正解 b、c

〔問題 73〕 判定に 72 時間を要するのはどれか。

- a Dentocult LB[®]
- b Dentocult SM[®]
- c RD test[®]
- d Snyder test[®]

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a Dentocult LB[®]は平板状の寒天スライド上で 37℃で 4 日間培養または室温で 7 日間放置し、チャートで判定する。
- × b Dentocult SM[®]は高濃度のスクロースを含む培地で、*S. mutans* を選択的に 37℃で 48 時間培養し、チャートで判定する。
- × c RD test[®]は、唾液をスポイトで採取し、試験用ディスクに 1 滴垂らし、37℃で 15 分間培養後、色で菌数を判定する。
- d Snyder test[®]は唾液採取用スティックを口腔内に入れ、1 分間しゃぶり、唾液を染みこませ 37℃で培養し、24、48、72 時間後の色で判定する。

正解 d

〔問題 74〕 11 歳の女兒。下顎左側第一大臼歯の近心面の白濁を主訴として来院した。昨日、下顎左側第二乳臼歯が脱落した際に気付いたという。白濁部に実質欠損は認めない。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.16)を別に示す。

適切な対応はどれか。

- a 予防填塞
- b フッ化物歯面塗布
- c コンポジットレジン修復
- d フッ化ジアンミン銀塗布

▶ 歯科予防処置

No.16



選択肢考察

- × a 予防填塞は小窩裂溝に行うものであり平滑面は適応とならない。
- b 口腔内写真から白濁部に実質欠損は認められず、表層下脱灰の状態であると判断できる。実質欠損を伴わないためう蝕とは診断せず、修復処置は行わない。当該部位には予防処置を行い、再石灰化を期待する。平滑面の表層下脱灰部位はフッ化物の歯面塗布を行い再石灰化を促す。
- × c 実質欠損を伴うう蝕ではないためコンポジットレジン修復などの治療は行わない。
- × d フッ化ジアンミン銀塗布は乳歯う蝕の進行抑制に使用するものである。塗布により黒変するため、永久歯の脱灰部位には用いない。

正解 b

〔問題 75〕 フッ化物歯面塗布法に用いるフッ化物はどれか。2 つ選べ。

- a フッ化水素酸
- b フッ化第 1 スズ
- c フッ化ナトリウム
- d モノフルオロリン酸ナトリウム

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a フッ化水素酸は技工操作で用いるもので、口腔内で使用してはならない。
- b 4%および 8%フッ化第 1 スズ溶液が歯面塗布に用いられる。
- c 2%フッ化ナトリウム溶液は歯面塗布に使用される。
- × d モノフルオロリン酸ナトリウムは 1,500 ppmF で歯磨剤に配合される。

正解 b、c

DH20:P556

〔問題 76〕 SPT におけるリコール間隔の決定で重要なものはどれか。2 つ選べ。

- a 年齢
- b 残存歯数
- c 口腔清掃状態
- d プロービング時の出血

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 年齢ではなく、患者個人の感受性などをもとにして決定する。
- × b 残存歯数よりも、残存歯周組織の状態によって間隔を決める。
- c 口腔清掃状態が不良であると再発のリスクが高くなるため、リコール間隔を短くする必要がある。
- d プロービング時の出血は歯肉の炎症の存在を示しているため、病状安定化を図るためにはリコール間隔を短くする必要がある。

正解 c、d

DH20:P333

要点

SPT(supportive periodontal therapy)は歯周基本治療、歯周外科治療、修復・補綴治療により病状が安定した歯周組織を維持するために行う治療であり、プラークコントロール、スケーリング、ルートプレーニング、咬合調整などが含まれる。

〔問題 77〕 幼稚園の年長児を対象にフッ化物洗口を実施することになり、保護者への説明を依頼された。

説明内容で適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 園でのフッ化物洗口頻度は週1回行います。
- b 洗口実施日は飲食やうがいを控えてください。
- c 萌出直後の永久歯ではう蝕予防効果が高いです。
- d 洗口液は誤って1回飲み込んでも問題ありません。

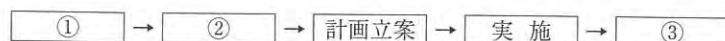
▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a フッ化物洗口は頻度により、毎日法と週1回法に分けられる。幼稚園での洗口は毎日法が行われる。
- × b 有効性を高めるため、洗口後30分は飲食やうがいを控える。また、教育的な配慮から洗口に先立って歯磨きをすることが勧められている。
- c 萌出直後の永久歯への効果は高い。
- d 誤って1回洗口量を飲み込んでも問題ないことを説明することは、保護者を安心させるためにも必要である。

正解 c、d

〔問題 78〕 保健指導の流れを図に示す。



①、②、③の組合せで正しいのはどれか。

- | ① | ② | ③ |
|---------|-------|-------|
| a 情報の収集 | 課題分析 | 評価 |
| b 動機付け | 課題分析 | 説明と同意 |
| c 説明と同意 | 評価 | 情報の収集 |
| d 課題分析 | 情報の収集 | 動機付け |

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 対象者の情報を集めて分析して問題点を明確にすることが最初である。指導後には評価を行い、効果を検討する。
- × b 動機付けは保健指導に先立って行っても構わない。しかし説明と同意が最終段階に行われることはない。
- × c 説明と同意は保健指導に先立って行っても構わないが、評価は指導後に行う。
- × d 課題分析は情報収集の後に行う。

正解 a

〔問題 79〕 13歳の男子。定期健診のため来院した。第二大臼歯が萌出途中で、歯ブラシがうまく届かないという。診査の結果、う蝕は認められなかった。口腔内写真(別冊午後 No. 17)を別に示す。補助的清掃具で最も推奨されるはどれか。

- a 歯間ブラシ
- b ラバーチップ
- c デンタルフロス
- d シングルタフトブラシ

▶ 歯科保健指導
No. 17



選択肢考察

- × a 歯間ブラシは歯肉退縮が認められる場合などに用いられる。萌出途中の第二大臼歯はブラッシングが困難で、口腔清掃不良になりやすい。シングルタフトブラシはヘッド部が小さいため、大臼歯部に到達しやすい。補助的清掃具として適している。
- × b ラバーチップは歯肉マッサージを目的とするため、歯垢除去能力が低い。
- × c デンタルフロスは隣接面の清掃に適しているが、萌出途中の歯の清掃はできない。
- d シングルタフトブラシは萌出途中の歯や最後方臼歯の清掃に適する。

正解 d

〔問題 80〕 7歳の女児。ブラッシング時の歯肉からの出血を主訴として保護者とともに来院した。上下顎前歯部歯肉に発赤と腫脹がみられ、全顎にわたって歯頸部にブラークの付着が認められた。患者自身によるブラッシング時の写真(別冊午後 No. 18)を別に示す。医療面接結果の一部を表に示す。

ブラッシング	: 3回/日
補助的清掃器具	: 使用なし
保護者による口腔清掃	: なし
使用歯磨剤	: NaF 配合歯磨剤

適切な指導内容はどれか。2つ選べ。

- a 歯みがきの回数を増やしてください。
- b 歯間ブラシで歯間部を清掃してください。
- c 保護者の方が仕上げ磨きをしてあげてください。
- d 歯ブラシのサイズを今よりも小さめにしてください。

▶ 歯科保健指導
No. 18



選択肢考察

- × a 1日に2回以上実施しているためブラッシング回数の指導の必要はない。
- × b 歯間ブラシによる歯間部清掃は歯周疾患による歯肉退縮など、歯間に空隙のある者が行う。本症例での歯間清掃は歯間ブラシではなく、デンタルフロスが適応となる。
- c 保護者による口腔清掃、仕上げ磨きは小学校低学年まで実施する必要があるため、保護者が仕上げ磨きするよう指導する。
- d 口腔に対し歯ブラシが大きすぎるため、適切なブラッシングができない。歯ブラシの大きさの選択について指導を行う。

正解 c、d

【問題 81】 口腔内写真(別冊午後 No.19)を別に示す。

Hellman の歯齢はどれか。

- a II A
- b II C
- c III A
- d III C

選択肢考察

- × a II A は、乳歯咬合完成期である。口腔内写真から Hellman の咬合発育段階を判断する。Hellman の歯齢は、矯正学的には正常咬合の定義の中での「歴齢正常咬合」に相当する。
- × b II C は、第一大臼歯萌出開始期である。
- c III A は、第一大臼歯萌出完了、前歯萌出中または萌出完了期である。
- × d III C は、第二大臼歯萌出開始期である。

正解 c

▶ 歯科保健指導

No.19



要点集 292:P54

【問題 82】 就寝時の義歯装着を検討すべきなのはどれか。2つ選べ。

- a 認知症患者
- b 顎関節症患者
- c パーキンソン病患者
- d 睡眠時無呼吸症候群患者

選択肢考察

- × a 認知症患者に対して夜間義歯装着を推奨すると、誤飲や義歯性口内炎の危険性もあるため、推奨されない。
- b 顎関節への負担軽減を目的に、義歯を夜間装着させることは適切である。
- × c パーキンソン病患者に対する夜間の装着は、不随意運動がみられるため推奨されない。
- d スリープスプリントの装着が一般的であるが、無歯顎患者などでは、義歯により代用することもある。

正解 b、d

▶ 歯科保健指導

【問題 83】 19歳の男性。口臭が気になることを主訴として母親と来院した。ダウン症と診断されているがADLは自立し、会話も成立する。心室中隔欠損は完治し、常用薬の服用はないという。歯みがきは本人が行っているが母親は確認しておらず、初診時の検査ではう蝕や歯垢の付着が多数認められた。

口腔衛生管理で母親へ説明するのはどれか。2つ選べ。

- a 口臭の原因はダウン症によるものです。
- b 次回からはお母さんの付き添いは不要です。
- c 普通の歯ブラシ以外に電動歯ブラシも有効です。
- d 歯周病の悪化により心内膜炎のリスクが高まります。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a ダウン症患者では、口腔清掃に対する意識が十分でないことが多く、十分なプラークコントロールが難しいことがある。口臭の原因は口腔清掃不良によるもので、ダウン症が原因ではない。
- × b 歯科治療に対する恐怖心があることから、母親の付き添いは必要である。
- c 手用歯ブラシ以外の清掃器具として、電動歯ブラシや歯間ブラシの使用方を指導するとよい。
- d 歯周病は心内膜炎のリスクファクターの1つであり、心疾患の既往があることから、歯周病治療の必要性を説明する。

正解 c、d

【問題 84】 口腔清掃の自立度判定基準(BDR指標)の評価項目でないのはどれか。

- a 歯磨き
- b うがい
- c 義歯着脱
- d 義歯清掃

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 歯磨きはB (brushing) である。
- b うがいはR (mouth rinsing) である。BDR指標は、「歯磨き (brushing)、義歯着脱 (denture wearing)、うがい (mouth rinsing)」の3項目と、口腔と義歯の清掃自立状況 (有効性、自発性、習慣性) について「自立、一部介助、全介助」の3段階と介護困難の有無の評価をする。BDR指標は口腔保健ケア実施の程度を目安となるもので、これとその他の判定方法とを併用して用いることで、寝たきりの老年者のそれぞれのレベルに応じた口腔保健ケアの指導や支援により細かく対応することができる。
- c 義歯着脱はD (denture wearing) である。
- × d 義歯清掃は評価対象ではない。

● 口腔清掃の自立度判定基準

● 口腔清掃の自立度判定基準

		自 立	一部介助	全介助
B D R 指 標	B 歯磨き (Brushing)	a ほぼ自分で磨く a1 移動して実施する a2 寝床で実施する	b 部分的には自分で磨く b1 座位を保つ b2 座位を保てない	c 自分で磨かない c1 座位、半座位をとる c2 半座位もとれない
	D 義歯着脱 (Denture Wearing)	a 自分で着脱する。	b 着脱のどちらかができる	c 自分ではまったく着脱しない
	R うがい (Mouth Rinsing)	a ブクブクうがいをする	b 水を口に含む程度はする	c 水を口に含むこともできない

正解 d

DH 20:P698

〔問題 85〕 妊産婦の食生活指導で摂取量に注意を要するのはどれか。

- a ア ジ
- b マグロ
- c 豆 乳
- d さつまいも

選択肢考察

- × a 胎児の神経系の器官形成のために、多価不飽和脂肪酸である n-3 系脂肪酸が多い魚介類の摂取を要する。アジは n-3 系脂肪酸を多く含む魚介類である。
- b マグロやメカジキ、キンメダイなどにはメチル水銀含有濃度が高く、摂取量に注意を要する。
- × c 妊娠中は鉄分が不足しがちとなり、鉄分を多く含む大豆製品は積極的に摂取する。
- × d ジャガイモやさつまいもなどの、鉄の吸収をよくするビタミン C を多く含む食品などを積極的に摂取する。

正 解 b

〔問題 86〕 ビタミン D 不足と関連があるのはどれか。2 つ選べ。

- a 脚 気
- b 壊血病
- c くる病
- d 骨軟化症

選択肢考察

- × a ビタミン B₁ は欠乏すると脚気や神経障害を起こす。脚気は疲れやすい、食欲不振、倦怠感などの症状から始まり、膝蓋腱反射の減弱・消失といった症状を示す。
- × b ビタミン C はコラーゲン合成の際のプロリンやリシンの水酸化反応に関与するが、不足すると壊血病や歯肉出血を起こす。
- c、○ d ビタミン D は小腸での Ca 吸収の促進をするとともに血清 Ca 濃度の調節を行うが、不足するとくる病、骨軟化症などを起こす。くる病は骨端線閉鎖前の小児が骨の石灰化・成長不全により骨格変形や低身長が起きる病態で、骨軟化症は骨端線閉鎖後の大人が石灰化障害により骨痛や筋力低下、歩行障害をきたす病態である。

正 解 c、d

要点集 291:P49

▶ 歯科保健指導

▶ 歯科保健指導

〔問題 87〕 90 歳の男性。食事・排泄・着替えのいずれにおいても介護者の援助を全面的に必要とし、一日中ベッドの上で過ごしているという。ベッドの上で常時臥床しているが、自力で寝返りをうち体位を変えることもできない。

この男性の「障害のある高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準」はどれか。

- a B₁
- b B₂
- c C₁
- d C₂

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a、× b ランク B は「日常生活活動のうち、食事・排泄・着替えのいずれかにおいては部分的に介護者の援助を必要とし、一日の大半をベッドの上で過ごす状態」であり、いわゆる chair-bound に相当する。そのうち B₁ は「介助なしに車椅子に移乗し、食事も排泄もベッドから離れて行う場合」が該当し、B₂ は「車椅子への移乗に介助を要し、食事又は排泄に関しても介護者の援助を必要とする」場合である。
- × c、○ d ランク C は「食事・排泄・着替えのいずれにおいても介護者の援助を全面的に必要とし、一日中ベッドの上で過ごす状態」である。ランク B より障害の程度が重く、いわゆる bed-bound に相当する。そのうち C₁ は「ベッドの上で常時臥床しているが、自力で寝返りをうち体位を変えられる状態」で、C₂ は「自力で寝返りをうつこともなく、ベッド上で常時臥床している状態」が該当する。

正 解 d

〔問題 88〕 平成 29 年国民健康・栄養調査の結果で、「1 日の平均睡眠時間が 6 時間未満の割合」が最も高いのはどれか。

- a 20 歳代
- b 30 歳代
- c 40 歳代
- d 50 歳代

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 20 歳代で 6 時間未満の者の割合は、男性 42.1%、女性 41.3% である。
- × b 30 歳代で 6 時間未満の者の割合は、男性 43.5%、女性 37.7% である。
- c 6 時間未満の者の割合は、全年齢階級で男性 36.1%、女性 42.1% であり、性・年齢階級別にみると、男女とも 40 歳代で最も高く、それぞれ 48.5%、52.4% である。
- × d 50 歳代で 6 時間未満の者の割合は、男性 44.9%、女性 51.6% である。

正 解 c

〔問題 89〕 食事バランスガイドのイラスト（別冊午後 No.20）を別に示す。

①～④の項目に該当する食品で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ①——ヨーグルト
b ②——パスタ
c ③——ひじきの煮物
d ④——スライスチーズ

選択肢考察

- × a 水・お茶といった水分は食事の中で欠かせないものであり、料理、飲料として食事や食間などに十分量をとる必要があることから象徴的なイメージのコマの軸（①）として表現している。
○ b ②は主に炭水化物の供給源であるごはん、パン、麺、パスタなどを主材料とする料理が含まれる。
○ c ③は主にビタミン、ミネラル、食物繊維の供給源である野菜、いも、豆類（大豆を除く）、きのこ、海藻などを主材料とする料理が含まれる。
× d ④は主にたんぱく質の供給源である肉、魚、卵、大豆および大豆製品などを主材料とする料理が含まれる。

正解 b、c

▶ 歯科保健指導

No.20



DH20:P633

〔問題 90〕 74歳の男性。食事摂取の困難を主訴として来院した。既往歴として脳梗塞がある。嚥下造影検査を行ったところ、喉頭閉鎖不良による水分誤嚥を認めた。

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a プッシング訓練
b アイスマッサージ
c 息こらえ嚥下訓練
d 舌接触補助床製作

選択肢考察

- a 摂食嚥下障害の精密検査であるVF（嚥下造影）検査の結果、喉頭閉鎖不良による水分誤嚥を認めたことから、患者は主に咽頭期に障害がみられることが推測される。咽頭期の障害がある摂食嚥下障害の患者に行う間接訓練・直接訓練を選択する。間接訓練は食物を用いずに行う訓練であり、間接訓練を行うことで嚥下関連器官の機能や協調性を改善し、嚥下機能の向上を図ることができる。一方、直接訓練は実際に食物を使用することで、食物への認識、咀嚼、嚥下機能の改善を目指す訓練である。プッシング（・プリング）訓練は押す、引くなどの上肢に力を入れる運動を行うと、反射的に息こらえが起ることを利用して声門閉鎖機能を改善させることを目的とする間接訓練である。
× b アイスマッサージは嚥下反射を誘発し、嚥下機能の改善を図る間接訓練である。本設問では喉頭閉鎖不良による水分誤嚥という記載しかないことから、おそらく嚥下反射には問題がないことが伺える。
○ c 息こらえ嚥下は嚥下中の誤嚥を防ぎ、声門上に侵入した飲食物を咯出する直接訓練である。主に声門閉鎖が遅い患者が対象となる。
× d 舌接触補助床の製作は主に口腔期の障害の改善に用いられる。患者は咽頭期に障害がみられると考えられるため、適切な対応ではない。

正解 a、c

▶ 歯科保健指導

〔問題 91〕 片麻痺を有する患者への食事介助の模式図を示す。



適切な介助姿勢はどれか。

- a ①
b ②
c ③
d ④

選択肢考察

- a 適切な介助の姿勢は、介助者の位置を低くし視線を合わせるようにする。下唇の上にスプーンを置き、上唇が降りてくるのを待つ。捕食を確認したらスプーンをまっすぐに引き抜く。麻痺がある場合には、健側を下にすると咽頭通過がしやすくなる。よって①が適切な食事介助姿勢である。
× b ②は介助者の位置が高すぎ、患者は上を向いてしまうため誤嚥の危険性がある。
× c ③は患側が下になっており、不適切である。
× d ④は患側が下になっていることや、介助者の位置が高いなど不適切である。

正解 a

▶ 歯科保健指導

【問題 92】 60歳の女性。家族に口臭を指摘されて来院した。本人は自覚していないという。官能検査の結果、中等度の口臭が認められ、ポータブルガスクロマトグラフィー検査で、VSCが高値を示した。プロービングデプスは全て3mm以下で、O' LearyのPCRは15%であった。初診時の口腔内写真(別冊午後No.21)を別に示す。

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 舌ブラシ使用の推奨
- b 塩化亜鉛配合洗口剤使用の推奨
- c フッ化物配合歯磨剤使用の推奨
- d チャーターズ法によるブラッシング指導

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 口臭検査の結果、官能検査で口臭があり、VSC(揮発性硫黄化合物)が高値であったことから口腔由来の病的口臭と判定する。O' LearyのPCRは15%とブラークコントロールは比較的良好で、プロービングデプスは3mmであり、口腔内写真から歯肉の状態は健康である。一般的に口臭の主な原因と考えられるのは写真のような舌苔である。舌苔は生理的口臭の一因であり、舌清掃は口腔衛生状態を維持するために必要不可欠である。O' LearyのPCRは比較的良好であるため、舌ブラシによる舌苔の除去を行う。
- b 塩化亜鉛がVSCと結合することにより、口臭抑制効果を示す。
- × c フッ化物はう蝕の予防にはなるが、口臭予防にはならない。
- × d チャーターズ法は歯肉のマッサージ効果は高いが、毛先を使用する方法と比べてブラーク除去効果は低い。ブラークコントロールは比較的良好なため、あえてブラッシング法を変更する必要はない。

正解 a, b

【問題 93】 歯科衛生教育に用いられる主な教材と教材例の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 展示教材 _____ ポスター
- b 演示教材 _____ フランネルボード
- c 印刷教材 _____ ペーパーサート
- d 映像教材 _____ エプロンシアター

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a ポスターは**展示**教材である。
- b フランネルボードとは、フランネルの生地で包んだボードに絵や文字を書いた紙などを貼ったり、外したりしながら話を展開していく**演示**教材である。
- × c ペーパーサート(紙人形劇)は**演示**教材である。
- × d エプロンシアターとは、胸当て式のエプロンを舞台に見立て、ポケットから次々と人形を取り出し、その人形をエプロンに貼ったり、外したり、ポケットに戻したりしながら話を展開していく**演示**教材である。

正解 a, b



【問題 94】 75歳の女性。摂食嚥下障害が疑われ、スクリーニングテストとして改訂水飲み検査を行った。その結果、嚥下はでき、呼吸変化もなかったが、むせと湿性嘔声が認められた。

この患者の改訂水飲み検査の評点はどれか。

- a 1点
- b 2点
- c 3点
- d 4点

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

× c ● 改訂水飲みテスト(MWST: Modified water swallowing test)

冷水3mLを口腔前庭に注ぎ、嚥下するように指示する。可能ならば追加して2回嚥下運動をしてもらい、最も悪い嚥下活動を評価する。評価が4以上の場合は、問題ないと判断する。

《評価基準》

- ・判定不能: 口から出す、無反応
- ・1点 嚥下なし、むせる and / or 呼吸切迫
- ・2点 嚥下あり、呼吸切迫(不顕性誤嚥の疑い)
- ・3点 嚥下あり、呼吸良好、むせる and / or 湿性嘔声
- ・4点 嚥下あり、呼吸良好、むせない
- ・5点 4に加え、反復嚥下が30秒以内に2回可能

正解 c

DH 20: P 719

【問題 95】 摂食嚥下の5期モデルで、第1期の障害により生じるのはどれか。

- a 食塊形成不全
- b 食物認知の障害
- c 食塊移送の障害
- d 食物の気管への流入

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 食塊形成不全は第2期(準備期)の障害である。
- b 食物認知の障害は第1期(先行期)の障害である。
- × c 食塊移送の障害は舌による咽頭への送り込みが不十分であることを示し、第3期(口腔期)の障害である。
- × d 食物の気管への流入(誤嚥)は第4期(咽頭期)の障害である。

正解 b

DH 20: P 702

要点

摂食嚥下の5期モデルは、第1期が先行期(認知期)、第2期が準備期(捕食・咀嚼・食塊形成)、第3期が口腔期(舌による咽頭への送り込み)、第4期が咽頭期、第5期が食道期と5つのステージに分けられている。

【問題 96】 診療の補助として、医師または歯科医師の指示の下に、嚥下訓練を行うことを業とするのはどれか。

- a 管理栄養士
- b 理学療法士
- c 作業療法士
- d 言語聴覚士

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 管理栄養士とは、「栄養士法」により厚生労働大臣の免許を受けて、傷病者に対する療養のため必要な栄養の指導、個人の身体の状態、栄養状態等に応じた高度の専門的知識および技術を要する健康の保持増進のための栄養の指導並びに、特定多数人に対して継続的に食事を提供する施設における利用者の身体の状態、栄養状態、利用の状況等に応じた特別の配慮を必要とする給食管理およびこれらの施設に対する栄養改善上必要な指導等を行うことを業とする。近年の医療は、良質で安全な医療の確立を目指す一方で、医療の高度化・複雑化に伴う業務の増大など、医療の在り方が根本的に問われている。このような現状をふまえ「チーム医療」は、現代医療のキーワードとして注目される。それぞれの医療スタッフの知識・技術の高度化への取り組みや、治療の標準化の浸透などがベースとなり、多くの医療現場で「チーム医療」の実践が始まっている。歯科医療の分野でも、歯科医療と密接な関係のある医療系資格に対する知識が必要となっている。
- × b 理学療法士とは、「理学療法士及び作業療法士法」により厚生労働大臣の免許を受けて、医師の指示の下に、理学療法を行うことを業とする。
- × c 作業療法士とは、「理学療法士及び作業療法士法」により厚生労働大臣の免許を受けて、医師の指示の下に、作業療法を行うことを業とする。
- d 言語聴覚士とは、「言語聴覚士法」により厚生労働大臣の免許を受けて、医師または歯科医師の指示のもと音声機能、言語機能又は聴覚に障害のある者についてその機能の維持向上を図るための、言語訓練や嚥下訓練、指導助言を業とする。

正解 d

【問題 97】 チーム医療の目的はどれか。

- a 仕事量の平均化
- b 先進医療の提供
- c 診療コストの削減
- d 患者の多様なニーズへの対応

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- d チーム医療を推進する目的は、専門職種の積極的な活用、多職種間協働を図ること等により医療の質を高めるとともに、効率的な医療サービスを提供することにあるとされる。医療の質的な改善を図るためには、① コミュニケーション、② 情報の共有化、③ チームマネジメントの3つの視点が重要であり、効率的な医療サービスを提供するためには、① 情報の共有、② 業務の標準化が必要であるとされている。メディカルスタッフの専門的知識および技術の進歩を土台としながら、各職種の連携によって、患者および家族の意向を十分に反映した患者中心の医療を推進することがチーム医療の目的の一つである。

正解 d

【問題 98】 34歳の男性。上顎右側側切歯の変色を主訴として来院した。検査の結果、コンポジットレジン修復を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.22)を別に示す。治療過程を図に示す。

① → 窩洞形成 → ② → コンポジットレジン充填 → ③ → 光照射 → 形態修正

①～③に該当する内容の組合せで正しいのはどれか。

- | | ① | ② | ③ |
|---|------|------|------|
| a | 隔壁圧接 | 歯肉圧排 | 接着処理 |
| b | 接着処理 | 歯肉圧排 | 隔壁圧接 |
| c | 歯肉圧排 | 隔壁圧接 | 接着処理 |
| d | 歯肉圧排 | 接着処理 | 隔壁圧接 |

▶ 歯科診療補助

No.22



- d まず実質欠損の歯頸部辺縁を明視できるように、最初にガムリトラクターや歯肉圧排用綿糸を用いて歯肉を圧排する。窩洞形成を終了したのちに、コンポジットレジン充填するに先立って隔壁に接着処理を行う。隔壁(サービカルマトリックス)は、窩洞に充填されたコンポジットレジンに圧入するために用いられる。主に透明のプラスチックによって作製されているため、マトリックスで圧接したまま可視光線を照射することができる。従って治療過程の手順は『歯肉圧排(①) → 窩洞形成 → 接着処理(②) → コンポジットレジン充填 → 隔壁圧接(③) → 光照射 → 形態修正』である。

正解 d

【問題 99】 有機質溶解作用をもつのはどれか。

- a NaF
- b H₂O₂
- c EDTA
- d NaOCl

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a NaF(フッ化ナトリウム)は脱灰抑制や再石灰化促進作用をもち、フッ化物洗口や歯面塗布に使用される。
- × b H₂O₂(過酸化水素)は洗浄作用、殺菌作用をもち、口腔粘膜の消毒などに使用される。
- × c EDTA(エチレンジアミン四酢酸)は無機質を溶解する作用をもつ。
- d NaOCl(次亜塩素酸ナトリウム)は細菌、真菌、ウイルスに対する抗微生物作用に加えて、強力な有機質溶解作用をもつ。機械的清掃が及ばない部位に残留する有機質の溶解除去が期待できることから、効果的な根管洗浄剤として使用されている。

正解 d

要点集 292:P8

【問題 100】 歯周基本治療中の口腔内写真(別冊午後 No.23A)と用いた薬剤の写真(別冊午後 No.23B)を別に示す。

用いた薬剤はどれか。

- a アスピリン
- b リドカイン
- c テトラサイクリン
- d 次亜塩素酸ナトリウム

No.23 A



B



▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a アスピリンは抗炎症薬として経口投与する。
- × b リドカインは局所麻酔薬である。
- c 写真は局所薬物配送システム (LDDS) を行っている。LDDS は歯周基本治療の1つで、歯周ポケットに抗菌薬 (テトラサイクリン系) や抗炎症薬を局所適用する方法である。
- × d 次亜塩素酸ナトリウムは根管清掃などに用いられる透明な液体である。

正解 c

要点集 292:P30

【問題 101】 68歳の女性。1週前に上下顎全部床義歯を装着したが、発音障害を訴えて来院した。パトグラム(別冊午後 No.24)を別に示す。

行った発音はどれか。

- a カ行
- b タ行
- c マ行
- d パ行

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a カ行音では、舌は上顎結節舌側部から第一大臼歯付近に接触する。
- × b タ行音では、舌は前歯部口蓋側から臼歯部口蓋側の全面に接触がみられる。
- × c、× d マ、パ行音は、一般的にパトグラムによる発音機能の審査には用いられない。

正解 a

No.24



DH 20:P375

【問題 102】 52歳の男性。下顎右側臼歯部の金属色を気にして来院した。ブリッジは5年前に装着したという。新製することとなり、ブリッジを除去することになった。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.25 A)と使用する器材の写真(別冊午後 No.25 B)を別に示す。

準備するのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

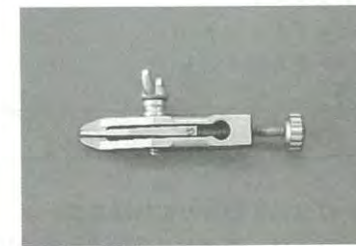
No.25 A



B



①



②



③



④

選択肢考察

- a ①はダイヤモンドポイントである。ブリッジを除去する際には、支台装置を除去用バーで支台歯部分まで溝状態に切削し、支台装置とボンテック間をダイヤモンドポイントで切断する。溝状態に切削された支台装置は保持力が減少し除去しやすくなっているため、クラウンリムーバーで除去する。カーバイドバー(除去用)も使用可能である。
- × b ②はリトルジャイアント®(合釘除去器)で、支台築造のコアを除去する際に使用する。本症例ではコアの除去は行っていない。
- c ③はクラウンリムーバーである。バーで切削された溝の部分に、リムーバーの先端を差し込み、ハンドル部を握ると、クラウンの内部から左右に押し広げられて除去できる。
- × d ④はスチールバー(ラウンドバー)であり、ブリッジを切断するのは困難である。

正解 a、c

〔問題 103〕石膏の硬化促進剤はどれか。2つ選べ。

- a ホウ砂
- b 硫酸カリウム
- c 硫酸カルシウム
- d アルギン酸ナトリウム

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- b、c 臨床において石膏の硬化時間を調節するために使用される調節剤は、促進剤と遅延剤とに分類される。硬化促進剤には硫酸カリウムや硫酸カルシウムなどの硫酸塩があり、硬化遅延材にはホウ砂やクエン酸カリウムなどがある。また、血液やコロイド（ハイドロコロイド印象材）なども硬化を遅延させる。

正解 b、c

DH 20:P735

〔問題 104〕オールセラミッククラウンの除去に用いるのはどれか。

- a スチールバー
- b ホワイトポイント
- c ダイヤモンドポイント
- d カーボランダムポイント

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a スチールバーは低速回転用の切削器具で、象牙質やアクリルレジン
- × b ホワイトポイントは、高速および低速回転で使用する切削器具で、コンポジットレジン
- c オールセラミッククラウンは非常に強度が高く、ダイヤモンドポイントを用いて除去する。
- × d カーボランダムポイントは低速回転用で、レジンや金属の粗研磨に用いる。

正解 c

要点集 292:P15

〔問題 105〕口内法エックス線検査で、フィルムを使用する方法と比較したデジタルエックス線画像システムの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 解像力が高い。
- b 廃液が出ない。
- c 被曝線量が多い。
- d 画像処理ができる。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a フィルムを使用した場合に比べ、解像力は低い。
- b 画像をコンピュータ処理するため、現像液などは必要なく、廃液は出ない。
- × c センサーの感度が高く、少ない線量で撮影ができる。
- d 画像はコンピュータ上に保管されるため、画像処理ができる。

正解 b、d

要点集 292:P81

〔問題 106〕82歳の男性。上下顎全部床義歯を製作中である。ある操作の写真（別冊午後 No.26A、B）を別に示す。

この操作で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 乾燥させて行う。
- b 自然光のもとで行う。
- c 皮膚の色を参考にする。
- d 人工歯の大きさを決める。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 口腔内と同じ環境にするため乾燥させない。
- b 蛍光灯などの人工光ではなく、できるかぎり自然光の下で行うのが望ましい。
- c シェードガイドにて人工歯の色調を選択している
- × d 人工歯の大きさはモールドガイド（形態見本）を使用して選択する。モールドには方型、尖型、卵円型などがあり、前歯部（6前歯）の幅径と顔面との調和により決定する。

正解 b、c

No.26 A



B



〔問題 107〕心疾患の重症度分類はどれか。

- a JCS
- b MMSE
- c NYHA
- d RSST

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a JCS (Japan Coma Scale) は意識レベルの判定法である。
- × b MMSE (Mini - Mental State Examination) は認知機能の評価法である。
- c NYHA (New York Heart Association) は心疾患の重症度分類である。
- × d RSST (反復唾液嚥下テスト) は嚥下機能のスクリーニング検査である。

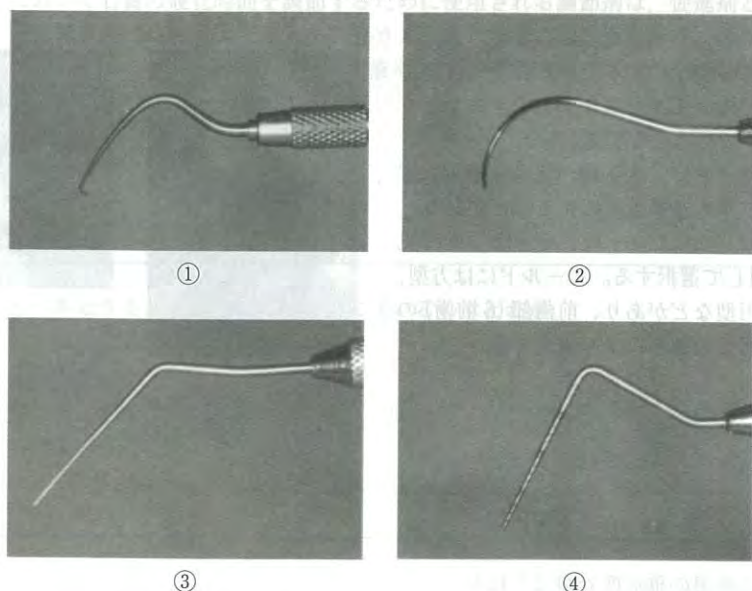
正解 c

【問題 108】 歯科器具の一部の写真(別冊午後 No.27)を別に示す。根分岐部の検査に用いるのはどれか。

- a ①
b ②
c ③
d ④

▶ 歯科診療補助

No.27



選択肢考察

- × a ①は有鉤探針である。髄腔開拓時に髄角の残存の有無(天蓋除去の確認)を診査するために用いられる。
○ b ②はファーケーションプローブである。根分岐部病変の診査の際に用いられる。
× c ③はスプレッターである。根管充填時の側方加圧充填の際に用いられる。
× d ④は歯周プローブである。1mm単位で目盛が刻まれており、ポケットの測定に用いる。

正解 b

【問題 109】 AED 除細動の適応はどれか。2つ選べ。

- a 心静止
b 心室細動
c 心室性期外収縮
d 脈なし心室頻拍

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- b、d AED 除細動の適応は、心室細動と脈なし心室頻拍である。

正解 b、d

【問題 110】 10歳の男児。上顎左側第一乳臼歯の動揺を主訴として来院した。知的障害があり歯科治療に不協力である。保護者の同意後に体動抑制下で抜歯することになった。処置中の写真(別冊午後 No.28)を別に示す。

左足の親指に装着したモニタで早期発見できるのはどれか。

- a 誤飲
b 発熱
c 意識消失
d 気道閉塞

▶ 歯科診療補助

No.28



選択肢考察

- × a 誤飲とは異物を飲み込んでしまい、食道内に侵入したことをいう。異物の気道侵入である誤嚥ではSpO₂の低下をみることがあるが、パルスオキシメータでは誤飲は分からない。胸部エックス線写真などで確認する。
× b パルスオキシメータはSpO₂と脈拍のみが分かる機器であるため、発熱は分からない。皮膚触診や体温計で確認する。
× c 意識消失により、舌根沈下が起き、気道を閉塞した場合はパルスオキシメータでは早期発見できるが、意識消失自体が起こったかどうかは分からない。呼びかけによる反応や、BIS モニタで評価する。
○ d 写真の器具はパルスオキシメータである。パルスオキシメータは非観血的に(経皮的)動脈血酸素飽和度(SpO₂)と脈拍を測定する機器で、呼吸不全の早期発見に役立つ。気道閉塞に伴う呼吸不全では、SpO₂が低下するため、パルスオキシメータで早期発見できる。

正解 d

… 索引 …

あ	
アイスマッサージ	100
アクシデント	71
アドレナリン	9
アトロピン	9
アブフラクション	45
アルギン酸ナトリウム	21
アレルギー	6
鞍状歯列弓	26

い	
息こらえ嚥下訓練	100
一次救命処置	56
インシデント	71
インフォームドコンセント	71

う	
ウォーキングブリーチ	21

え	
永久歯の形成	84
栄養機能食品	69
エナメル質形成不全	45
エプロンシアター	102
塩化亜鉛配合洗口剤	102
塩化セチルピリジニウム	9
嚥下造影検査	31
炎症	5
炎症性ケミカルメディエーター	62
遠心トリゴニード隆線	58

お	
オーラルディアドコキネシス	74
オーラルフレイル	74
オールセラミッククラウン	108
オッズ比	66

か	
カーバイドバー	51, 79
カーボラダムポイント	79
外頸動脈	2
壊血病	98
開口器	53
開口反射	4
介護保険法	13
介護予防・日常生活支援総合事業	69
介在結節	58
外側翼突筋	59
改訂水飲み検査	103
下顎骨	3
下顎張反射	4
顎関節症	26
覚醒剤	63
顎舌骨筋	59
片麻痺患者への食事介助	101
脚気	98
活動電位	4
過ホウ酸ナトリウム	21
カラベリヤ結節	58
カルシトニン	5
カルボキシメチルセルロース	9
顔面神経	60
管理栄養士	104

き	
気管支喘息	80
気管内チューブ	53
記述疫学	11
逆行性石けん	62
急性う蝕	61
急性化膿性歯髄炎	76
急性中毒発現量	38
頬骨弓	59
矯正力による歯の移動	82
拒食症	45
筋突起	59

く	
クラウンリムーバー	107
グラスアイオノマーセメント	19, 49
クリニカルパス	50
グルタール	62
くる病	98
クレゾール	62

け	
茎乳突孔	58
経鼻経管栄養法	45
顎部聴診法	31, 74
劇薬	63
ケリー鉗子	53
健康日本21(第2次)	11
健康補助食品	69
言語聴覚士	104

こ	
咬筋	59
口腔カンジダ症	25
口腔保健支援センター	15
咬合性外傷	90
咬合力検査	52
交差適合試験	18
高次脳機能障害	84
口臭官能試験	11
抗体産生曲線	61
喉頭鏡	53
喉頭挙上検査	31
咬耗	72
高齢者の歯周組織	87
誤嚥	55
国際生活機能分類	31
国勢調査	12
国民医療費	68
国民健康・栄養調査	99
黒毛舌	25
ゴシックアーチ描記法	52
骨軟化症	98
ゴルチゾール	5
コンタクトゲージ	17
コントラクションギャップ	75
コンボジットレジン修復	105

さ	
再興感染症	70
作業療法士	104

し	
次亜塩素酸ナトリウム	21, 62
シーラント	36

シェイピング法	54
シェーグレン症候群	81
シェードガイド	109
歯科医師法	14
歯科衛生士	16
歯科衛生士業務記録	72
歯科衛生士法	15, 17
歯科口腔保健の推進に関する法律	15
歯科疾患実態調査	66
歯間ブラシ	95
シクロオキシゲナーゼ	62
シクロフェナクナトリウム	62
自己免疫疾患	80
歯周基本治療	22
歯周プローブ	110
歯髄保存療法	20
歯槽骨欠損形態	22
歯槽突起	3
シクルタイプスケーラー	89
シャープニング	90
社会福祉法	13
シュウ酸カリウム	21
周術期口腔機能管理	47
重炭酸イオン	9
障害のある高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準	99
上顎骨	3
上眼窩裂	3
情動の発達	28
食事摂取基準	43
食事バランスガイド	100
シリコンポイント	79
シングルタフトブラシ	95
新興感染症	70
人口動態調査	68
人口ピラミッド	30
新付着	77
新付着術	23
じん麻疹	80

す	
スクラッピング法	41
スチールバー	79, 107
スプレッター	110

せ	
正円孔	58
生活歯髄切断法	21
生活保護法	13, 70
生物学的半減期	64
石膏の硬化促進剤	108
摂食嚥下の5期モデル	103
舌接触補助床	85
接着性レジンセメント	49
全身麻酔薬	63

そ	
僧帽筋	2
側頭筋	59
側頭骨	3
側面頭部エックス線規格写真	52

た	
体温	60
タイムアウト法	39, 54

ダイヤモンドポイント	51, 107
多形腺腫	25
唾石症	25
タンダクリブ	27

ち	
地域包括ケアシステム	13
地域包括支援センター	46
地域保健法	13
チーム医療の目的	104
超音波スケーラー	33
蝶形骨	3

て	
手足口病	28
デジタルエックス線	108
テトラサイクリン	8, 106
デンタルフロス	95
デンタルフロスの使用方法	42
天疱瘡	80

と	
砥石の種類	35
糖尿病	73
糖尿病患者の歯科治療	42
頭部挙上訓練	48
トークンエコノミー法	54
特定健康診査	14
特定保健用食品	69
特別用途食品	69
毒薬	63
トラネキサム酸	9
トリアージタッグ	67
ドリオピテクス型	58

な	
内耳孔	58
内側翼突筋	59

に	
ニフェジピン	9
乳歯の萌出順序	29
乳幼児の身長と体重	83
乳様突起	3
妊産婦の食生活指導	98

の	
脳性麻痺	86
脳性麻痺患児の歯科治療	55

は	
パーキンソン病	86
白板症	25
バス法	41
パソプレッジン	3
抜髄法	76
パッチテスト	18
歯のフッ素症	45
パラトグラム	52, 106
パルスオキシメータ	111
反復唾液嚥下テスト	31, 74

ひ	
ピエールロバン症候群	81
ヒスタミン	6
ビタミンD	98
非弾性印象材	50
肥満細胞	6
ヒヤリハット	71

ピロカルピン	9
ピロリン酸ナトリウム	9
貧血の検査項目	26

ふ	
ファークションプローブ	110
フードテスト	74, 85
フォーンズ法	41
副鼻腔	3
フッ化ジアンミン銀	65
フッ化第一スズ	65
フッ化物歯面塗布法	37, 93
フッ化物洗口	94
フッ化樹脂訓練	100
フッ素徐放性レジジン	65
ブロークリテンションファクター	32
ブラジキニン	5
ブラスミン	62
ブラックの高洞分類	73
ブランダンヌン嚢胞	25
フランネルボード	102
ブランマービンソン症候群	81
ブリックテスト	18
フレイル	29
ブローイング検査	52
ブローピングポケットデプス	87
プロスタグランジン	62
プロビジョナルレストレーション	23
プロポフォル	63

へ	
ペアン鉗子	54
ペープサート	102
ヘッドギア	83
ペリクル	32
ヘルス・プロモーション	68
ヘルパーT細胞	7
ヘルペス性歯肉口内炎	28
ベンザルコニウム塩化物	62

ほ	
放射線の種類	19
放射線防護の三原則	56
訪問口腔衛生指導	43
ポケットマーカー	51
保健指導の流れ	94
母子保健法	12
ポスター	102
保存期間	72
保定	82
ポピュレーションストラテジー	65
ポリカルボキシレートセメント	49

ま	
麻薬	63

み	
ミュータンスレンサ球菌	65

む	
無歯顎様顔貌	24
ムチン	9

め	
メインテナンス	38
メタボリックシンドローム	41
メラニン色素沈着	25

も	
モデリング法	54
モノフルオロリン酸ナトリウム	65

ゆ	
有鉤探針	110

よ	
翼突窩	59
翼突筋窩	3
翼突筋粗面	59

ら	
ラウンドバー	51
ラクトフェリン	9
ラヌーラ	25
ラバーチップ	95
ラムセイハント症候群	81
卵円孔	58

り	
理学療法士	104
リガ・フェーデ病	28
リソチーム	9
リドカイン	63
リトルジャイアント	107
臨界pH	65
リンガルバー	78
リン酸亜鉛セメント	49

れ	
レーザー蛍光強度測定	18
連続抜去法	27

ろ	
老年化指数	13
ローリング法	41

わ	
ワーファリン	63
ワクチンの種類	7

数字	
3歳児歯科健康診査のう蝕罹患率	10
5Aアプローチ	91

A～Z	
A	
ABO式血液型	74
Actinomyces viscosus	8
AED除細動	110
Aggregatibacter actinomycetemcomitans	8
Angle II級1類の特徴	81
Aδ線維	60

B	
Barthel Index	40
BDR指標	97
BOP	77

C	
CAD/CAM	78
CPI変法	36

D	
Dentocult LB®	92
Dentocult SM®	92
DMF歯数	10

E	
EDTA	105
F	
<i>Fusobacterium nucleatum</i>	8
G	
GABA	5
GI	36
H	
Hellmanの歯齡	96
HIV	7
I	
ICF	31
J	
JCS	109
L	
LeavellとClarkの疾病予防の概念	64
M	
MMSE	109
N	
NYHA	109
O	
OHI	36
P	
PDI	36
PHP	36
<i>Porphyromonas gingivalis</i>	8
R	
RD test®	92
Red Complex	8
RSST	109
S	
Snyder test®	92
SOAP	16
SPT	93
<i>Streptococcus</i>	63
T	
Tell-Show-Do法	39
モデリング	39
W	
WHOプローブ	89

292

巻末資料………～臨床系～

歯髄壊死・歯髄壊疽

- 歯髄が細菌感染し、その後遺症
- 歯髄壊疽とは体の組織の壊死
- 歯髄壊疽では特有の

上行性歯髄炎

- 根尖部から歯髄感染（歯髄炎）

歯髄炎の処置方針

歯髄炎

- 歯髄炎は、歯の根管内に
- 歯髄炎は、歯の根管内に

歯髄炎の診断

- 歯髄炎の診断は、歯の根管内に
- 歯髄炎の診断は、歯の根管内に

歯髄炎の治療

- 歯髄炎の治療は、歯の根管内に
- 歯髄炎の治療は、歯の根管内に

歯髄炎の予防

- 歯髄炎の予防は、歯の根管内に
- 歯髄炎の予防は、歯の根管内に

歯髄炎の検査

- 歯髄炎の検査は、歯の根管内に
- 歯髄炎の検査は、歯の根管内に

歯髄炎の薬物療法

- 歯髄炎の薬物療法は、歯の根管内に
- 歯髄炎の薬物療法は、歯の根管内に

歯髄炎の手術療法

- 歯髄炎の手術療法は、歯の根管内に
- 歯髄炎の手術療法は、歯の根管内に